

# 第6次阿久比町総合計画

---

## 住民アンケート調査結果

令和2年2月  
阿久比町



# 目次

## I 調査概要 ..... 3

- 1 調査の概要 ..... 3
  - (1) 調査目的 ..... 3
  - (2) 調査対象及び調査方法 ..... 3
  - (3) 回収結果 ..... 3
- 2 本調査報告書の基本的な事項 ..... 4
  - (1) 数値の基本的な取り扱いについて ..... 4

## II 調査結果 ..... 7

- 1 あなたご自身のことについて ..... 7
- 2 まちへの愛着度、定住意向について ..... 16
  - (1) まちへの愛着度 ..... 16
  - (2) まちへの定住意向 ..... 19
- 3 まちの現状と今後の取り組みについて ..... 28
  - (1) 満足度 ..... 28
  - (2) 重要度 ..... 31
  - (3) 優先度（満足度と重要度の相関） ..... 34
  - (4) 今後のまちづくり ..... 37
- 4 少子高齢化について ..... 41
  - (1) 人口減少、少子高齢化 ..... 41
  - (2) 理想的な子どもの数の実現 ..... 44
  - (3) 町の子育て環境 ..... 47
  - (4) 高齢社会への対応 ..... 50
- 5 住みやすさについて ..... 52
  - (1) 住みやすさを感じる点 ..... 52
  - (2) 施設の整備充実 ..... 56
  - (3) 町の消防・防災対策について ..... 59
- 6 住民活動等について ..... 63
  - (1) 地域活動・ボランティア活動 ..... 63
  - (2) 住民参画・協働のまちづくり ..... 71
- 7 第1期総合戦略の取り組みについて ..... 75
  - (1) 基本目標1 安定した雇用を創出する ..... 75
  - (2) 基本目標2 阿久比町への新しいひとの流れをつくる ..... 76
  - (3) 基本目標3 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる ..... 79
  - (4) 基本目標4 時代に合った地域づくり、安全・安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する ..... 81

### Ⅲ 自由意見 ..... 83

自由意見について .....	83
----------------	----

### Ⅳ 資料 ..... 97

小学校区別満足度・重要度 .....	97
(1) 東部小学校区 .....	97
(2) 英比小学校区 .....	99
(3) 草木小学校区 .....	101
(4) 南部小学校区 .....	103

## I 調査概要

---



# I 調査概要

## 1 調査の概要

### (1) 調査目的

本調査は、令和3年度からはじまる「第6次阿久比町総合計画」の策定にあたり、本町にお住まいの方を対象に、今後の施策の方向性やニーズ等を把握し、住みよいまちづくりへの基礎資料を得ることや町政に対するご意見等をお聞かせ頂くことで、住民の皆様の声を計画策定に反映するため実施しました。

### (2) 調査対象及び調査方法

項目	内容
調査対象	阿久比町にお住まいの18歳以上の町民
配布数	2,000
抽出法	無作為抽出
調査方法	郵送法（郵送による配布・回収）
調査時期	令和元年8～9月
調査地域	町内全域

### (3) 回収結果

配布数	2,000		
回収数	758	回収率	37.9%

## 2 本調査報告書の基本的な事項

### (1) 数値の基本的な取り扱いについて

- ①比率は全て百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。
- ②基数となるべき実数（回答者数）は、“n = ○○○”として掲載し、各比率は n を 100%として算出しています。
- ③複数回答の設問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出しても良い設問であることから、各回答の合計比率は 100%を超える場合があります。
- ④グラフ中の比率は、四捨五入の関係で 100%にならない場合があります。
- ⑤文中、グラフ中の選択肢の文言は、一部簡略化して表現している場合があります。
- ⑥調査対象者の属性については、調査票記入時点の年齢で集計してあります。



## II 調査結果

---



## II 調査結果

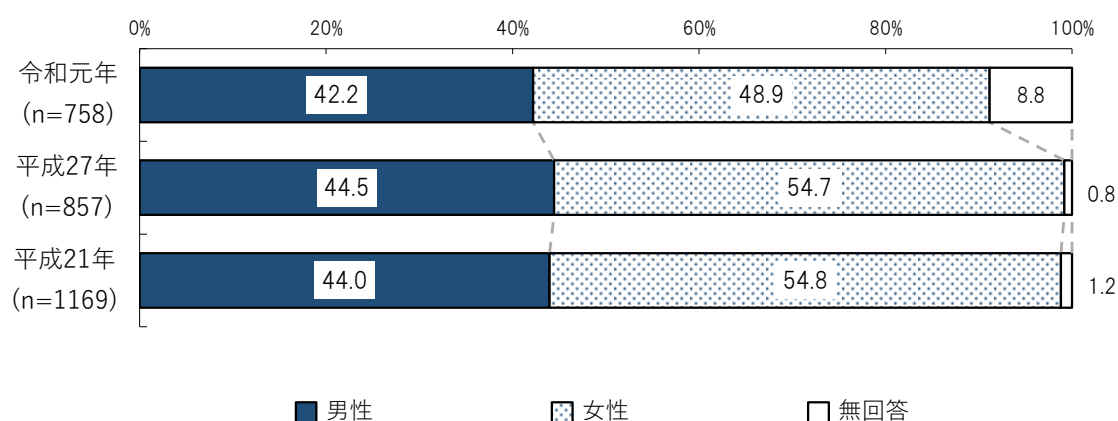
### 1 あなたご自身のことについて

#### (1) あなたの性別（1つに○印）

回答者の性別構成については、「男性」が42.2%、「女性」が48.9%となっています。

#### [前回調査との比較]

前回と比較すると、特に「女性」が減少しています。

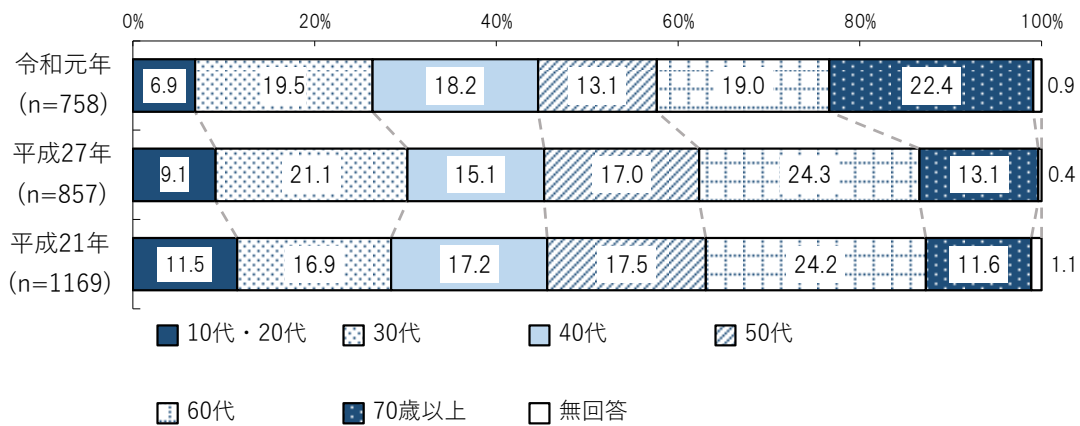


#### (2) あなたの年齢（1つに○印）

回答者の年齢構成については、「70歳以上」が22.4%と最も高く、次いで「30代」(19.5%)、「60代」(19.0%)、「40代」(18.2%)、「50代」(13.1%)、「10代・20代」(6.9%)の順となっています。

#### [前回調査との比較]

「70歳以上」が大きく増加し、「60代」や「50代」が減少しています。また、「10代・20代」は毎回減少しています。

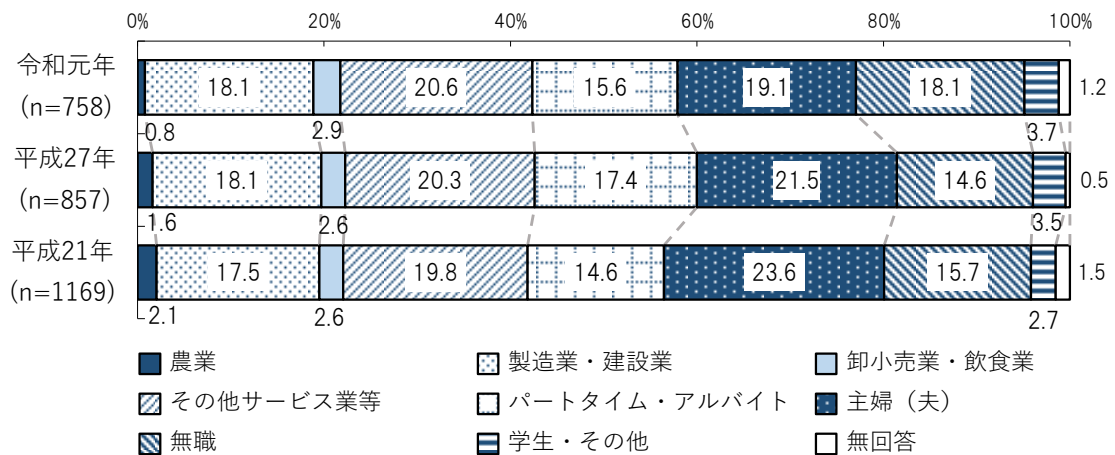


### (3) あなたの職業 (1つに○印)

回答者の職業については、「その他サービス業等」が20.6%と最も高く、次いで「主婦(夫)」(19.1%)、「製造業・建設業」と「無職」(同率18.1%)、「パートタイム・アルバイト」(15.6%)、「学生・その他」(3.7%)、「卸小売業・飲食業」(2.9%)、「農業」(0.8%)の順となっています。

#### [前回調査との比較]

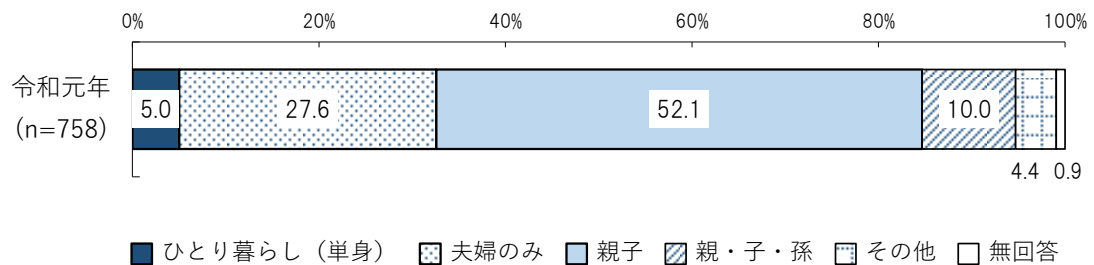
大きな違いはありませんが、「無職」がやや増加しています。



#### (4) あなたの家族構成① (1つに○印)

回答者の家族構成については、「親子」が 52.1%と最も高く、次いで「夫婦のみ」(27.6%)、「親・子・孫」(10.0%)、「ひとり暮らし(単身)」(5.0%)などの順となっています。

また、「親子」で高い年齢は 40 代以下で約 8 割となっており、「夫婦のみ」で高い年齢は「60 代」(39.6%)と「70 歳以上」(55.3%)となっています。



		問 1 (4) あなたの家族構成①						
		合計	ひとり暮らし(単身)	夫婦のみ	親子	親・子・孫	その他	無回答
	<b>全体</b>	758	38	209	395	76	33	7
		100.0%	5.0%	27.6%	52.1%	10.0%	4.4%	0.9%
年齢	10代・20代	52	3	6	39	4	0	0
		100.0%	5.8%	11.5%	75.0%	7.7%	0.0%	0.0%
	30代	148	6	11	116	9	6	0
		100.0%	4.1%	7.4%	78.4%	6.1%	4.1%	0.0%
	40代	138	2	14	109	12	1	0
		100.0%	1.4%	10.1%	79.0%	8.7%	0.7%	0.0%
	50代	99	5	23	53	14	4	0
		100.0%	5.1%	23.2%	53.5%	14.1%	4.0%	0.0%
60代	144	11	57	45	17	12	2	
	100.0%	7.6%	39.6%	31.3%	11.8%	8.3%	1.4%	
70歳以上	170	11	94	33	20	10	2	
	100.0%	6.5%	55.3%	19.4%	11.8%	5.9%	1.2%	

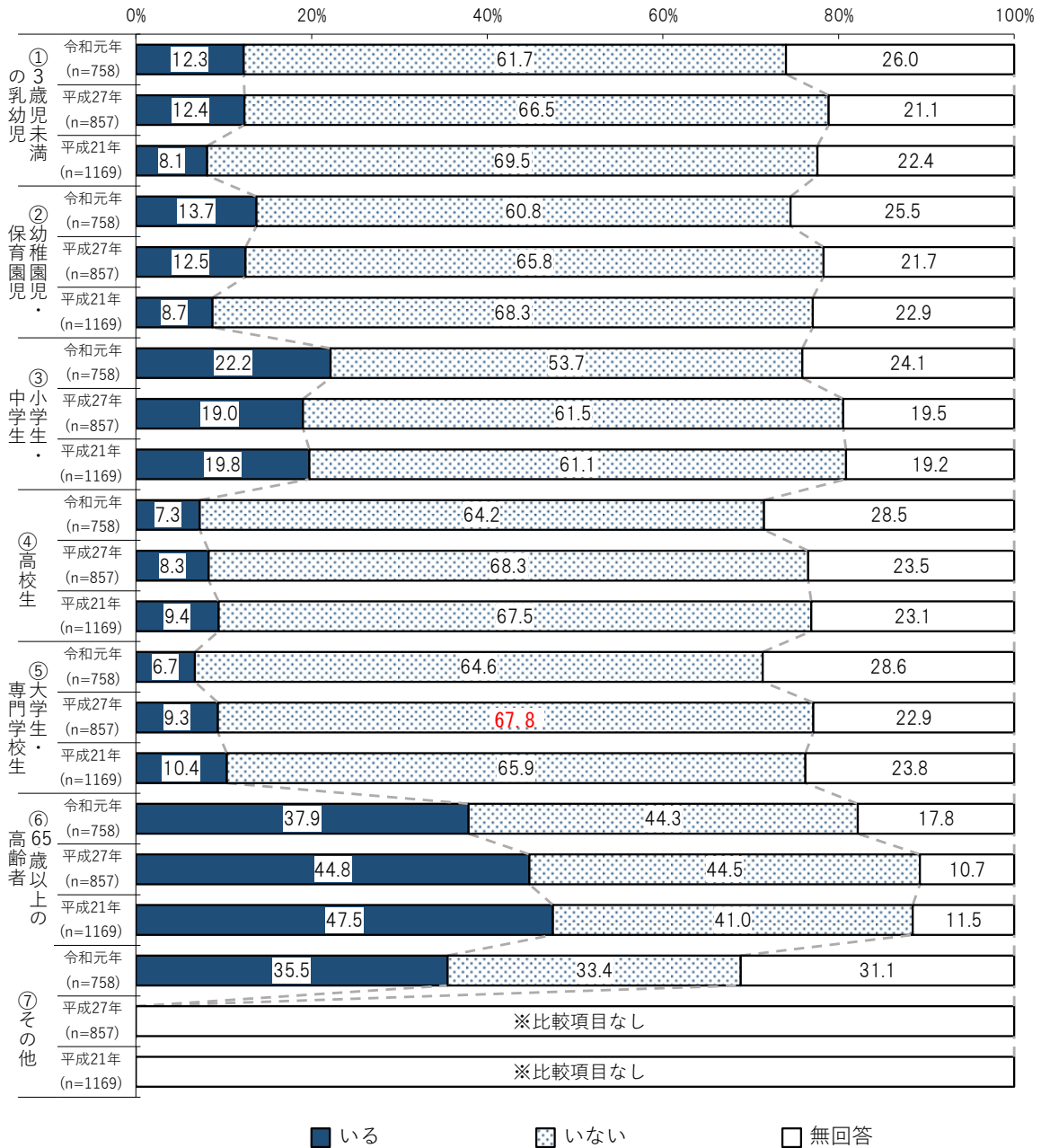
(5) あなたの家族構成② (①～⑦のそれぞれ1つに○印)

子どもや高齢者のいる家族構成の割合については、子どもでは「①3歳児未満の乳幼児」が12.3%、「②幼稚園児・保育園児」が13.7%となっており、「③小学生・中学生」は22.2%と特に高くなっています。また、「⑥65歳以上の高齢者」では37.9%となっています。

[前回調査との比較]

10年前(平成21年調査)と比較してみると、「①3歳児未満の乳幼児」(4.2ポイント)と「②幼稚園児・保育園児」(5.0ポイント)が増加しており、「⑥65歳以上の高齢者」(9.6ポイント)が減少しています。「③小学生・中学生」は大きな違いはありませんが、全体の約2割に該当しており、かなり高い結果となっています。

(家族構成/%)		
	いる	いない
①3歳児未満の乳幼児	12.3	61.7
②幼稚園児・保育園児	13.7	60.8
③小学生・中学生	22.2	53.7
④高校生	7.3	64.2
⑤大学生・専門学校生	6.7	64.6
⑥65歳以上の高齢者	37.9	44.3
⑦その他	35.5	33.4



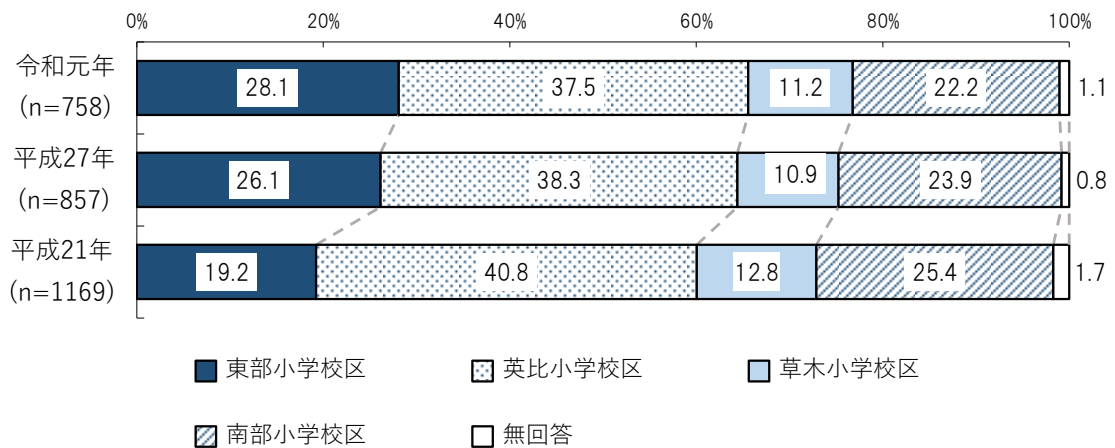
## (6) あなたの居住地（1つに○印）

回答者の居住地区については、「英比小学校区」が37.5%と最も高く、次いで「東部小学校区」（28.1%）、「南部小学校区」（22.2%）、「草木小学校区」（11.2%）の順となっています。

また、「陽なたの丘」地区（10.6%）、「白沢」地区（7.0%）、「高根台」地区（7.1%）、「草木」地区（11.2%）、「植」地区（9.2%）がやや高くなっています。

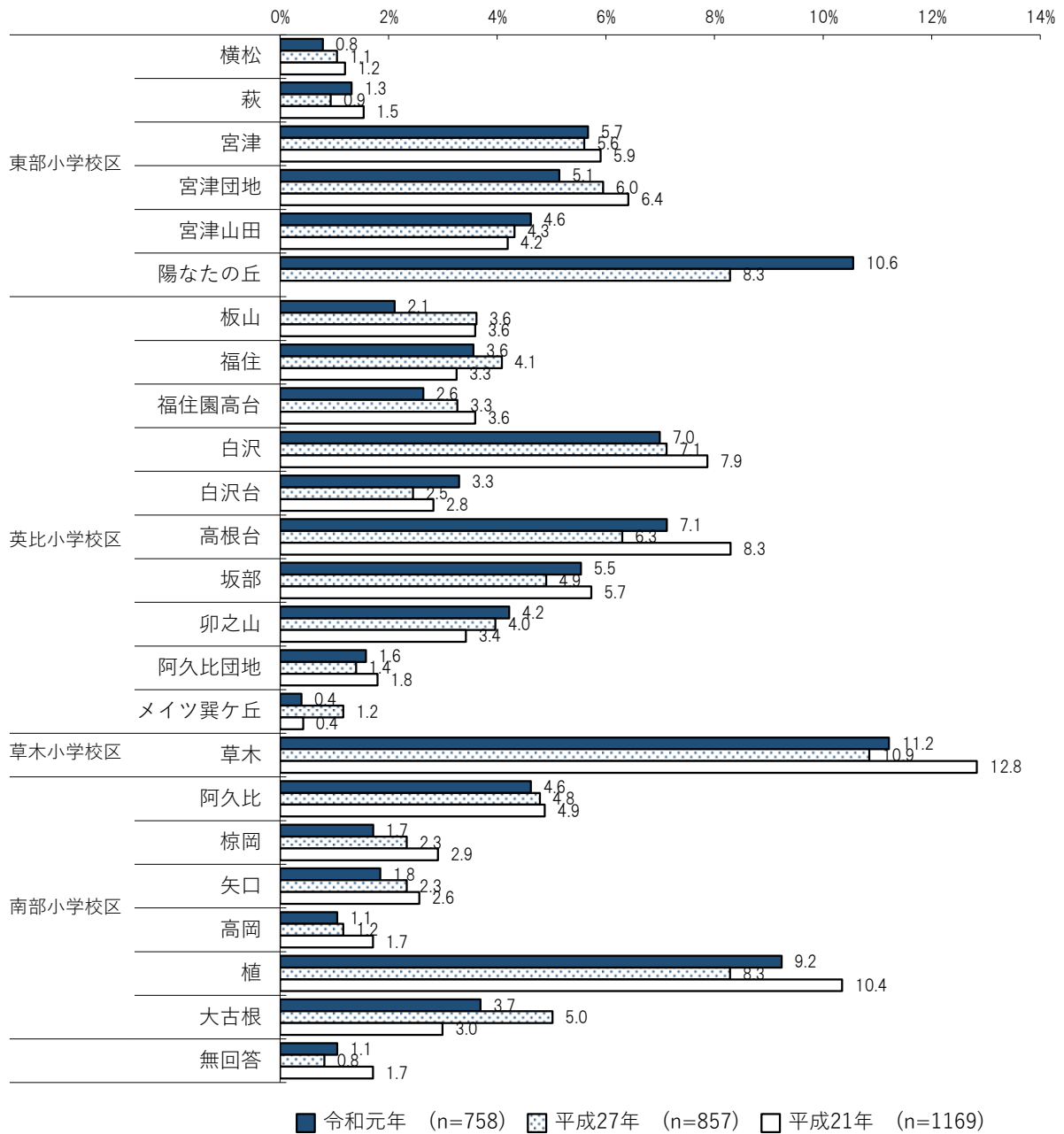
### 【前回調査との比較】

大きな違いはありませんが、「東部小学校区」が増加傾向、「英比小学校区」が減少傾向となっています。





	地区名	n	%
東部小学校区	横松	6	0.8
	萩	10	1.3
	宮津	43	5.7
	宮津団地	39	5.1
	宮津山田	35	4.6
	陽なたの丘	80	10.6
英比小学校区	板山	16	2.1
	福住	27	3.6
	福住園高台	20	2.6
	白沢	53	7.0
	白沢台	25	3.3
	高根台	54	7.1
	坂部	42	5.5
	卯之山	32	4.2
	阿久比団地	12	1.6
	メイツ巽ヶ丘	3	0.4
	草木小学校区	草木	85
南部小学校区	阿久比	35	4.6
	椋岡	13	1.7
	矢口	14	1.8
	高岡	8	1.1
	植	70	9.2
	大古根	28	3.7
	無回答	8	1.1



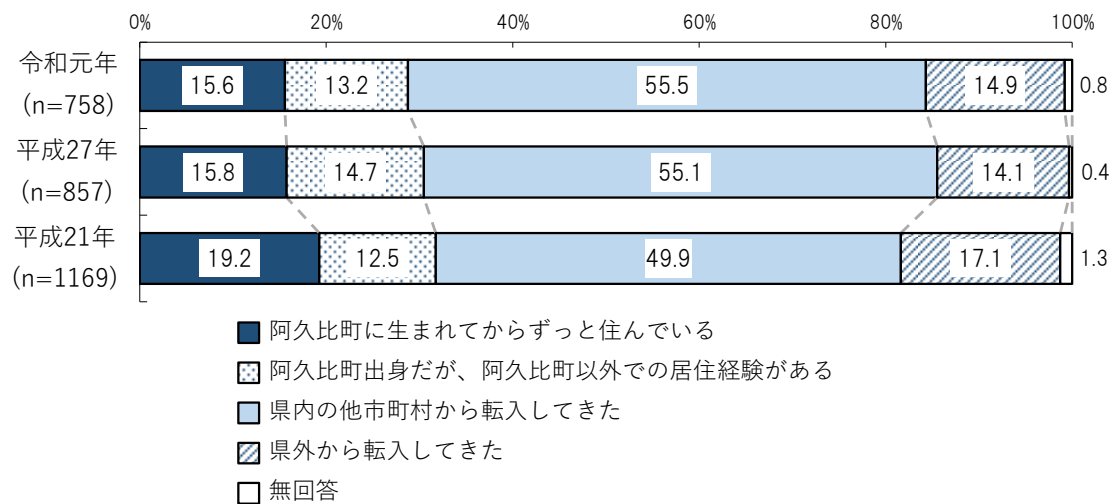
### (7) あなたの居住歴（1つに○印）

回答者の居住歴については、「県内の他市町村から転入してきた」が 55.5%と最も高く、次いで「阿久比町に生まれてからずっと住んでいる」（15.6%）、「県外から転入してきた」（14.9%）、「阿久比町出身だが、阿久比町以外での居住経験がある」（13.2%）の順となっています。

また、Uターン（「阿久比町出身だが、阿久比町以外での居住経験がある」）が 13.2%、Iターン（「県内の他市町村から転入してきた」（55.5%）及び「県外から転入してきた」（14.9%））が 70.4%となっています。

#### [前回調査との比較]

大きな違いはありませんが、10年前（平成21年調査）と比較すると、「阿久比町に生まれてからずっと住んでいる」と「県外から転入してきた」が減少傾向、「県内の他市町村から転入してきた」が増加傾向となっています。



## 2 まちへの愛着度、定住意向について

### (1) まちへの愛着度

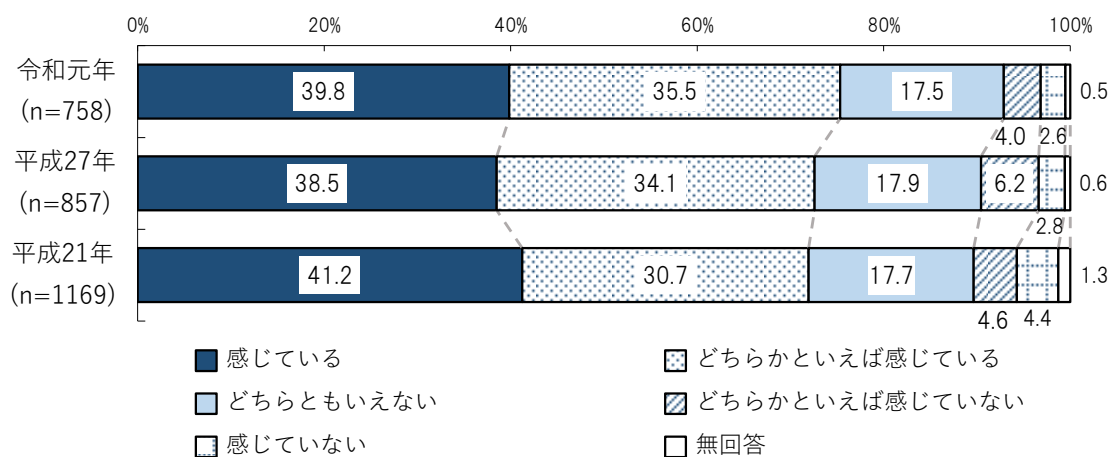
問2 あなたは、阿久比町に「自分のまち」としての愛着を感じていますか。  
(1つに○印)

「感じている」が39.8%、次いで「どちらかといえば感じている」が35.5%  
あわせて75.3%

阿久比町への愛着については、「愛着を感じている」と答えた人が39.8%と最も高く、「どちらかといえば感じている」と答えた人が35.5%となっており、これらをあわせた“愛着を感じている”という人は75.3%となっています。これに対して、“愛着を感じていない”（「どちらかといえば感じていない」(4.0%)及び「愛着を感じていない」(2.6%)の合計)は6.6%にとどまり、まちへの愛着度は高いといえます。なお、「どちらともいえない」は17.5%でした。

#### [前回調査との比較]

大きな違いはありませんが、「どちらかといえば感じている」が増加傾向となっています。



## [回答者の属性別]

性別でみると、「愛着を感じている」では男性（78.2%）の方が女性（73.8%）よりやや高くなっています。

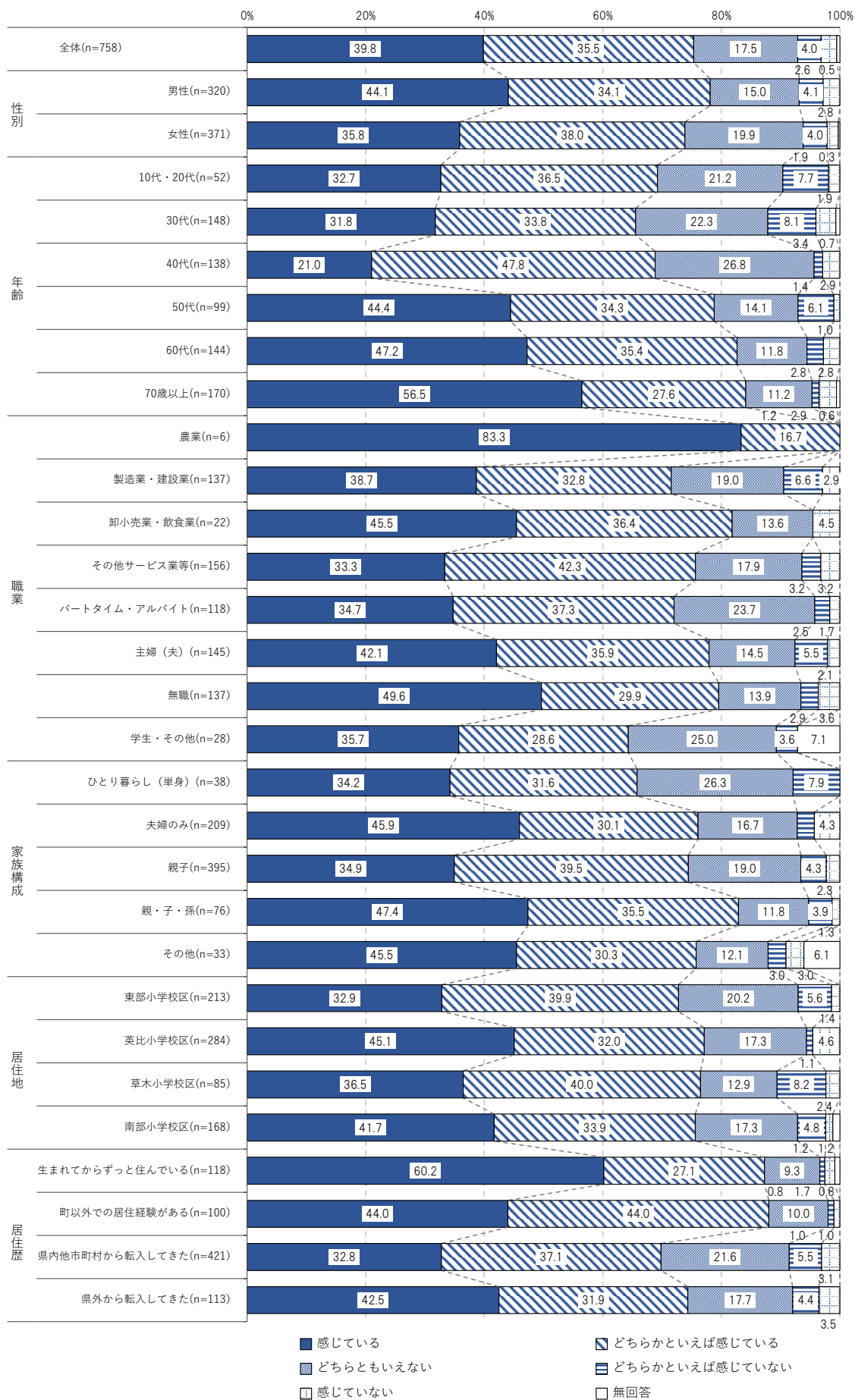
年齢でみると、「愛着を感じている」では「70歳以上」（56.5%）が最も高く、「40代」（21.0%）が最も低くなっています。一方、「40代」は「どちらかといえば感じている」（47.8%）と「どちらともいえない」（26.8%）が高くなっています。

職業でみると、「愛着を感じている」では「製造業・建設業」（38.7%）、「卸小売業・飲食業」（45.5%）、「主婦（夫）」（42.1%）、「無職」（49.6%）が高くなっています。「どちらかといえば感じている」では「その他サービス業」（42.3%）が高くなっています。

家族構成でみると、「愛着を感じている」では「夫婦のみ」（45.9%）や「親・子・孫」（47.4%）が高くなっています。また、「ひとり暮らし（単身）」では「どちらともいえない」（26.3%）が高くなっています。

居住地区でみると、「愛着を感じている」では「英比小学校区」（45.1%）と「南部小学校区」（41.7%）が高くなっています。

居住歴でみると、「愛着を感じている」では「阿久比町に生まれてからずっと住んでいる」が60.2%と最も高く、「阿久比町出身だが、阿久比町以外での居住経験がある」（44.0%）や「県外から転入してきた」（42.5%）も高くなっています。また、「阿久比町出身だが、阿久比町以外での居住経験がある」は「どちらかといえば感じている」（44.0%）も高くなっています。



## (2) まちへの定住意向

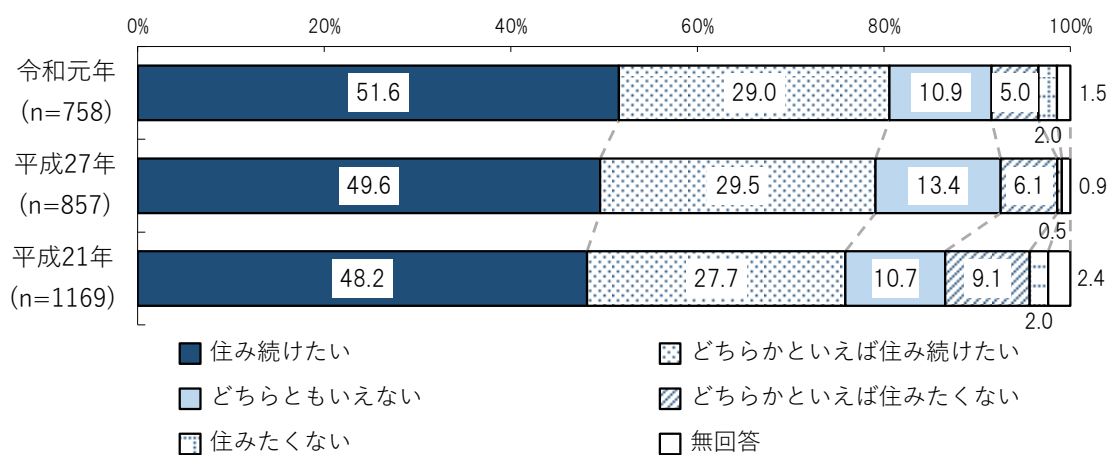
問3① あなたは、今後も阿久比町に住み続けたいと思いますか。(1つに○印)

「住み続けたい」が51.6%、次いで「どちらかといえば住み続けたい」が29.0%あわせて80.6%

阿久比町での定住意向については、「住み続けたい」と答えた人が51.6%と最も高く、「どちらかといえば住み続けたい」と答えた人が29.0%となっており、これらをあわせた“住み続けたい”という人は80.6%となっています。これに対して、“住みたくない”(「どちらかといえば住みたくない」(5.0%)及び「住みたくない」(2.0%)の合計)は7.0%にとどまり、定住意向はかなり高い傾向があります。なお、「どちらともいえない」は10.9%でした。

### [前回調査との比較]

大きな違いはありませんが、「住み続けたい」及び「どちらかといえば住み続けたい」ともに増加傾向となっています。



## [回答者の属性別]

性別でみると、「住み続けたい」では「男性」(56.3%)の方が「女性」(48.2%)より高くなっています。

年齢でみると、「住み続けたい」では「60代」以上で約7割と高く、「10代・20代」(21.2%)が最も低くなっています。また、「どちらかといえば住み続けたい」では「30代」(34.5%)と「40代」(42.0%)が高くなっています。さらに「10代・20代」では「どちらともいえない」(34.6%)と「どちらかといえば住みたくない」(13.5%)が高くなっています。

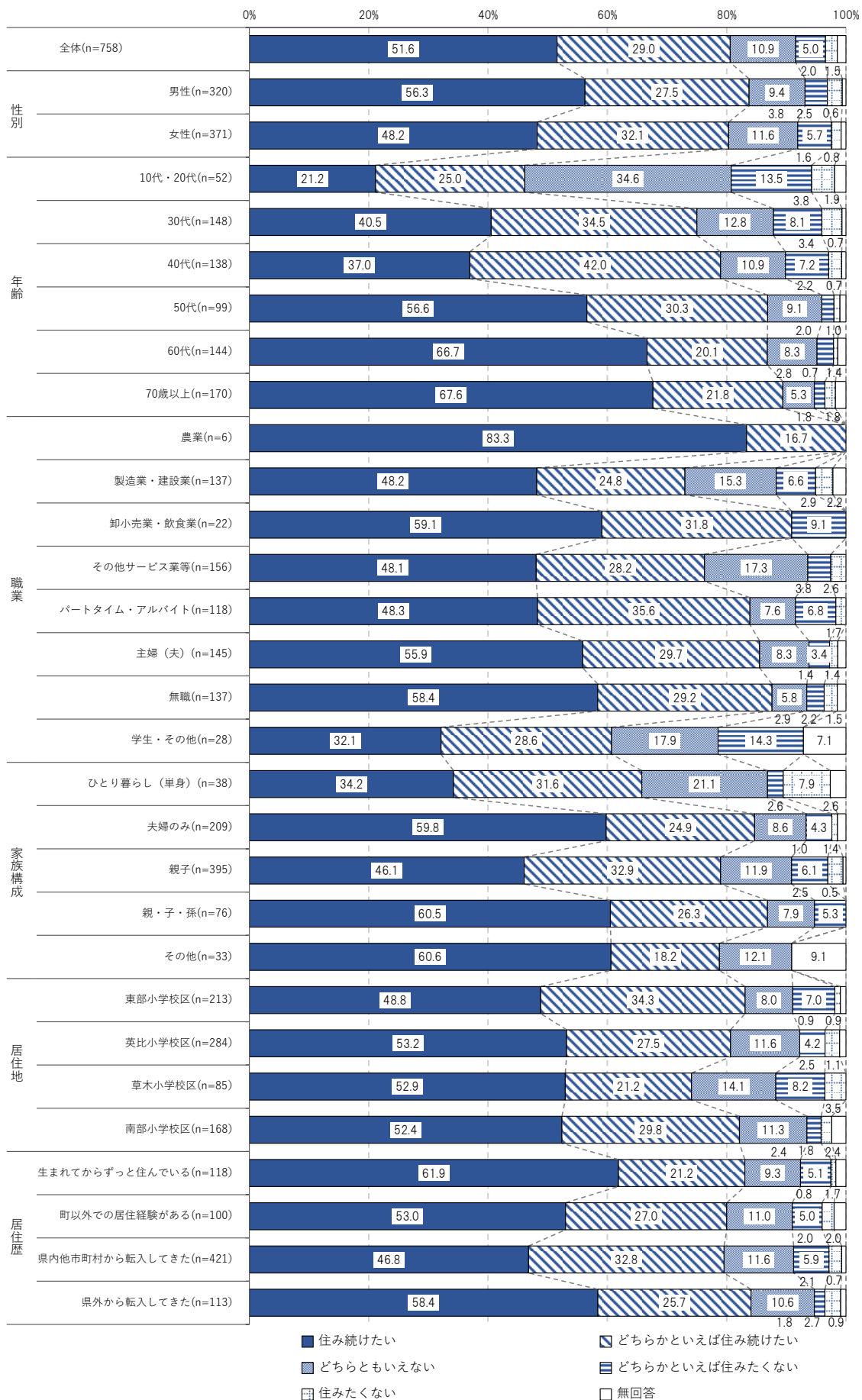
職業でみると、「住み続けたい」では「卸小売業・飲食業」(59.1%)と「無職」(58.4%)が高く、「学生・その他」(32.1%)が低くなっています。

家族構成でみると、「住み続けたい」では「夫婦のみ」(59.8%)と「親・子・孫」(60.5%)が高く、「ひとり暮らし(単身)」(34.2%)が低くなっています。

居住地区でみると、大きな違いはありませんでした。

居住歴でみると、「住み続けたい」では「阿久比町に生まれてからずっと住んでいる」(61.9%)が高く、「県内の他市町村から転入してきた」(46.8%)がやや低くなっています。





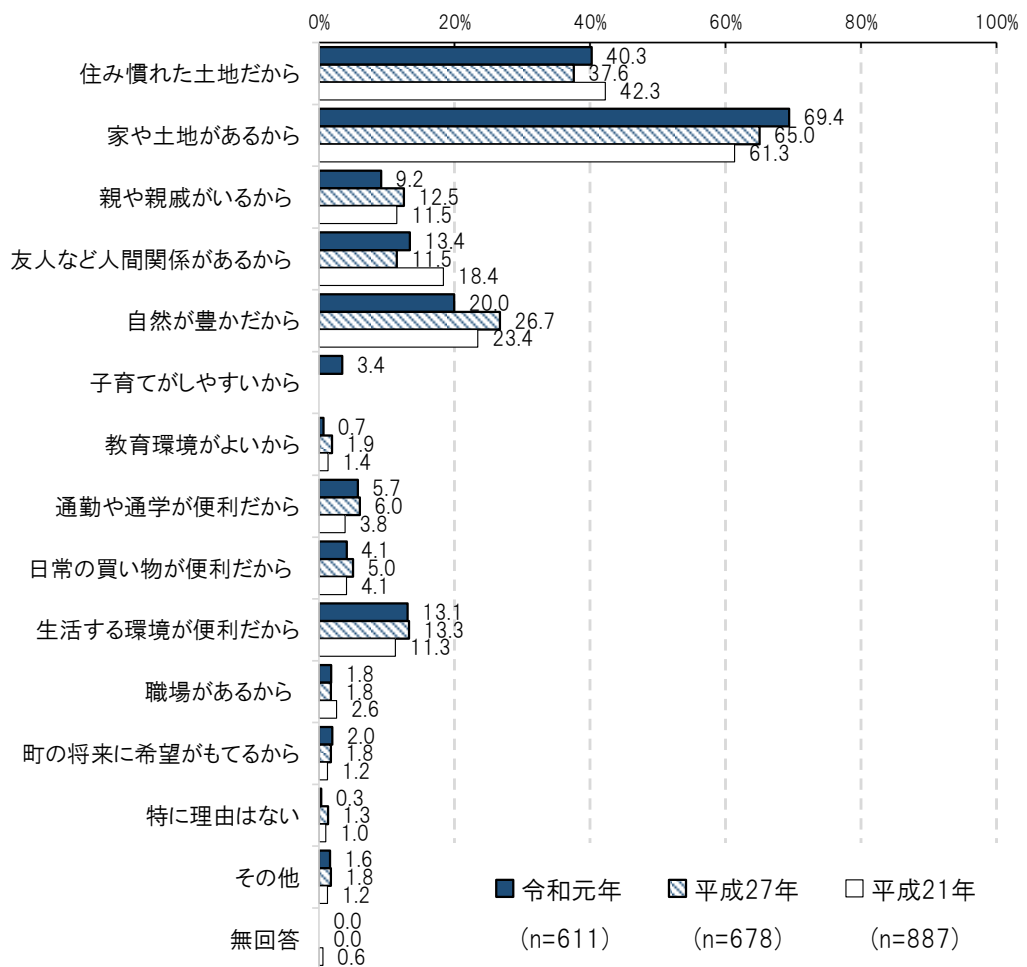
問3② 住み続けたい主な理由は何ですか。(2つまで〇印)

「家や土地があるから」が69.4%、次いで「住み慣れた土地だから」が40.3%

住み続けたい主な理由については、「家や土地があるから」が69.4%と最も高く、次いで「住み慣れた土地だから」(40.3%)、「自然が豊かだから」(20.0%)、「友人など人間関係があるから」(13.4%)、「生活する環境が便利だから」(13.1%)などの順となっています。

[前回調査との比較]

大きな違いはありませんが、「家や土地があるから」の理由が増加傾向となっています。

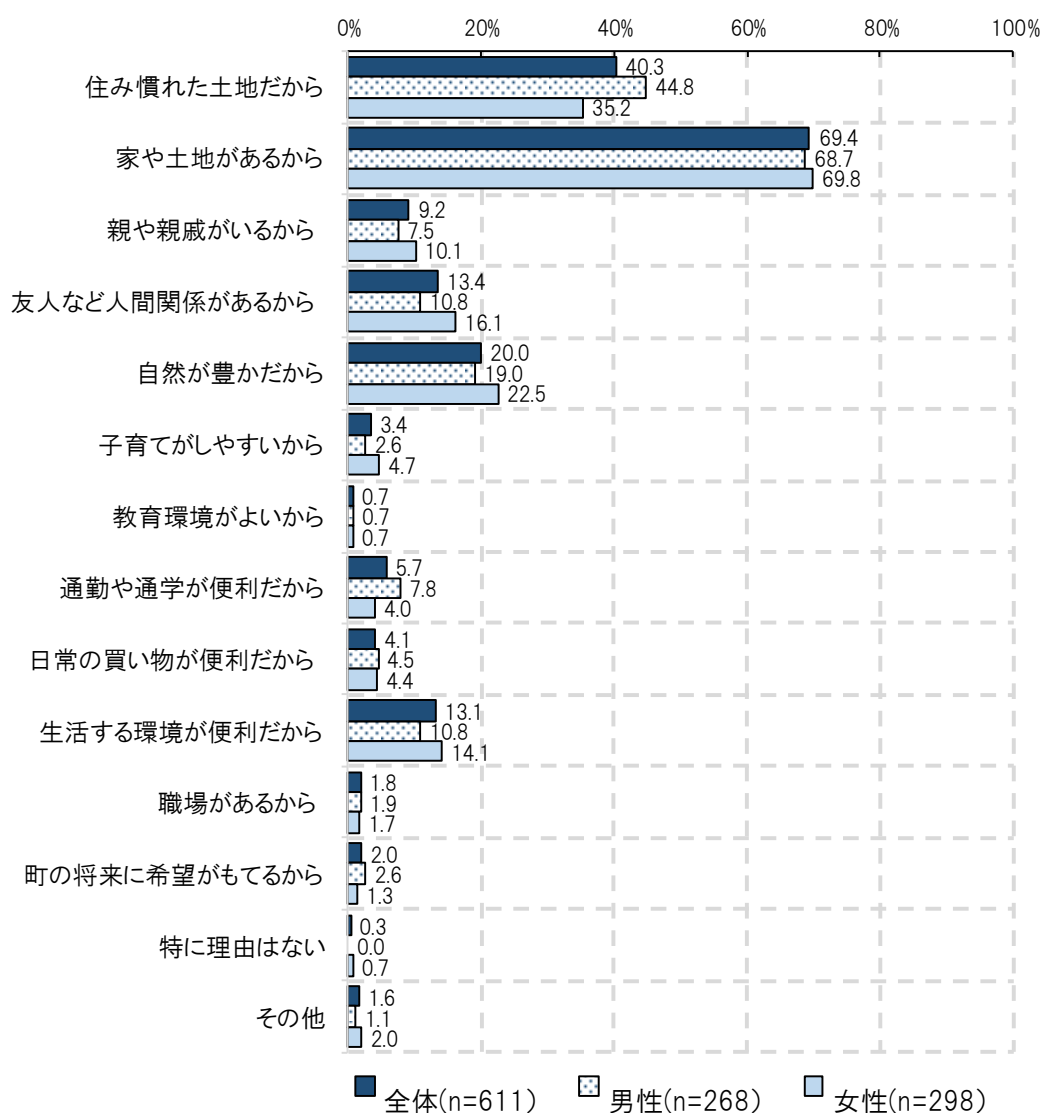


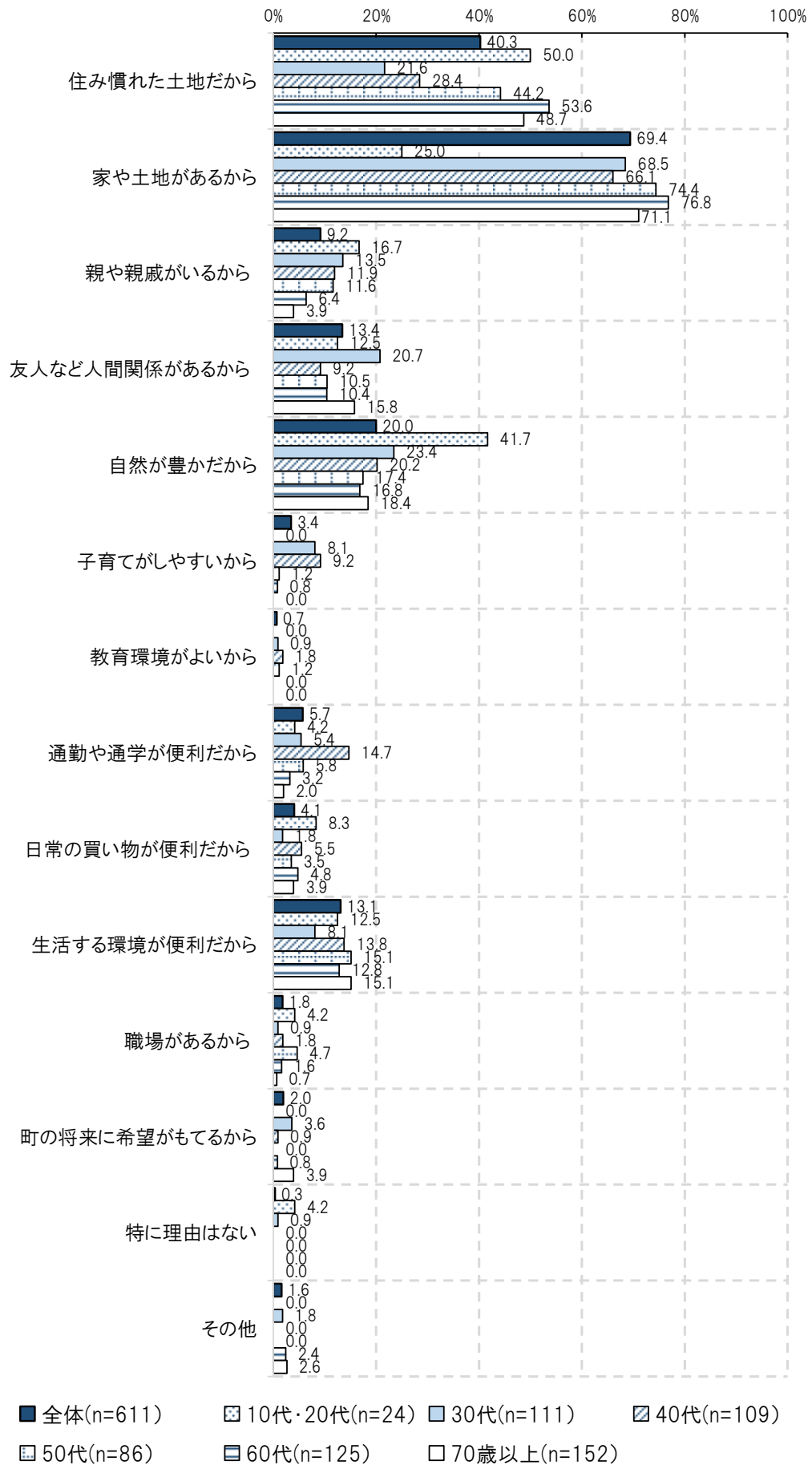
※選択肢「子育てがしやすいから」は、今回初めて選択肢の採用をしたため、平成27年及び平成21年調査結果がないため比較していません。

[回答者の属性別]

性別で見ると、「住み慣れた土地だから」の理由では「男性」(44.8%)の方が「女性」(35.2%)より高く、「友人など人間関係があるから」の理由では「女性」(16.1%)の方が「男性」(10.8%)より高くなっています。その他に大きな違いはありませんでした。

年齢で見ると、「住み慣れた土地だから」の理由では「30代」(21.6%)と「40代」(28.4%)が特に低くなっています。「家や土地があるから」の理由では「10代・20代」(25.0%)が特に低く、加齢とともに高くなっていきます。「親や親戚がいるから」の理由では「10代・20代」(16.7%)が高く、「友人など人間関係があるから」の理由では「30代」(20.7%)が特に高くなっています。「自然が豊かだから」の理由では「10代・20代」(41.7%)が特に高くなっています。「子育てがしやすいから」の理由では「30代」(8.1%)と「40代」(9.2%)が高く、「通勤や通学が便利だから」の理由では「40代」(14.7%)が特に高くなっています。その他の理由では大きな違いはありませんでした。





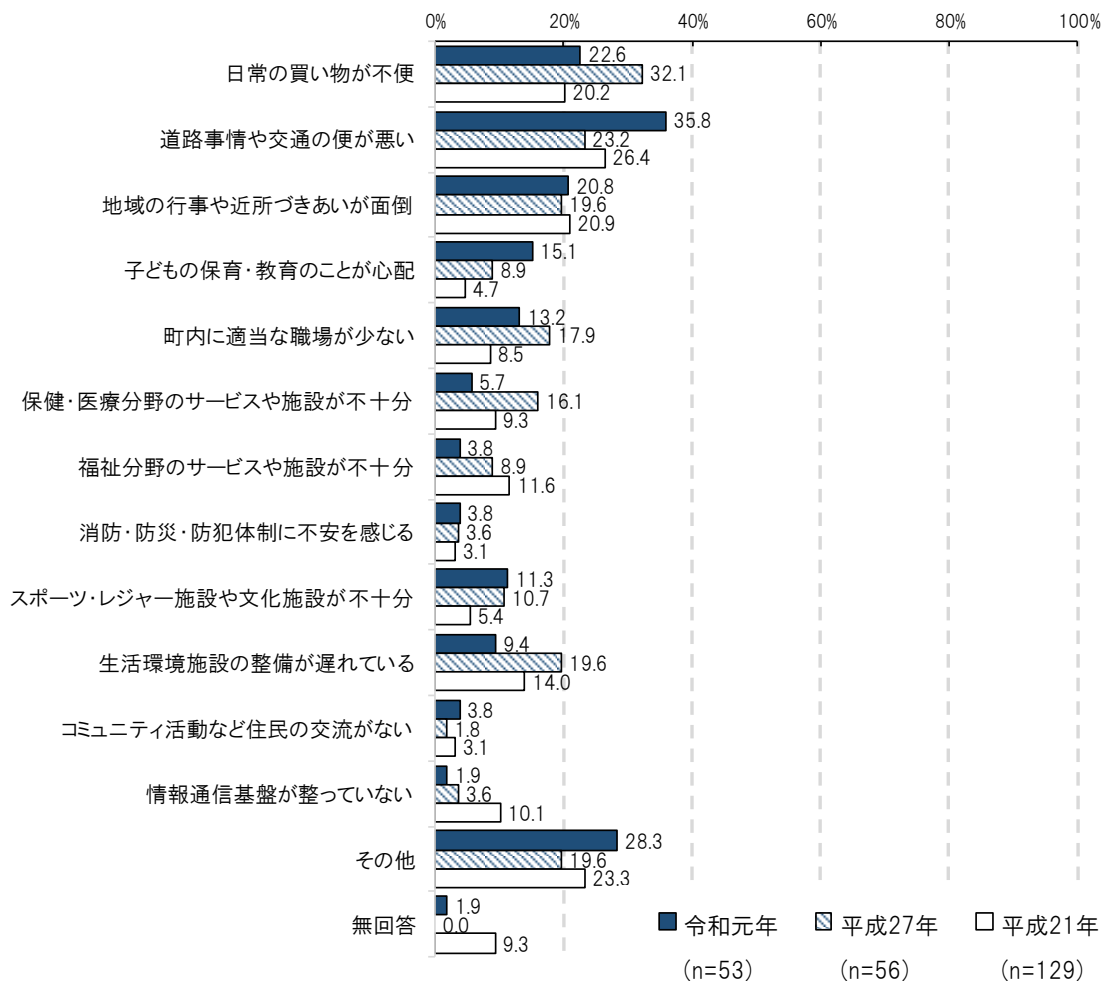
問3③ 住みたくない主な理由は何ですか。(2つまで〇印)

「道路事情や交通の便が悪い」が35.8%、次いで「日常の買い物が不便」が22.6%

住みたくない主な理由については、「道路事情や交通の便が悪い」が35.8%と最も高く、次いで「日常の買い物が不便」(22.6%)、「地域の行事や近所づきあいが面倒」(20.8%)、「子どもの保育・教育のことが心配」(15.1%)、「町内に適当な職場が少ない」(13.2%)などの順となっています。

[前回調査との比較]

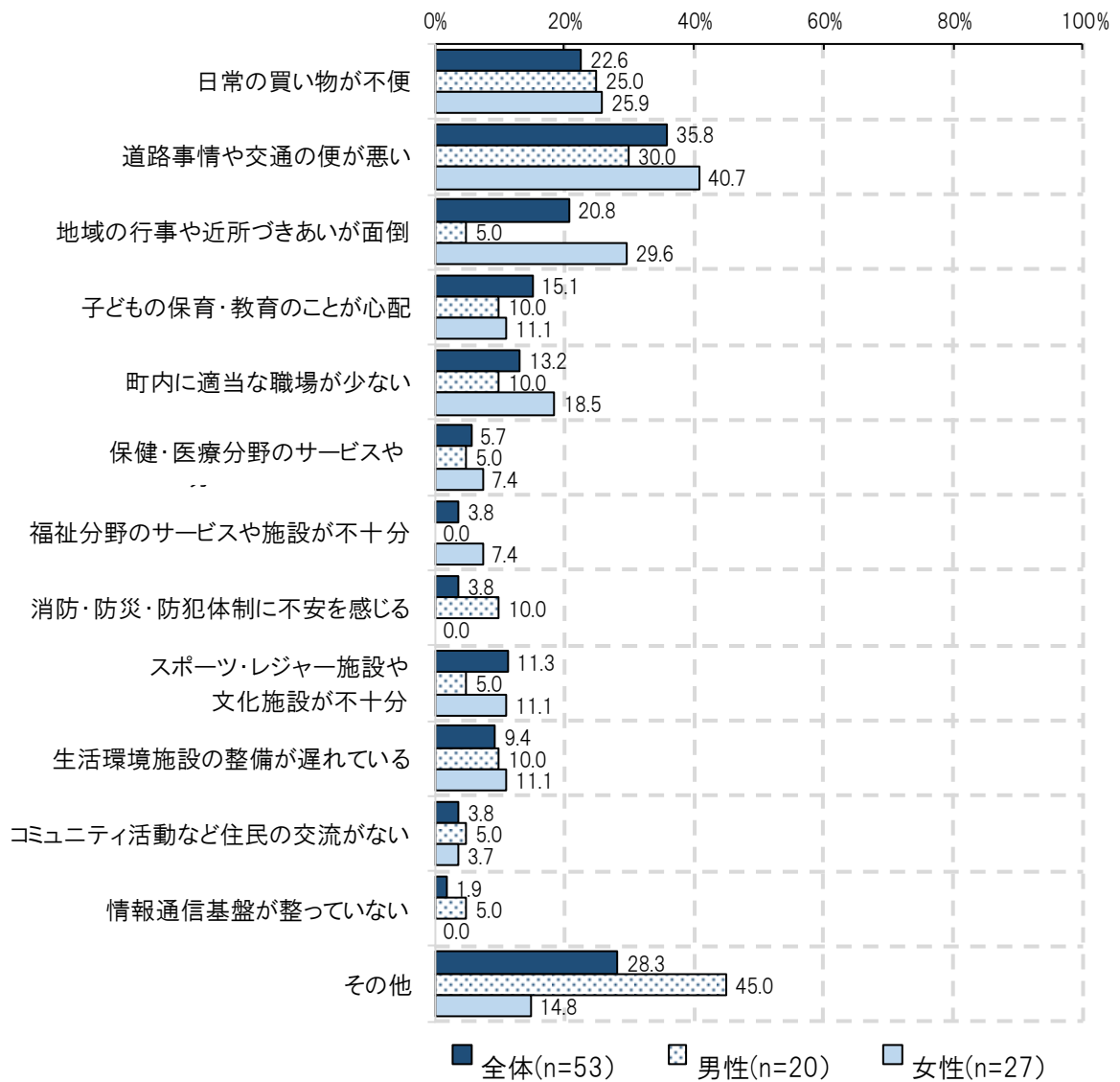
「道路事情や交通の便が悪い」や「子どもの保育・教育のことが心配」の理由が増加傾向、「保健・医療分野のサービスや施設が不十分」や「福祉分野のサービスや施設が不十分」、「生活環境施設の整備が遅れている」の理由が減少傾向となっています。

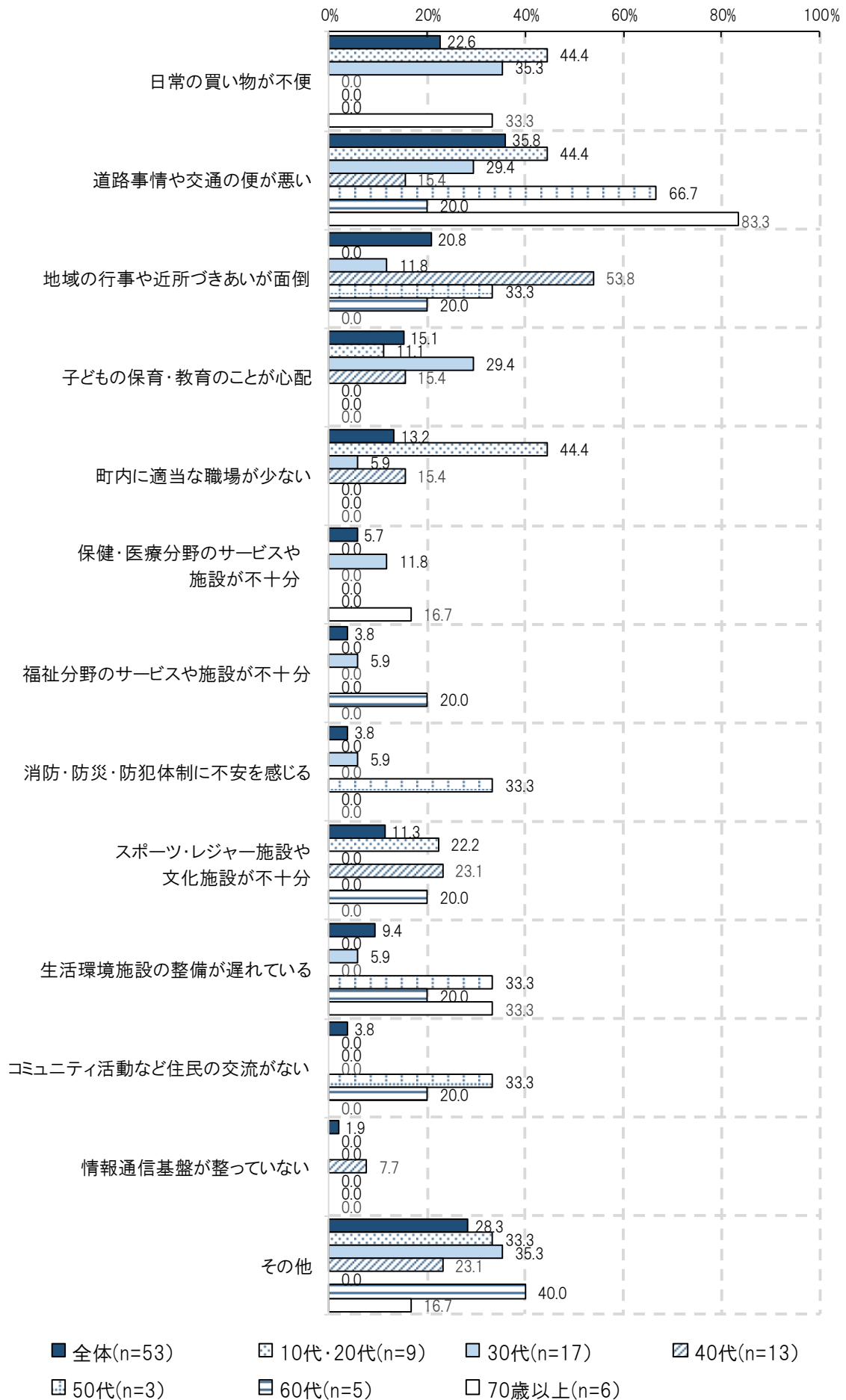


[回答者の属性別]

性別でみると、「道路事情や交通の便が悪い」では「女性」(40.7%)の方が「男性」(30.0%)より高く、「地域の行事や近所づきあいが面倒」では「女性」(29.6%)の方が「男性」(5.0%)よりかなり高くなっています。「町内に適当な職場が少ない」でも「女性」(18.5%)の方が「男性」(10.0%)より高くなっています。また、「消防・防災・防犯体制に不安を感じる」では「男性」(10.0%)の方が「女性」(0.0%)より高くなっています。

年齢では、対象者数が小さいため参考としてグラフを掲載します。





### 3 まちの現状と今後の取り組みについて

#### (1) 満足度

問4 阿久比町について、現状の満足度と、今後の重要度をおたずねします。

- ① あなたは、以下の項目について、現在どの程度満足していますか。  
それぞれについてあてはまる番号1つに○印をつけてください。

満足度が最も高い項目は「上水道」、次いで「環境衛生」、「下水道」の順  
満足度が最も低い項目は「道路・交通網」、次いで「商業」、「行政経営」の順

阿久比町の各環境について、現在どの程度満足しているかを把握するため、都市基盤分野、生活環境分野、保健・医療・福祉分野、教育・文化分野、産業・経済分野、コミュニティ・住民参画・行財政分野の6分野32項目を設定し、項目ごとに「満足している」、「どちらかといえば満足している」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば不満である」、「不満である」の5段階で評価してもらい、その結果を加重平均値〔後述参照〕による数量化で評価点（満足度：最高点10点、中間点0点、最低点－10点）を算出しました。

この結果、満足度評価が最も高い項目は、「上水道」（3.23点）となっており、次いで第2位が「環境衛生」（1.92点）、第3位が「下水道」（1.91点）と続き、以下、「消防・防災」（1.81点）、「環境保全」（1.47点）などの順となっています。

一方、満足度評価の低い項目をみると、「道路・交通網」（-1.35点）が最も低く、次いで、「商業」（-0.51点）、「行政経営」（-0.25点）、「農業」（-0.24点）、「工業」（-0.21点）と続いています。全体的にみると、満足度がプラス評価の項目が24項目、マイナス評価の項目が8項目となっています。

満足度の高い分野は生活環境分野、満足度の低い分野は産業・経済分野となっています。

#### [前回調査との比較]

過去の調査と比較してみると、満足度の高い上位5位の項目は多少の順位の違いはありますが、ほとんど同じとなっています。前回よりも満足度が上がっている主なものは、「上水道」、「下水道」、「交通安全・防犯」、「子育て支援」、「健康づくり・医療」などとなっており、不満度が改善されている主なものは、「高齢者施策」、「障がい者施策」、「社会保障」、「農業」、「商業」、「工業」、「就労対策・勤労者福祉」、「行政運営」などとなっています。

また、「道路・交通網」は不満度が上がっています。

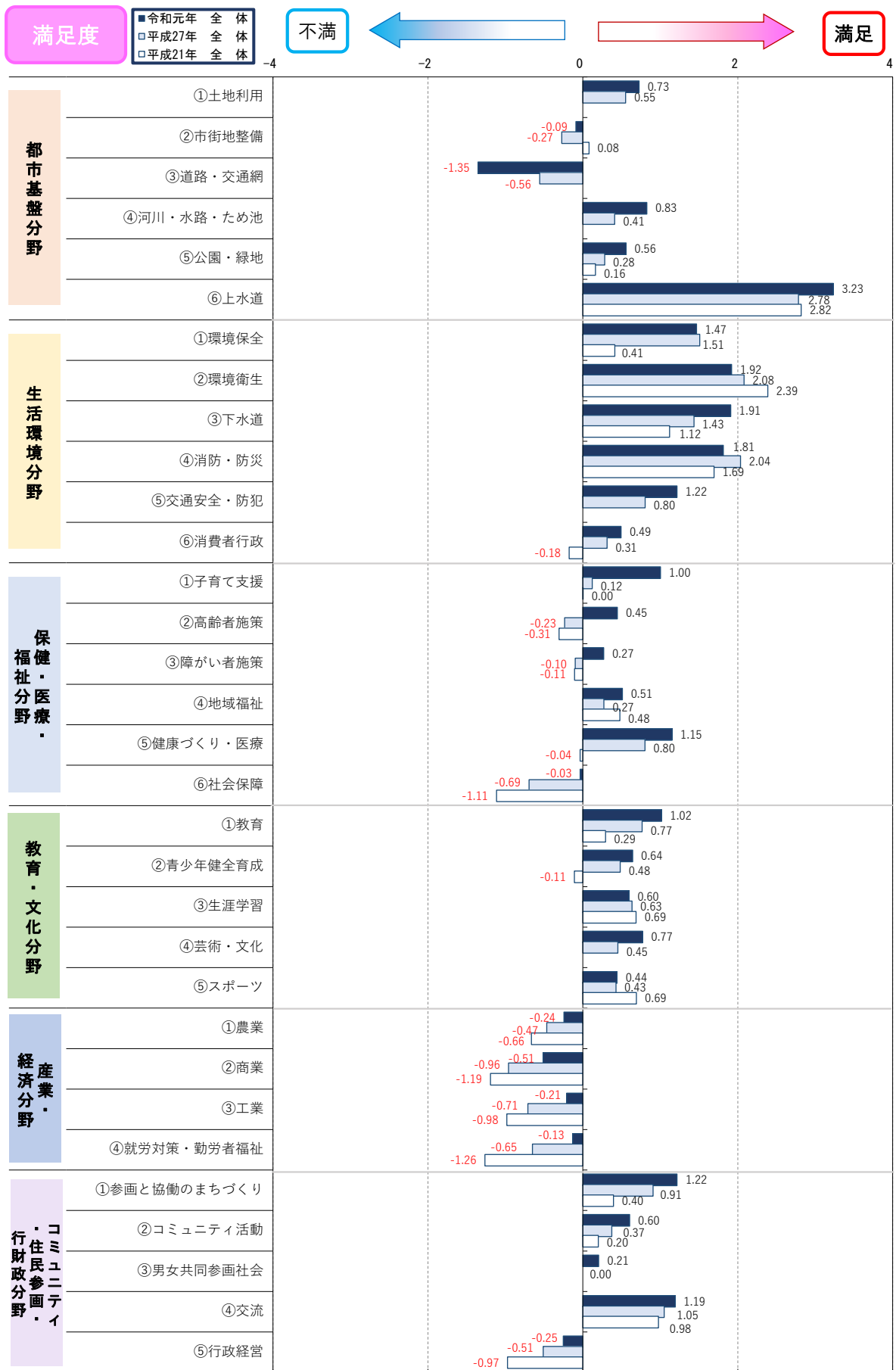


※加重平均値の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点（満足度）を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「満足している」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらかといえば満足している」の回答者数} \\ \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらかといえば不満」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「不満である」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{「満足している」、「どちらかとい} \\ \text{えば満足している」、「どちらとも} \\ \text{いえない」、「どちらかといえば不} \\ \text{満」、「不満である」の回答者数} \end{array}}$$

この算出方法により、評価点(満足度)は 10 点～-10 点の間に分布し、中間点の0点を境に、10 点に近くなるほど評価は高いと考えられ、逆に-10 点に近くなるほど評価が低いと考えられる。



## (2) 重要度

問4 阿久比町について、現状の満足度と、今後の重要度をおたずねします。

- ② あなたは、以下の項目について、現在どの程度重視していますか。  
それぞれについてあてはまる番号1つに○印をつけてください。

▼  
重要度が最も高い項目は「道路・交通網」、次いで「交通安全・防犯」、「環境衛生」の順  
重要度が最も低い項目は「交流」、次いで「男女共同参画社会」、「コミュニティ活動」の順

阿久比町の各環境について、今後どの程度重視しているかを把握するため、都市基盤分野、生活環境分野、保健・医療・福祉分野、教育・文化分野、産業・経済分野、コミュニティ・住民参画・行財政分野の6分野32項目を設定し、項目ごとに「重視している」、「どちらかといえば重視している」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば重視していない」、「重視していない」の5段階で評価してもらい、その結果を加重平均値〔後述参照〕による数量化で評価点（重要度：最高点10点、中間点0点、最低点-10点）を算出しました。

この結果、重要度評価が最も高い項目は、「道路・交通網」（5.62点）となっており、次いで第2位が「交通安全・防犯」（5.37点）、第3位が「環境衛生」（4.57点）と続き、以下、「子育て支援」（4.51点）、「教育」（4.48点）などの順となっています。

一方、重要度の低い項目をみると、「交流」（1.18点）が最も低く、次いで、「男女共同参画社会」（1.24点）、「コミュニティ活動」（1.46点）、「消費者行政」（1.59点）、「参画と協働のまちづくり」（1.85点）と続いています。重要度の高い分野は、生活環境分野、保健・医療・福祉分野を中心に都市基盤分野となり、重要度の低い項目はコミュニティ・住民参画・行財政分野、産業・経済分野となっています。

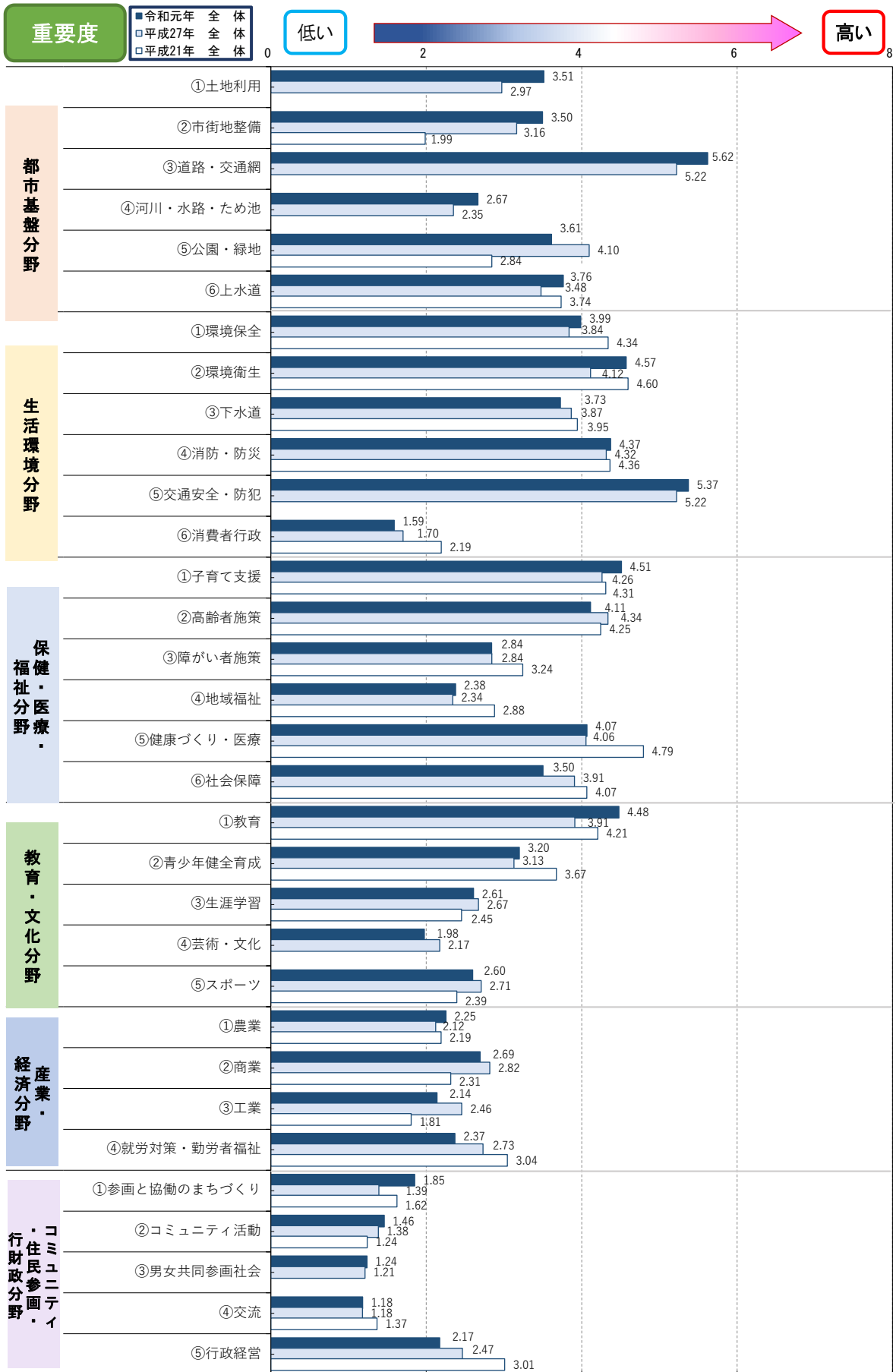
### [前回調査との比較]

過去の調査と比較してみると、生活環境や子育て、教育を重要視する傾向があります。前回よりも重要度が上がっている主なものは、「土地利用」、「道路・交通網」、「環境衛生」、「交通安全・防犯」、「子育て支援」、「教育」などとなっており、一方、重要度が下がっている主なものは、「公園・緑地」、「消費者行政」、「就労対策・勤労者福祉」、「行政経営」などとなっています。

※加重平均値の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点（重要度）を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「重視している」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらかといえば重視している」の回答者数} \\ \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらかといえば重視していない」の} \\ \text{回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「重視していない」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{「重視している」、「どちらかとい} \\ \text{えば重視している」、「どちら} \\ \text{ともいえない」、「どちらかとい} \\ \text{えば重視していない」、「重視し} \\ \text{ていない」の回答者数} \end{array}}$$



### (3) 優先度（満足度と重要度の相関）

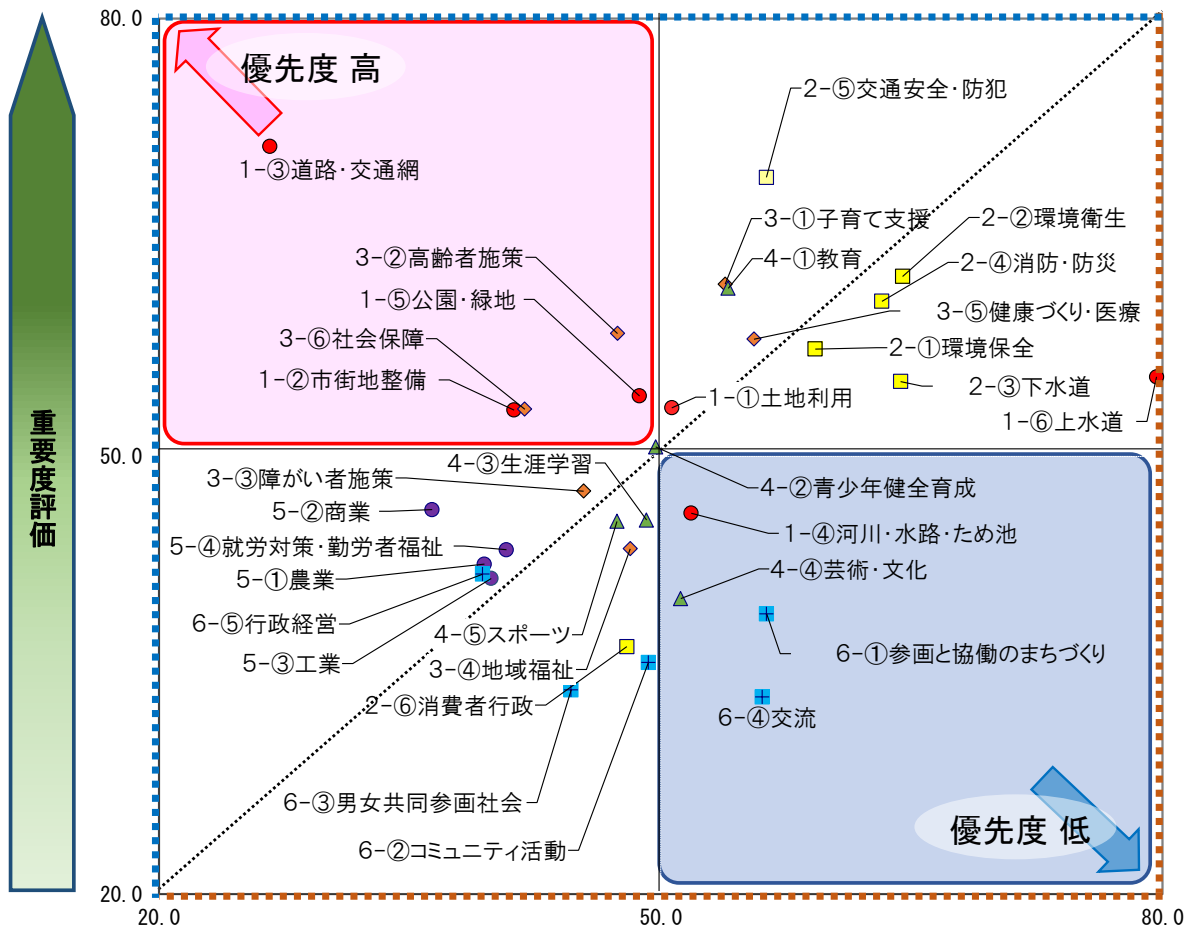
- 優先度が最も高い項目は「道路・交通網」、次いで「交通安全・防犯」、「市街地整備」の順

これまでみてきた満足度と重要度の分析結果を踏まえ、今後優先的に取り組むべき施策項目を抽出するための一つの試みとして、満足度評価と重要度評価を相関させた散布図を作成しました。このグラフでは左上隅の「満足度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど優先度が高くなり、右下隅の「満足度評価最高・重要度評価最低」に近づくほど優先度が低くなります。

この結果をみると、優先度は、「道路・交通網」(20.70 点)が第1位となっており、次いで「交通安全・防犯」(5.77 点)、「市街地整備」(5.39 点)、「社会保障」(5.13 点)、「高齢者施策」(4.96 点)などの順となっています。分野別では、都市基盤分野、保健・医療・福祉分野の施策に対する優先度が高く、コミュニティ・住民参画・行財政分野の施策への優先度が低くなっています。

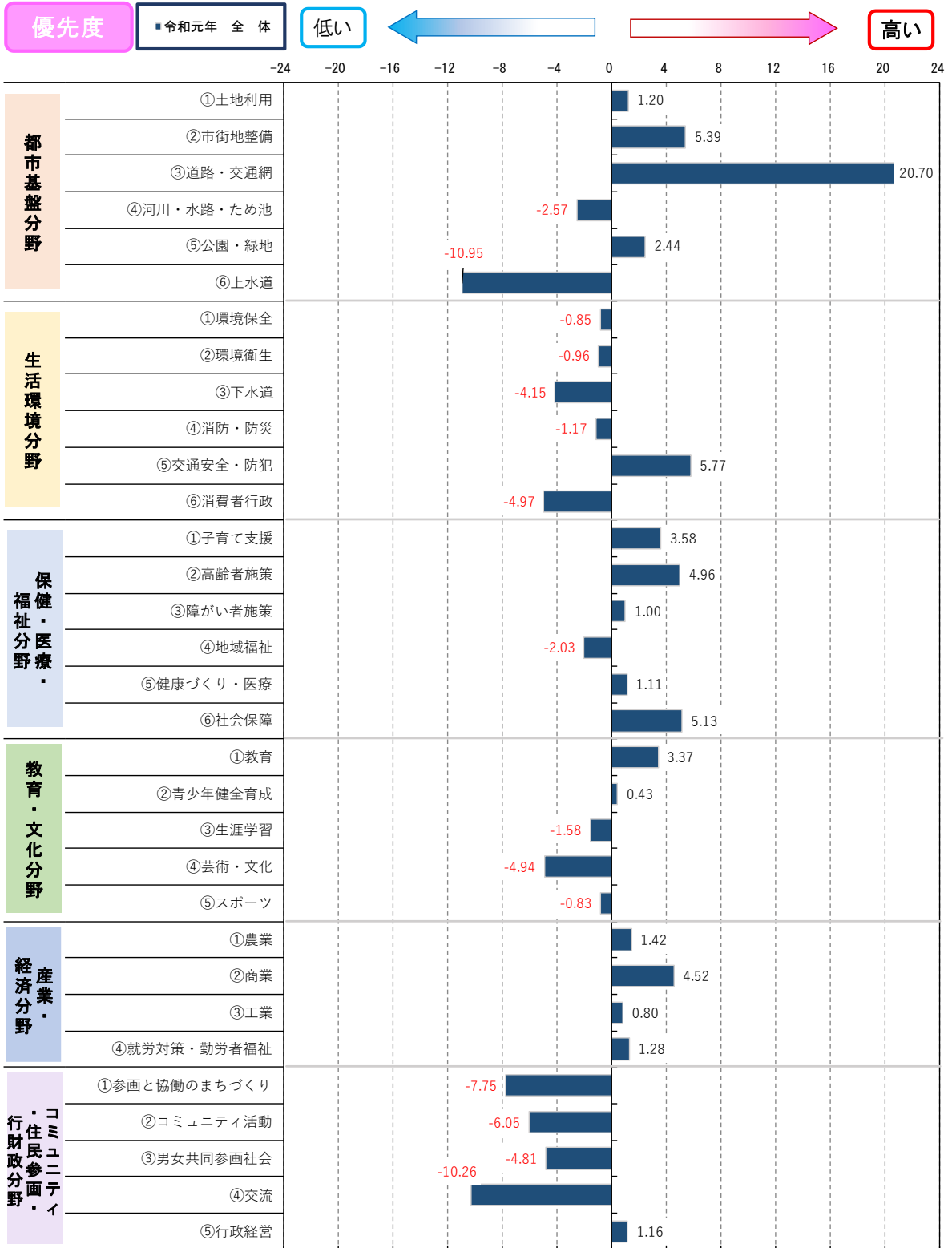
#### ※優先度の算出方法

- ① 散布図を作成するため満足度偏差値・重要度偏差値を算出する。
- ② ①で算出した偏差値から平均（中心）からの距離を算出する。
- ③ 平均（中心）から「満足度評価最低・重要度評価最高」への線と平均（中心）から各項目への線の角度を求める。
- ④ ③で求められた角度より修正指数を算出する（指数は下記のとおり設定し、左上隅の「満足度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど得点が高くなる。）。
- ⑤ ②で算出された平均（中心）からの距離と④で算出された修正指数から優先度を算出する。



**満足度評価**

- |                     |                            |
|---------------------|----------------------------|
| ● 1-①～⑥: 都市基盤分野     | ■ 2-①～⑥: 生活環境分野            |
| ◆ 3-①～⑥: 保健・医療・福祉分野 | ▲ 4-①～⑤: 教育・文化分野           |
| ● 5-①～④: 産業・経済分野    | ■ 6-①～⑤: コミュニティ・住民参画・行財政分野 |





#### (4) 今後のまちづくり

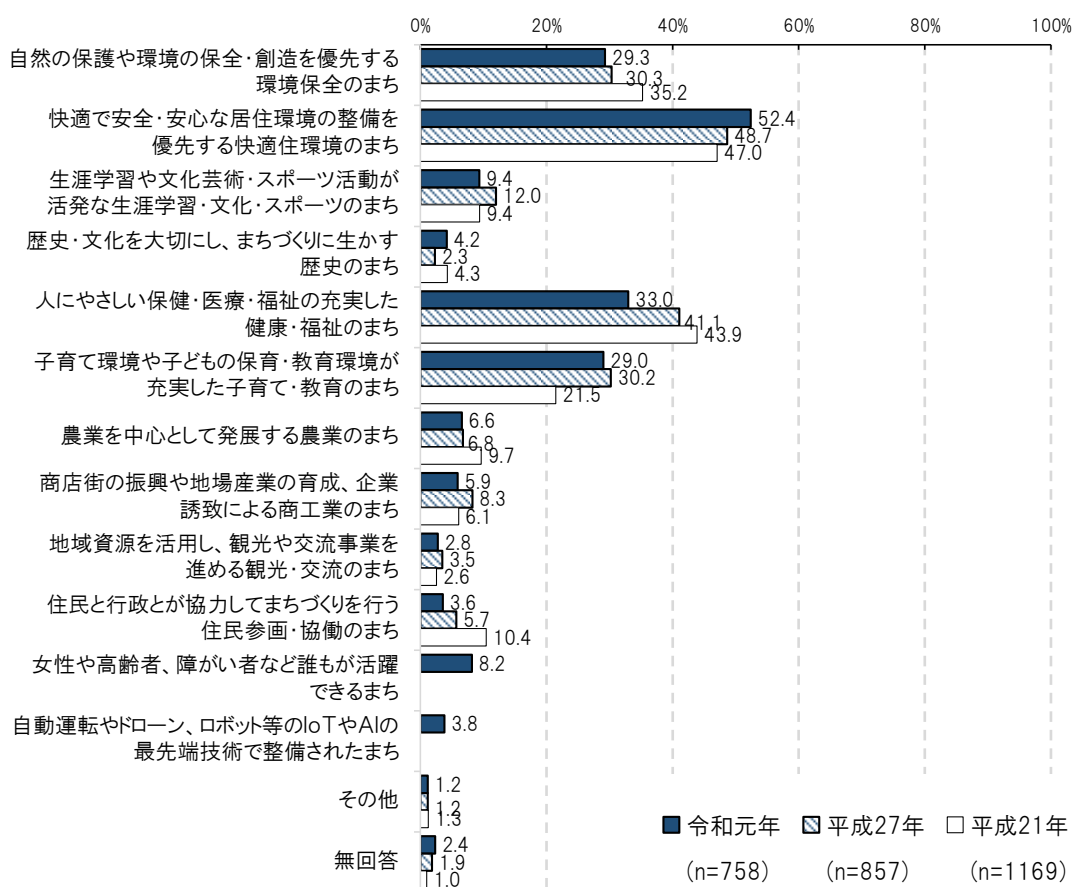
問5 あなたは、今後のまちづくりにおいて、阿久比町をどのような特色のあるまちにすべきだと考えますか。(2つまで〇印)

「快適で安全・安心な居住環境の整備を優先する快適住環境のまち」が52.4%、次いで「人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康・福祉のまち」が33.0%

阿久比町の今後のまちづくりの特色について、「快適で安全・安心な居住環境の整備を優先する快適住環境のまち」が52.4%と最も高く、次いで「人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康・福祉のまち」(33.0%)、「自然の保護や環境の保全・創造を優先する環境保全のまち」(29.3%)、「子育て環境や子どもの保育・教育環境が充実した子育て・教育のまち」(29.0%)などの順となっています。

#### [前回調査との比較]

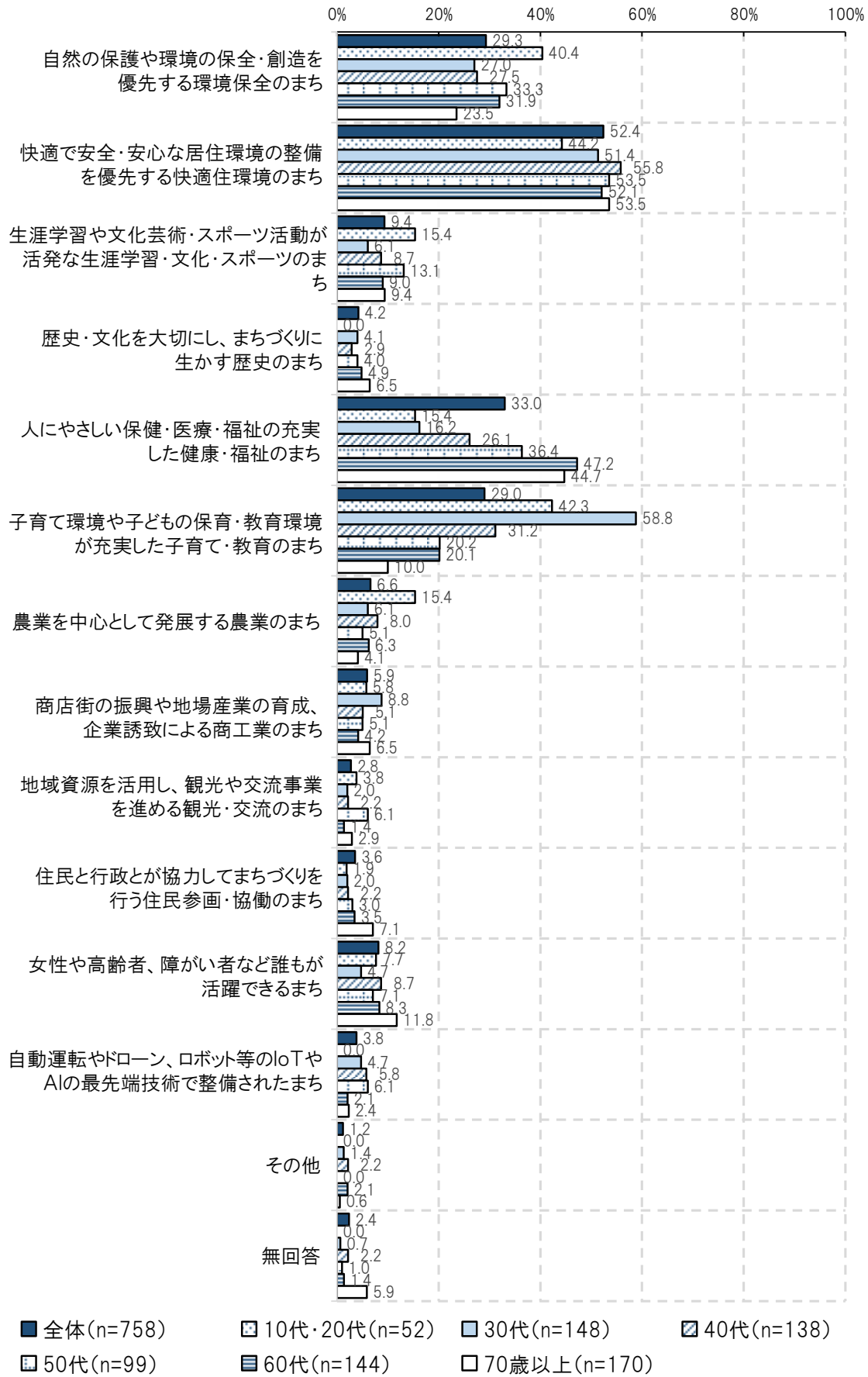
過去調査と上位4位は変わりませんが、「快適で安全・安心な居住環境の整備を優先する快適住環境のまち」が増加傾向、「人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康・福祉のまち」が減少しています。

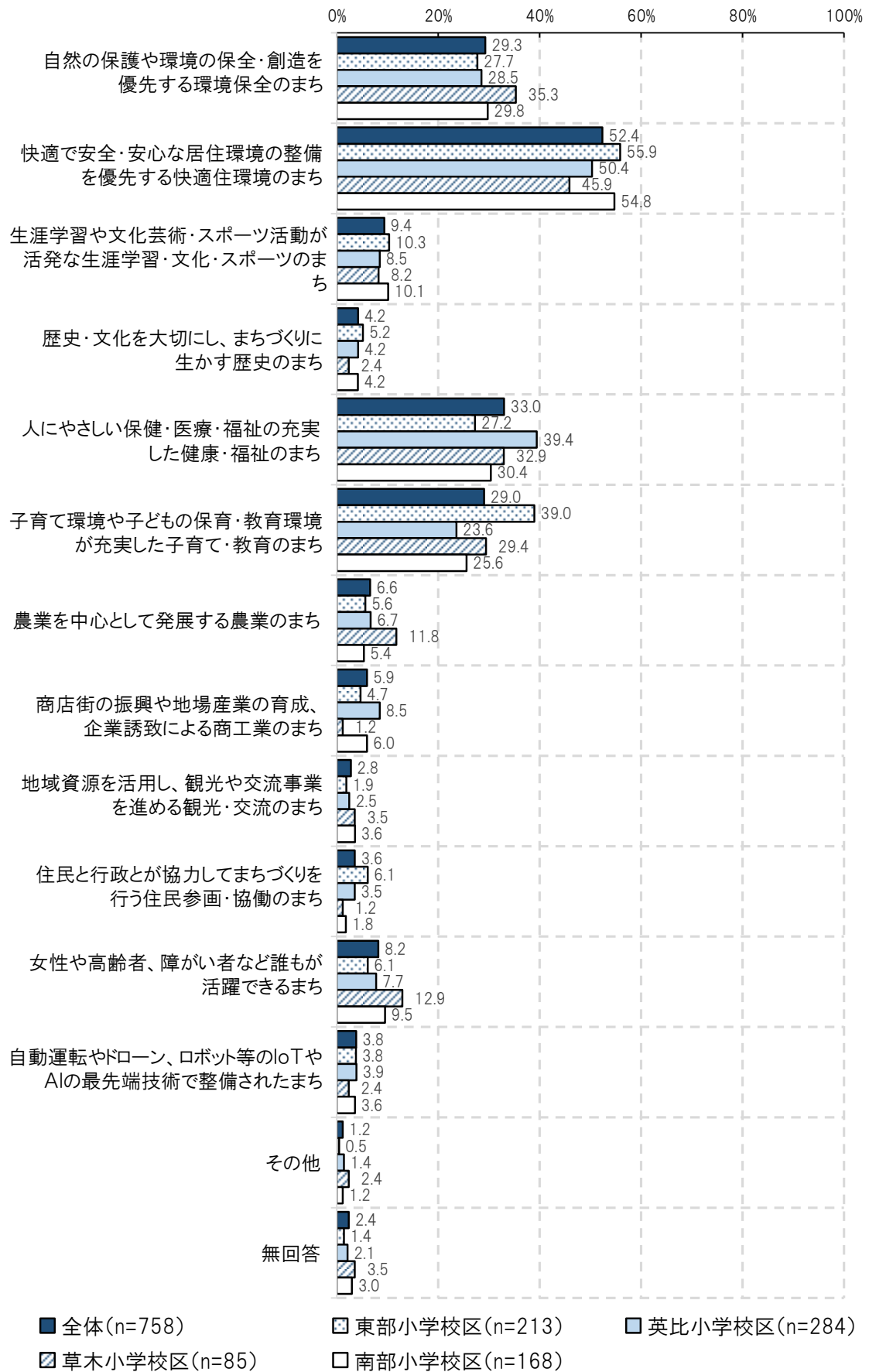


## [回答者の属性別]

年齢で見ると、「快適で安全・安心な居住環境の整備を優先する快適住環境のまち」では「10代・20代」(44.2%)が低くなっています。「人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康・福祉のまち」では「40代」以下の年齢でやや低く、「60代」以上の年齢で高くなっています。「自然の保護や環境の保全・創造を優先する環境保全のまち」では「10代・20代」(40.4%)が高くなっています。「子育て環境や子どもの保育・教育環境が充実した子育て・教育のまち」では「10代・20代」(42.3%)と「30代」(58.8%)がかなり高くなっており、加齢とともに低くなっています。

居住地区で見ると、「快適で安全・安心な居住環境の整備を優先する快適住環境のまち」では「草木小学校区」(45.9%)がやや低くなっています。「人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康・福祉のまち」では「英比小学校区」(39.4%)がやや高く、「東部小学校区」(27.2%)がやや低くなっています。「自然の保護や環境の保全・創造を優先する環境保全のまち」では「草木小学校区」(35.3%)がやや高くなっています。「子育て環境や子どもの保育・教育環境が充実した子育て・教育のまち」では「東部小学校区」(39.0%)が高く、「英比小学校区」(23.6%)がやや低くなっています。





## 4 少子高齢化について

### (1) 人口減少、少子高齢化

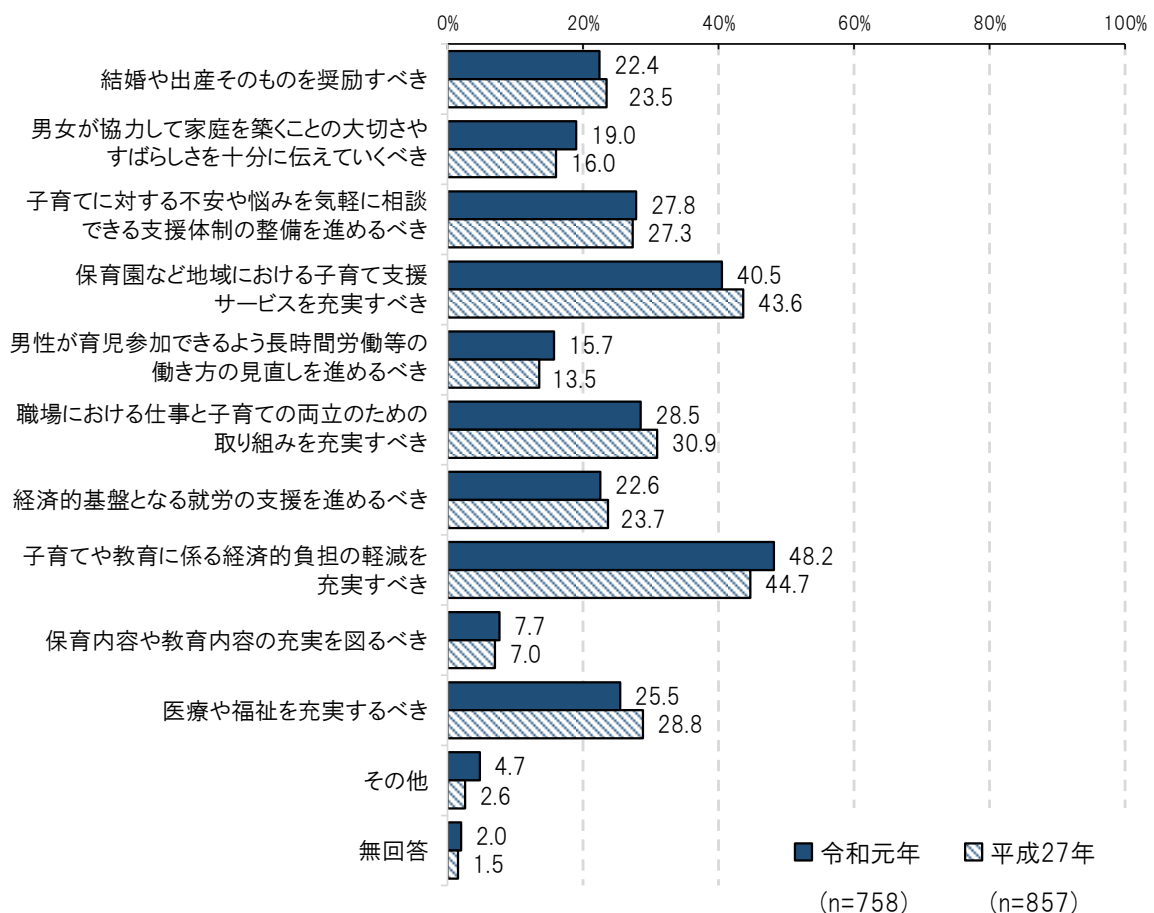
問6 全国的に人口減少、少子高齢化が進行しており社会問題となっています。あなたは、少子化対策についてどのような取り組みが重要だと思いますか。  
(3つまで〇印)

「子育てや教育に係る経済的負担の軽減を充実すべき」が48.2%、次いで「保育園など地域における子育て支援サービスを充実すべき」が40.5%

少子化対策の取り組みについては、「子育てや教育に係る経済的負担の軽減を充実すべき」が48.2%と最も高く、次いで「保育園など地域における子育て支援サービスを充実すべき」(40.5%)、「職場における仕事と子育ての両立のための取り組みを充実すべき」(28.5%)、「子育てに対する不安や悩みを気軽に相談できる支援体制の整備を進めるべき」(27.8%)などの順となっています。

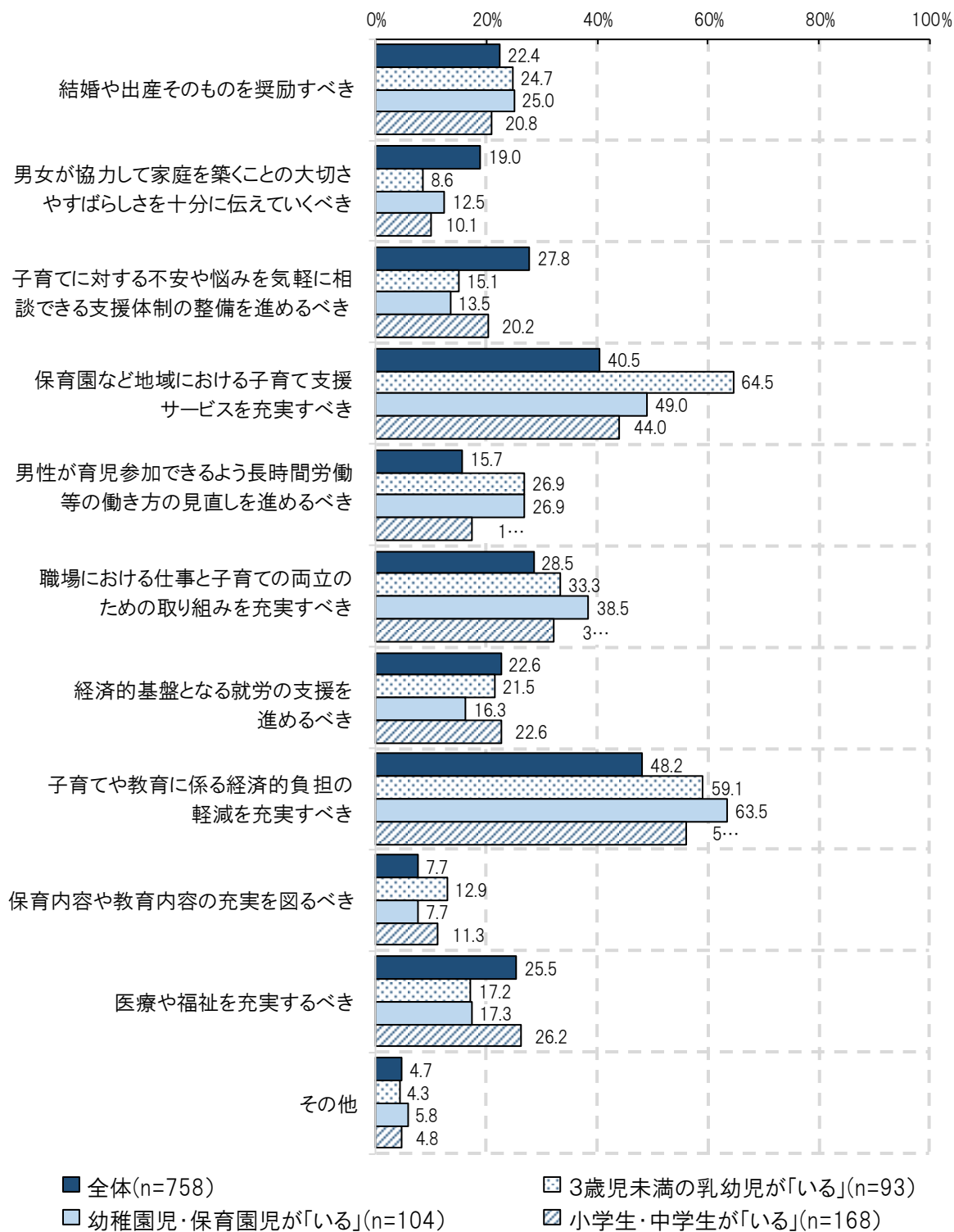
#### [前回調査との比較]

大きな違いはありませんが、「子育てや教育に係る経済的負担の軽減を充実すべき」がやや増加しています。



### [子どものいる家庭との比較]

住民全体の結果と中学生以下の子どものいる家庭との比較をしてみると、「子育てや教育に係る経済的負担の軽減を充実すべき」(全体：48.2%)では子どものいる全ての家庭で高くなっており、「幼稚園児・保育園児が「いる」」家庭で63.5%と特に高くなっています。「保育園など地域における子育て支援サービスを充実すべき」(全体：40.5%)では「3歳児未満の乳幼児が「いる」」家庭で64.5%と特に高くなっています。「職場における仕事と子育ての両立のための取り組みを充実すべき」(全体：28.5%)では「幼稚園児・保育園児が「いる」」家庭で38.5%と特に高くなっています。「子育てに対する不安や悩みを気軽に相談できる支援体制の整備を進めるべき」(全体：27.8%)では全ての子どものいる家庭で低くなっています。また、「男性が育児参加できるよう長時間労働等の働き方の見直しを進めるべき」(全体：15.7%)では「3歳児未満の乳幼児が「いる」」と「幼稚園児・保育園児が「いる」」(同率26.9%)が高くなっています。



## (2) 理想的な子どもの数の実現

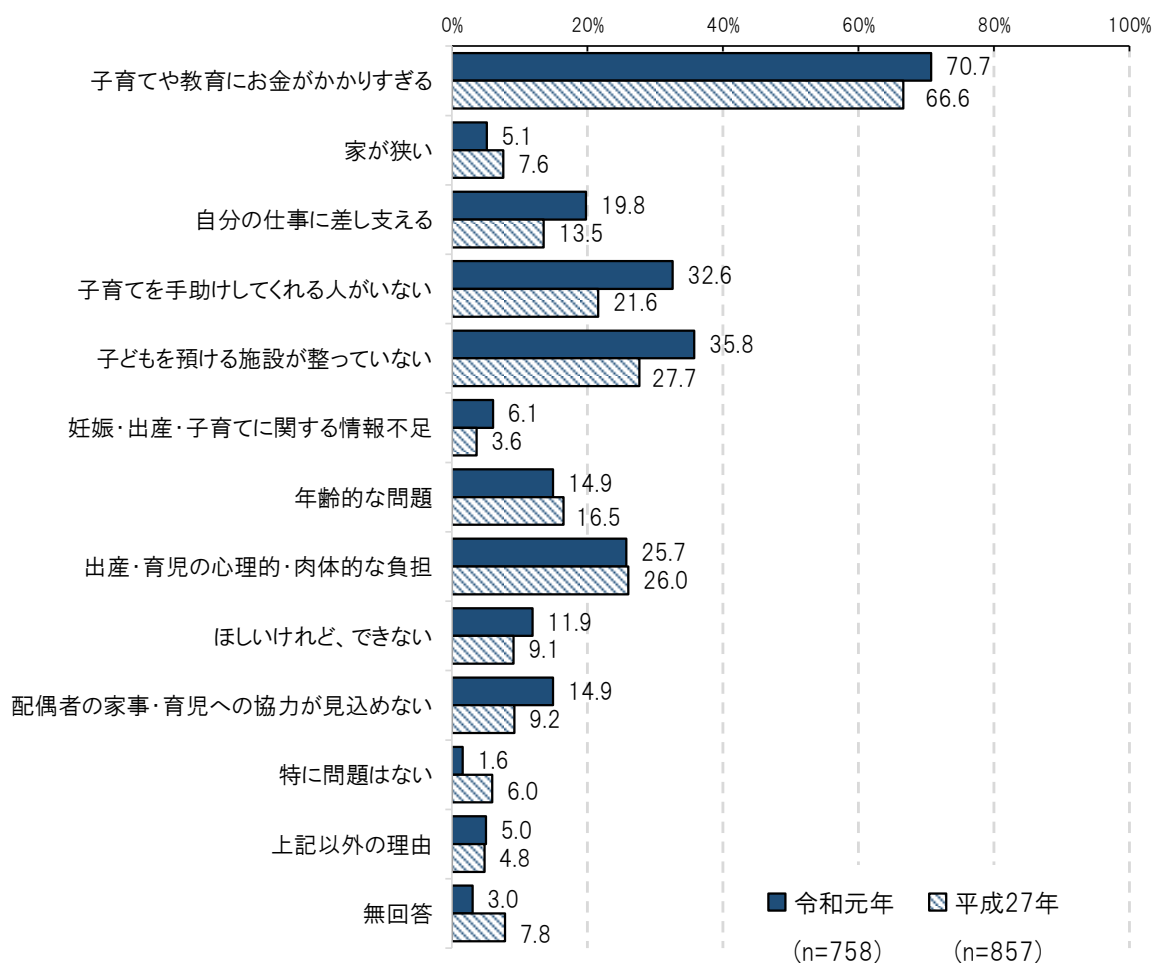
問7 あなたは、理想的な子どもの数を実現するために、問題になること（なりそうなこと）は何だと思いますか。（3つまで〇印）

「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が70.7%、次いで「子どもを預ける施設が整っていない」が35.8%

理想的な子どもの数の実現に問題となることについては、「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が70.7%と最も高く、次いで「子どもを預ける施設が整っていない」(35.8%)、「子育てを手助けしてくれる人がいない」(32.6%)、「出産・育児の心理的・肉体的な負担」(25.7%)、「自分の仕事に差し支える」(19.8%)などの順となっています。

### [前回調査との比較]

「子育てを手助けしてくれる人がいない」(11.0ポイント)と「子どもを預ける施設が整っていない」(8.1ポイント)が大きく増加しています。

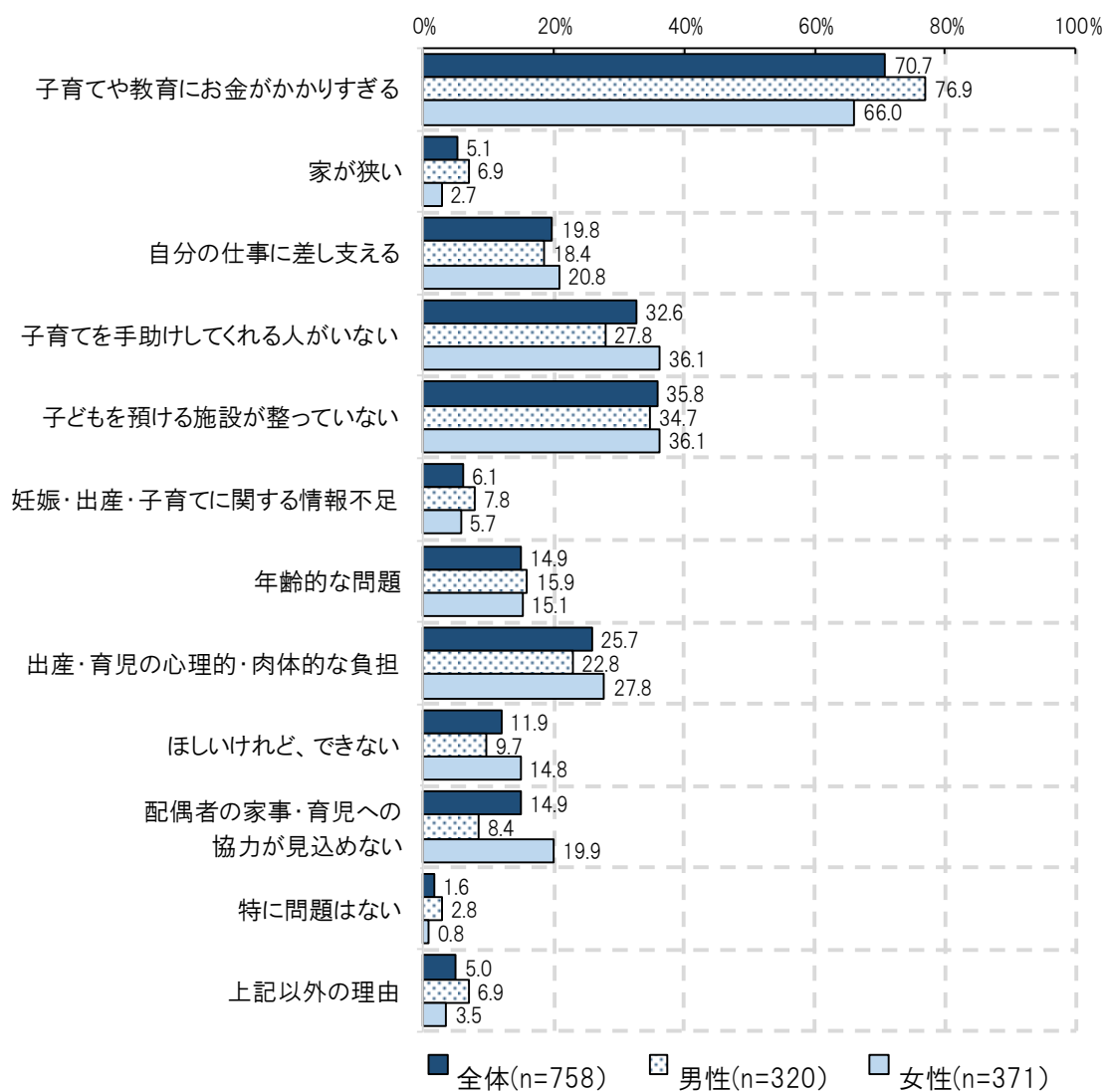


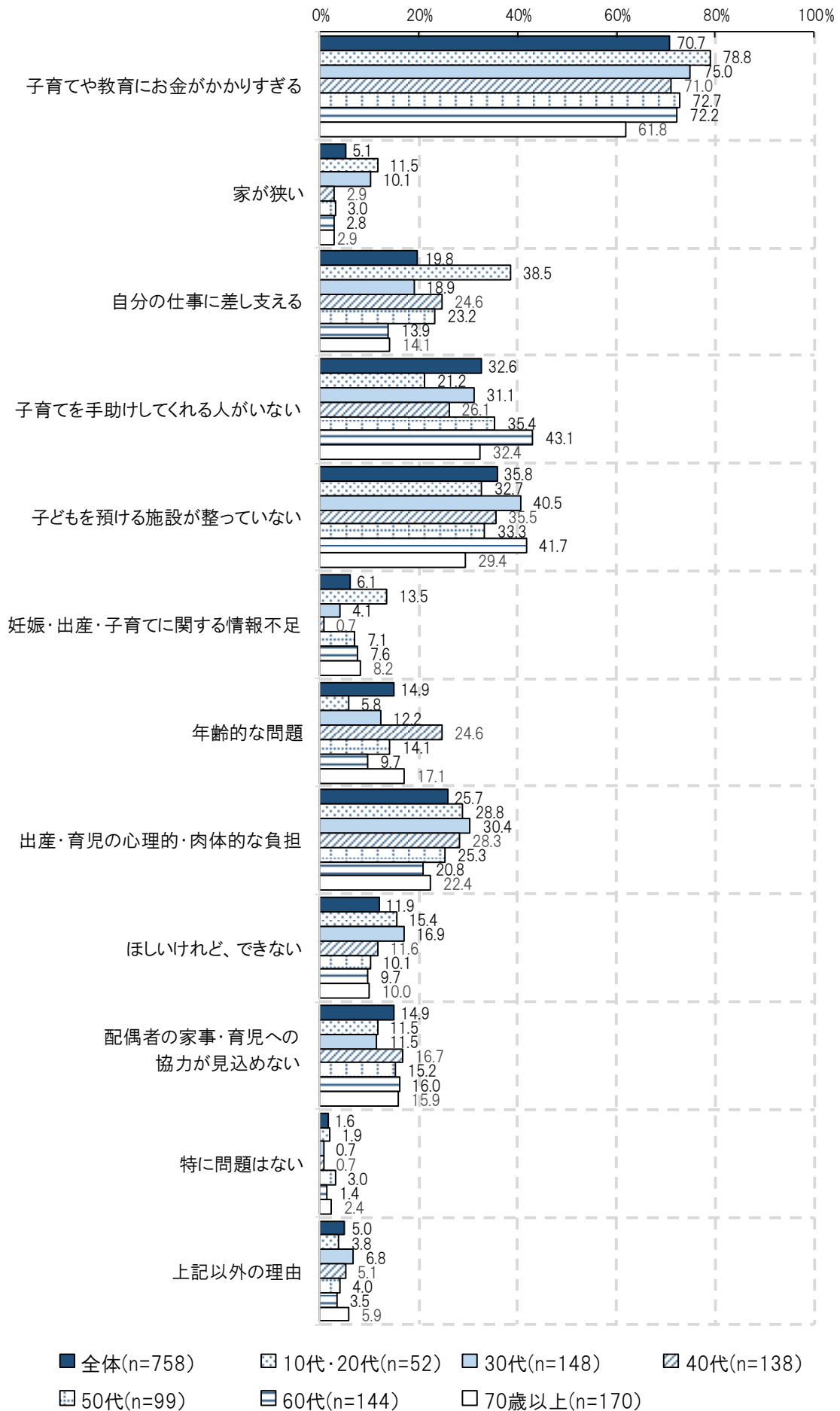


## [回答者の属性別]

性別でみると、「子育てや教育にお金がかかりすぎる」では「男性」(76.9%)の方が「女性」(66.0%)より高くなっています。「子どもを預ける施設が整っていない」では大きな違いはなく、「子育てを手助けしてくれる人がいない」では「女性」(36.1%)の方が「男性」(27.8%)より高くなっています。「出産・育児の心理的・肉体的な負担」では「女性」(27.8%)の方が「男性」(22.8%)より高くなっています。「自分の仕事に差し支える」では大きな違いはありません。また、「配偶者の家事・育児への協力が見込めない」では「女性」(19.9%)の方が「男性」(8.4%)よりかなり高くなっています。

年齢でみると、「子育てや教育にお金がかかりすぎる」(全体：70.7%)では「10代・20代」(78.8%)が高く、「70歳以上」(61.8%)が低くなっています。「子どもを預ける施設が整っていない」(全体：35.8%)では「60代」(41.7%)が高く、「70歳以上」(29.4%)が低くなっています。「子育てを手助けしてくれる人がいない」(全体：32.6%)では「60代」(43.1%)が高く、「10代・20代」(21.2%)と「40代」(26.1%)が低くなっています。「出産・育児の心理的・肉体的な負担」(全体：25.7%)では大きな違いはありませんでした。「自分の仕事に差し支える」(全体：19.8%)では「10代・20代」(38.5%)が高く、「60代」以上が低くなっています。





### (3) 町の子育て環境

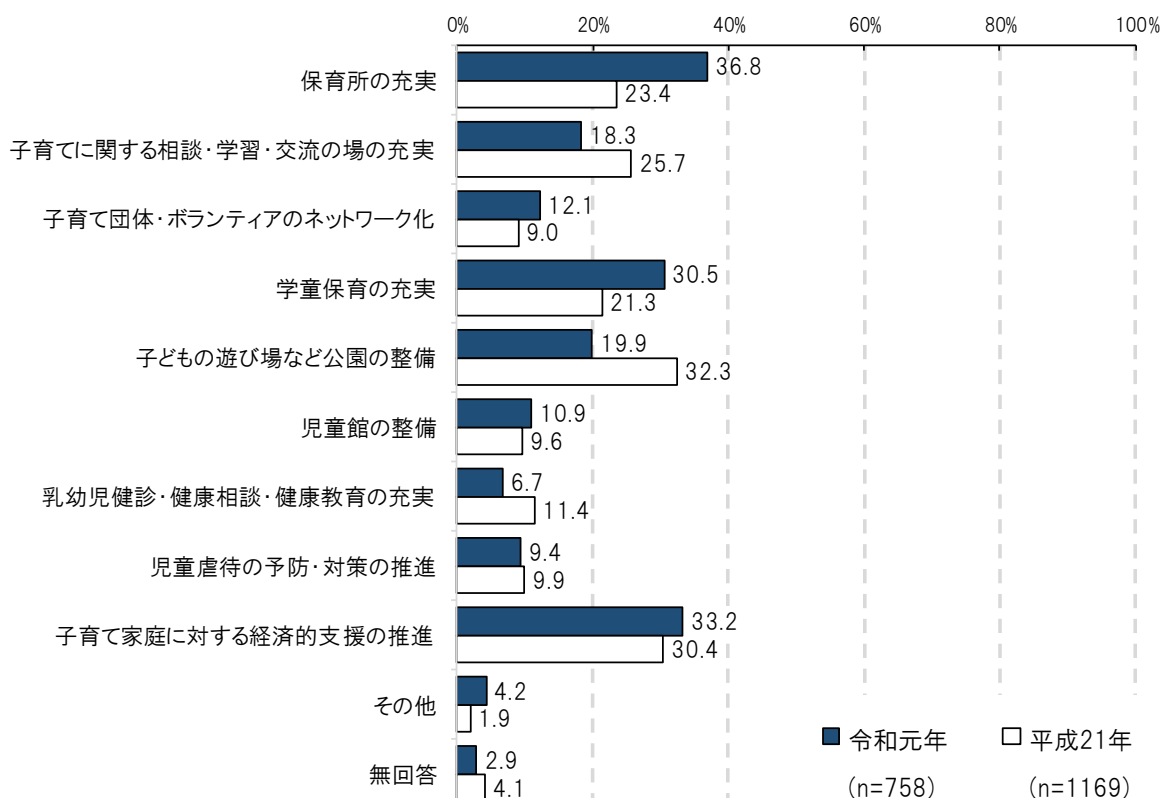
問8 あなたは、町の子育て環境を充実させるため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。(2つまで〇印)

「保育所の充実」が36.8%、次いで「子育て家庭に対する経済的支援の推進」が33.2%

町の子育て環境への取り組みについては、「保育所の充実」が36.8%と最も高く、次いで「子育て家庭に対する経済的支援の推進」(33.2%)、「学童保育の充実」(30.5%)、「子どもの遊び場など公園の整備」(19.9%)、「子育てに関する相談・学習・交流の場の充実」(18.3%)などの順となっています。

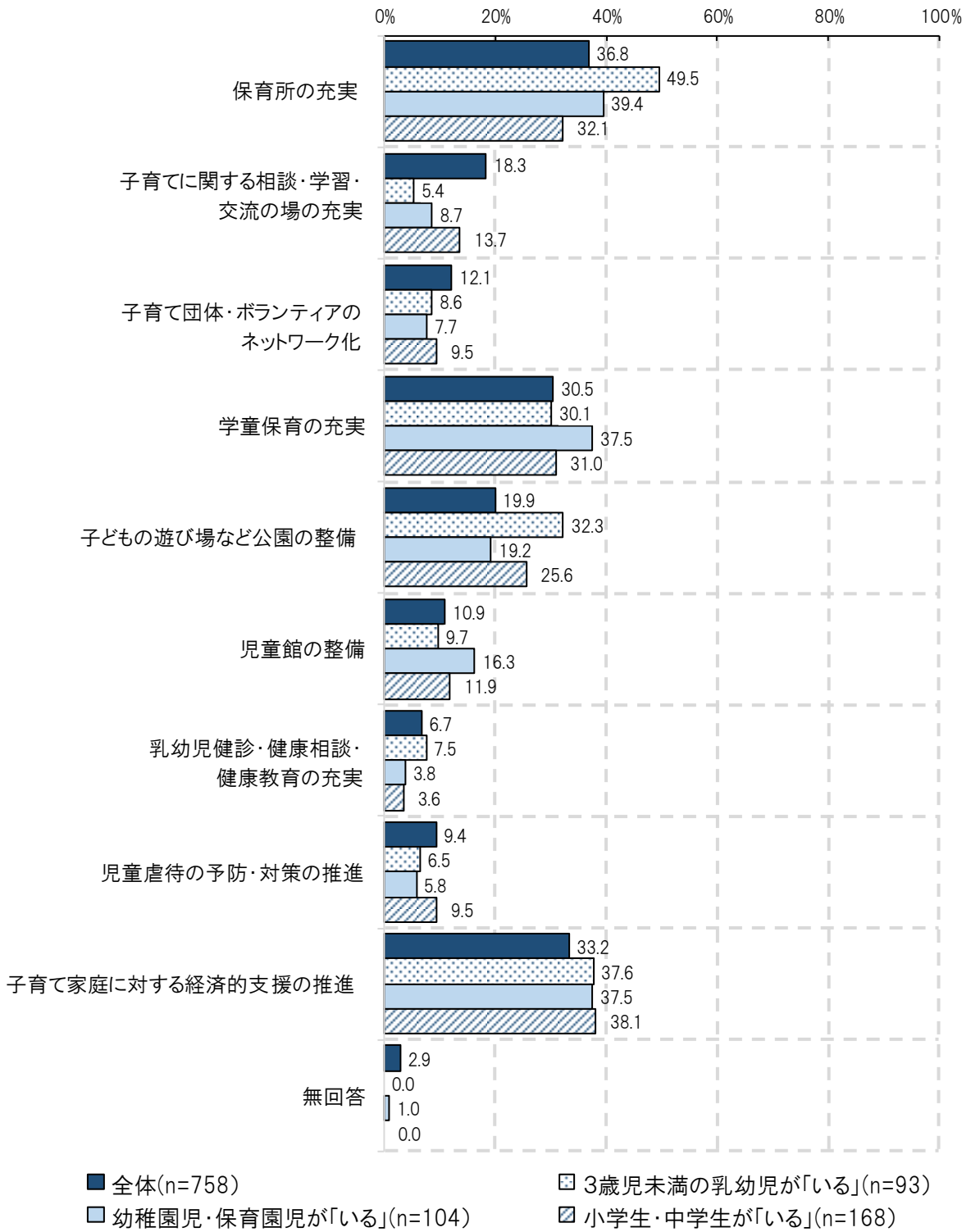
#### [前回調査との比較]

「保育所の充実」(13.4ポイント)と「学童保育の充実」(9.2ポイント)が大きく増加し、「子どもの遊び場など公園の整備」(12.4ポイント)と「子育てに関する相談・学習・交流の場の充実」(7.4ポイント)が減少しています。



### [子どものいる家庭との比較]

住民全体の結果と中学生以下の子どものいる家庭との比較をしてみると、「保育所の充実」(全体：36.8%)では「3歳児未満の乳幼児が「いる」」(49.5%)が高くなっています。「子育て家庭に対する経済的支援の推進」(全体：33.2%)では「小学生・中学生が「いる」」(38.1%)がやや高くなっています。「学童保育の充実」(全体：30.5%)では「幼稚園児・保育園児が「いる」」(37.5%)がやや高くなっています。「子どもの遊び場など公園の整備」(全体：19.9%)では「3歳児未満の乳幼児が「いる」」(32.3%)と「小学生・中学生が「いる」」(25.6%)が高くなっています。「子育てに関する相談・学習・交流の場の充実」(全体：18.3%)では「3歳児未満の乳幼児が「いる」」(5.4%)と「幼稚園児・保育園児が「いる」」(8.7%)が低くなっています。



#### (4) 高齢社会への対応

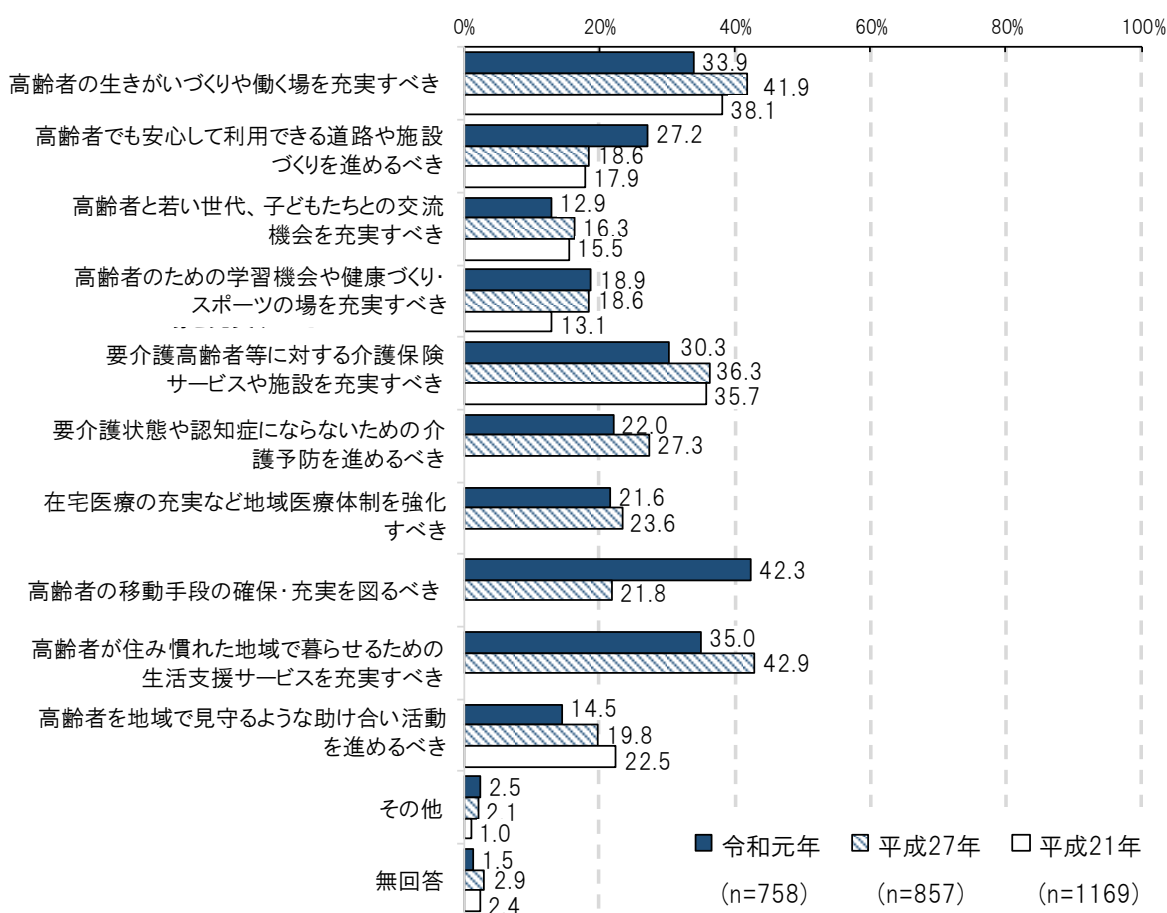
問9 あなたは、高齢社会に対応するためどのような取り組みが重要だと思いますか。(3つまで〇印)

「高齢者の移動手段の確保・充実を図るべき」が42.3%、次いで「高齢者が住み慣れた地域で暮らせるための生活支援サービスを充実すべき」が35.0%

高齢社会に対応するための取り組みについては、「高齢者の移動手段の確保・充実を図るべき」が42.3%と最も高く、次いで「高齢者が住み慣れた地域で暮らせるための生活支援サービスを充実すべき」(35.0%)、「高齢者の生きがいがづくりや働く場を充実すべき」(33.9%)、「要介護高齢者等に対する介護保険サービスや施設を充実すべき」(30.3%)、「高齢者でも安心して利用できる道路や施設づくりを進めるべき」(27.2%)などの順となっています。

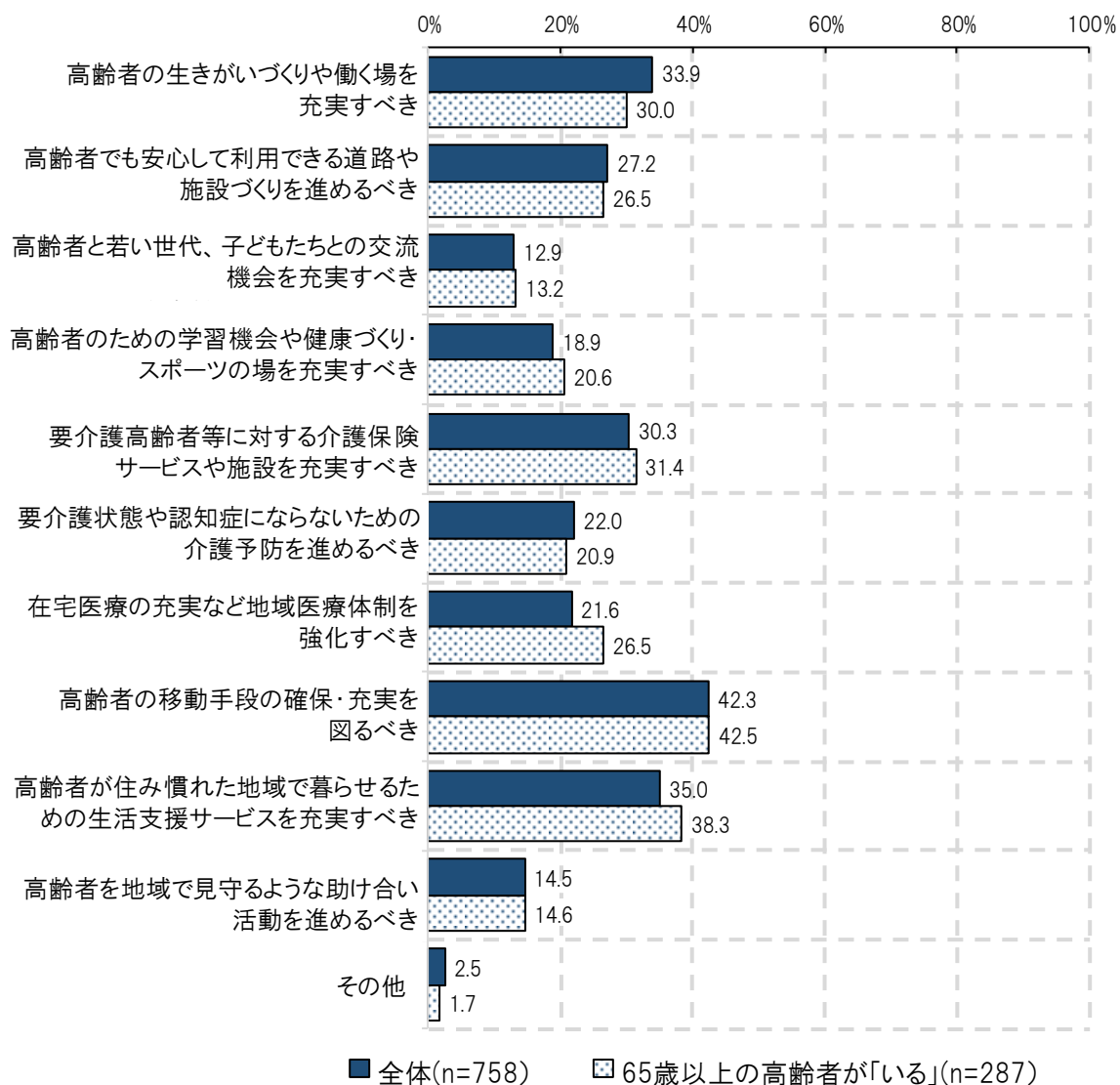
#### [前回調査との比較]

「高齢者でも安心して利用できる道路や施設づくりを進めるべき」や「高齢者の移動手段の確保・充実を図るべき」が増加傾向となっています。「高齢者が住み慣れた地域で暮らせるための生活支援サービスを充実すべき」や「高齢者を地域で見守るような助け合い活動を進めるべき」が減少傾向となっています。



[高齢者のいる家庭との比較]

住民全体の結果と高齢者のいる家庭との比較では、「在宅医療の充実など地域医療体制を強化すべき」でやや高くなっていますが、その他は大きな違いはありませんでした。



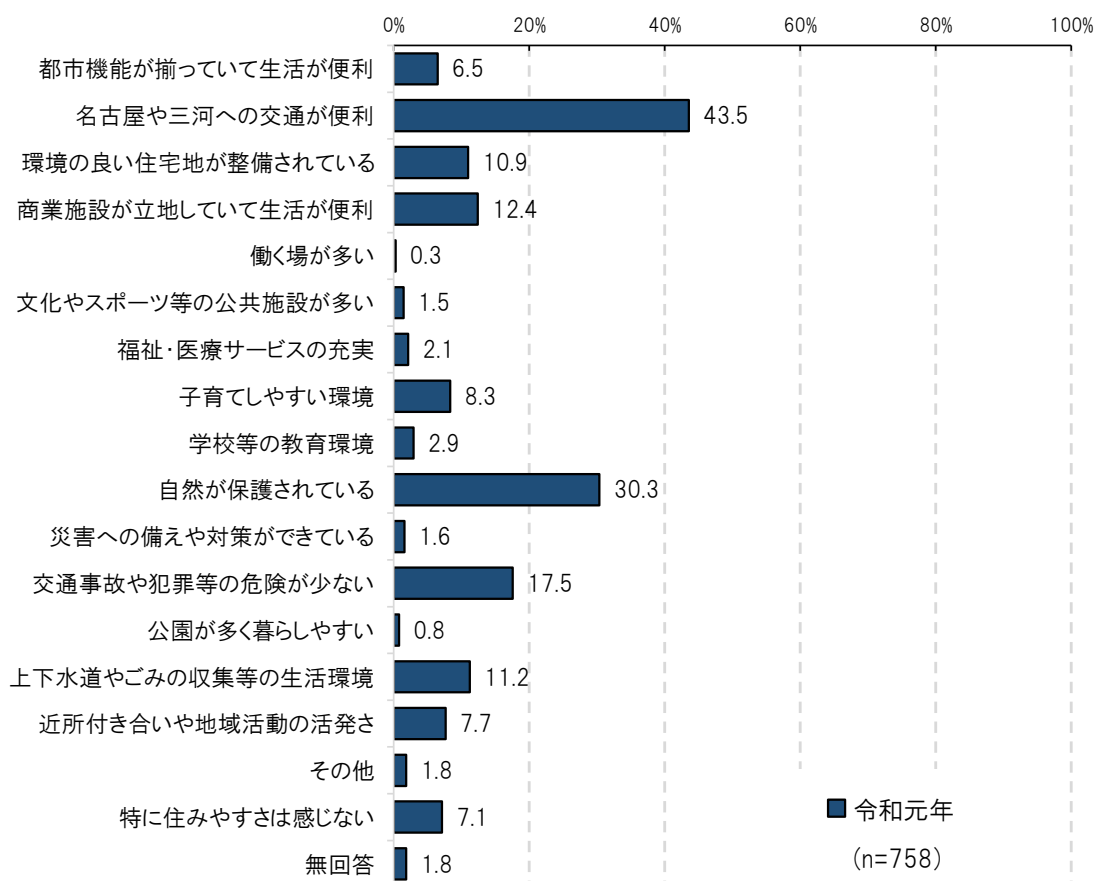
## 5 住みやすさについて

### (1) 住みやすさを感じる点

問 10 あなたが、阿久比町に住みやすさを感じる点はどういった点ですか。  
(2つまで○印)

「名古屋や三河への交通が便利」が43.5%、次いで「自然が保護されている」が30.3%

阿久比町での住みやすさについては、「名古屋や三河への交通が便利」が43.5%と最も高く、次いで「自然が保護されている」(30.3%)、「交通事故や犯罪等の危険が少ない」(17.5%)などの順となっています。

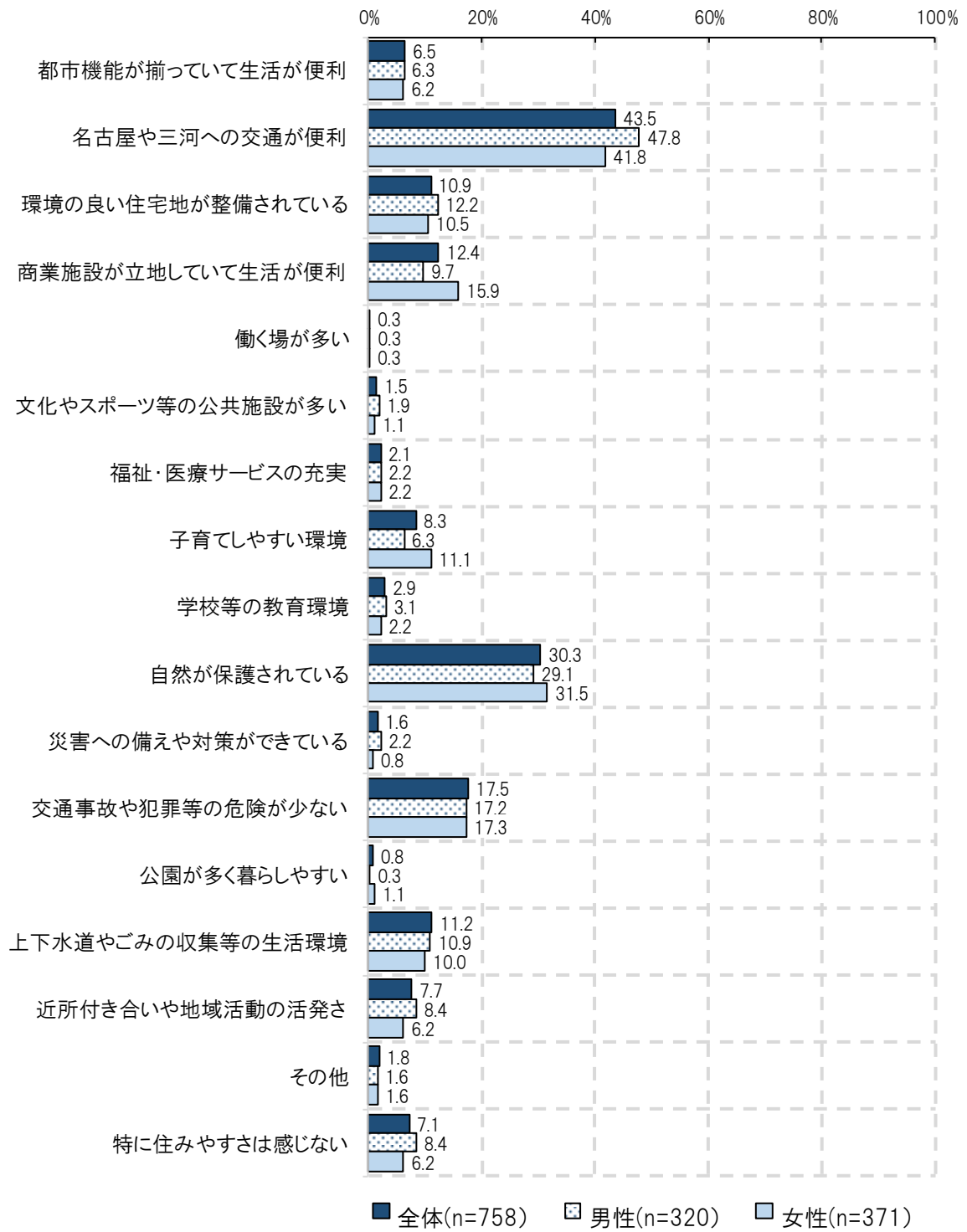


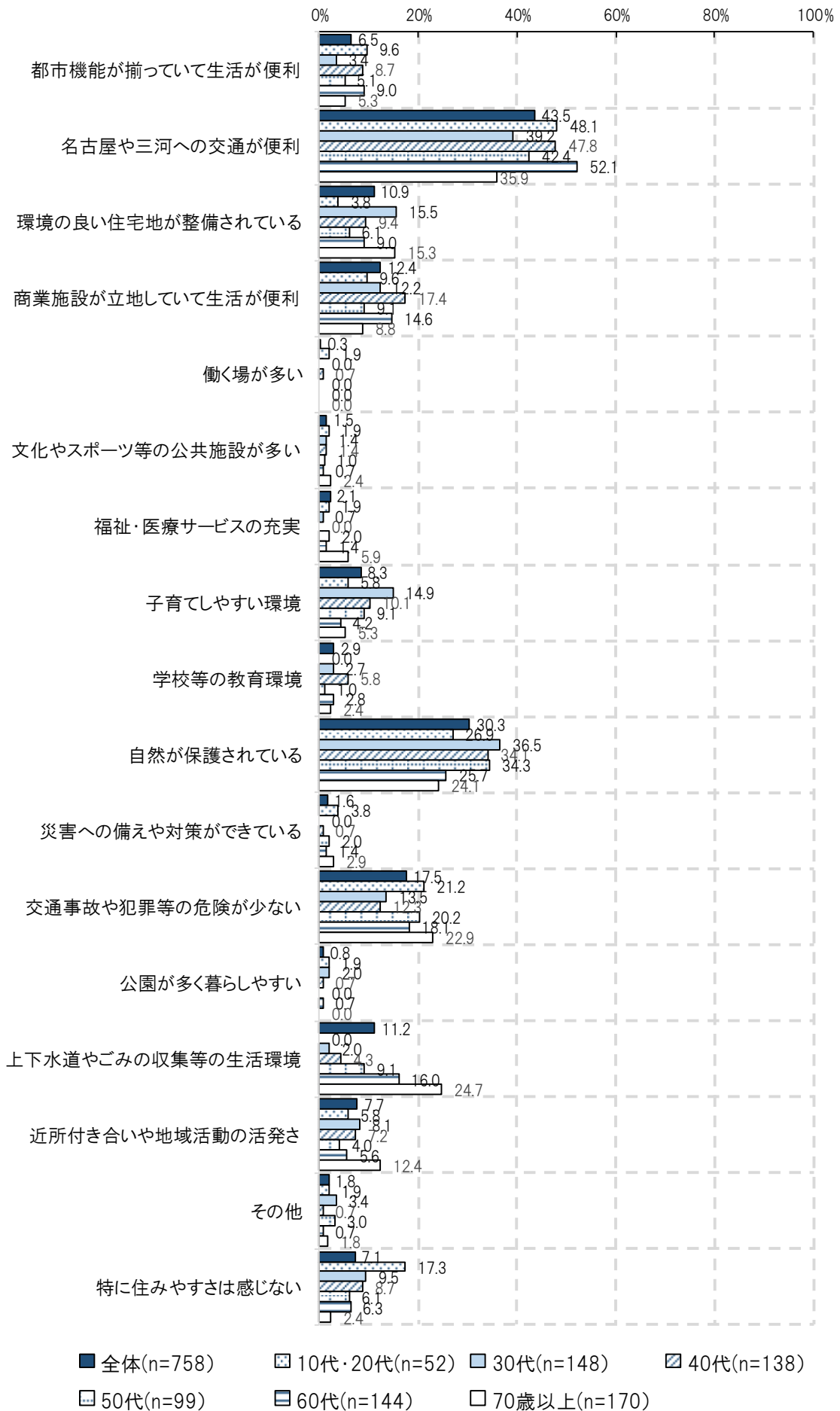


## [回答者の属性別]

性別でみると、「名古屋や三河への交通が便利」(全体:43.5%)では「男性」(47.8%)の方が「女性」(41.8%)より高くなっています。「商業施設が立地して生活が便利」(全体:12.4%)では「女性」(15.9%)の方が「男性」(9.7%)より高くなっています。その他については大きな違いはありませんでした。

年齢でみると、「名古屋や三河への交通が便利」(全体:43.5%)では「60代」(52.1%)が高く、「70歳以上」(35.9%)が低くなっています。「自然が保護されている」(全体:30.3%)では「30代」(36.5%)が高く、「60代」以上で低くなっています。「交通事故や犯罪等の危険が少ない」(全体:17.5%)では「70歳以上」(22.9%)が高く、「40代」(12.3%)が低くなっています。「環境の良い住宅地が整備されている」(全体:10.9%)では「10代・20代」(3.8%)が低くなっています。「子育てしやすい環境」(全体:8.3%)では「30代」が高くなっています。「上下水道やごみの収集等の生活環境」(全体:11.2%)では「70歳以上」(24.7%)が高く、「10代・20代」(2.0%)と「30代」(4.3%)が低くなっています。その他は大きな違いはありませんでした。





## (2) 施設の整備充実

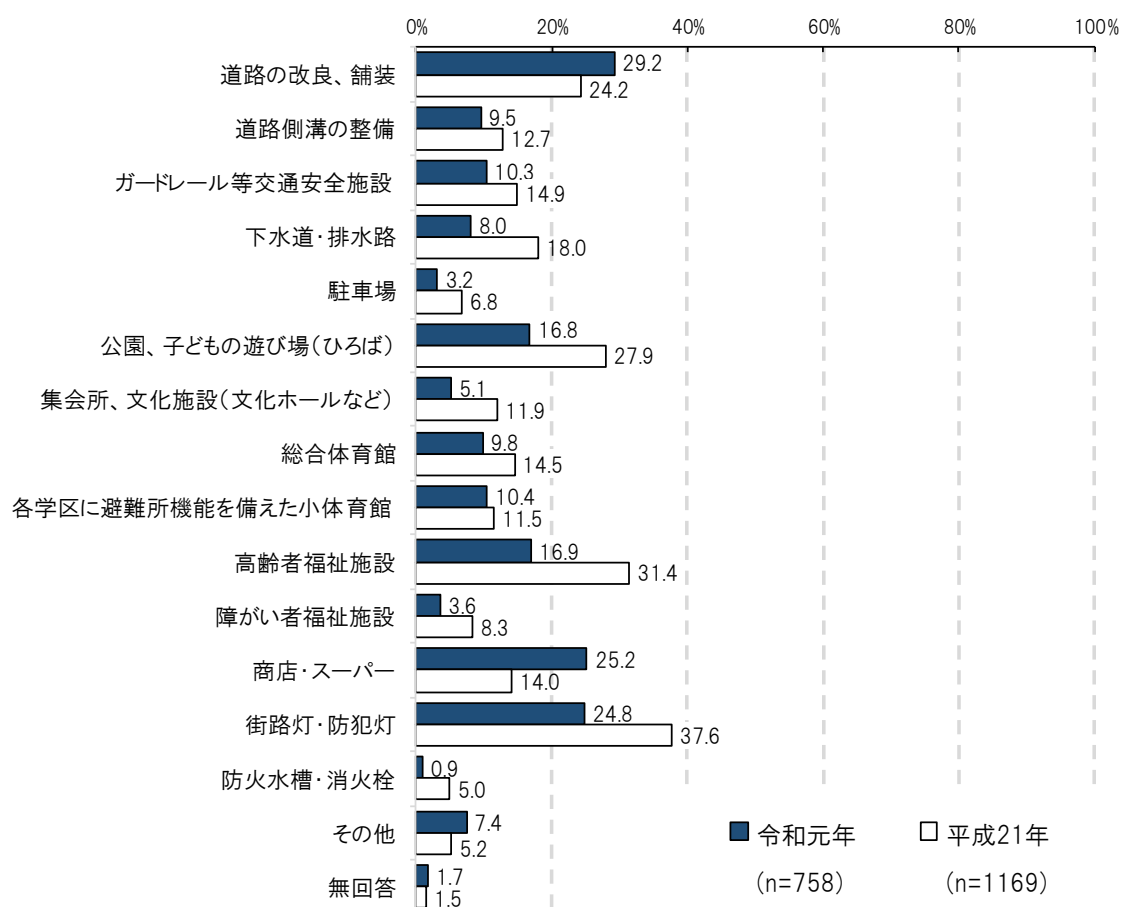
問 11 あなたは、身近な生活環境のなかで、特にどのような施設の整備充実が必要だと思いますか。(2つまで〇印)

「道路の改良、舗装」が 29.2%、次いで「商店・スーパー」が 25.2%

身近な生活環境において、特に整備充実の必要な施設については、「道路の改良、舗装」が 29.2%と最も高く、次いで「商店・スーパー」(25.2%)、「街路灯・防犯灯」(24.8%)、「高齢者福祉施設」(16.9%)、「公園、子どもの遊び場(ひろば)」(16.8%)などの順となっています。

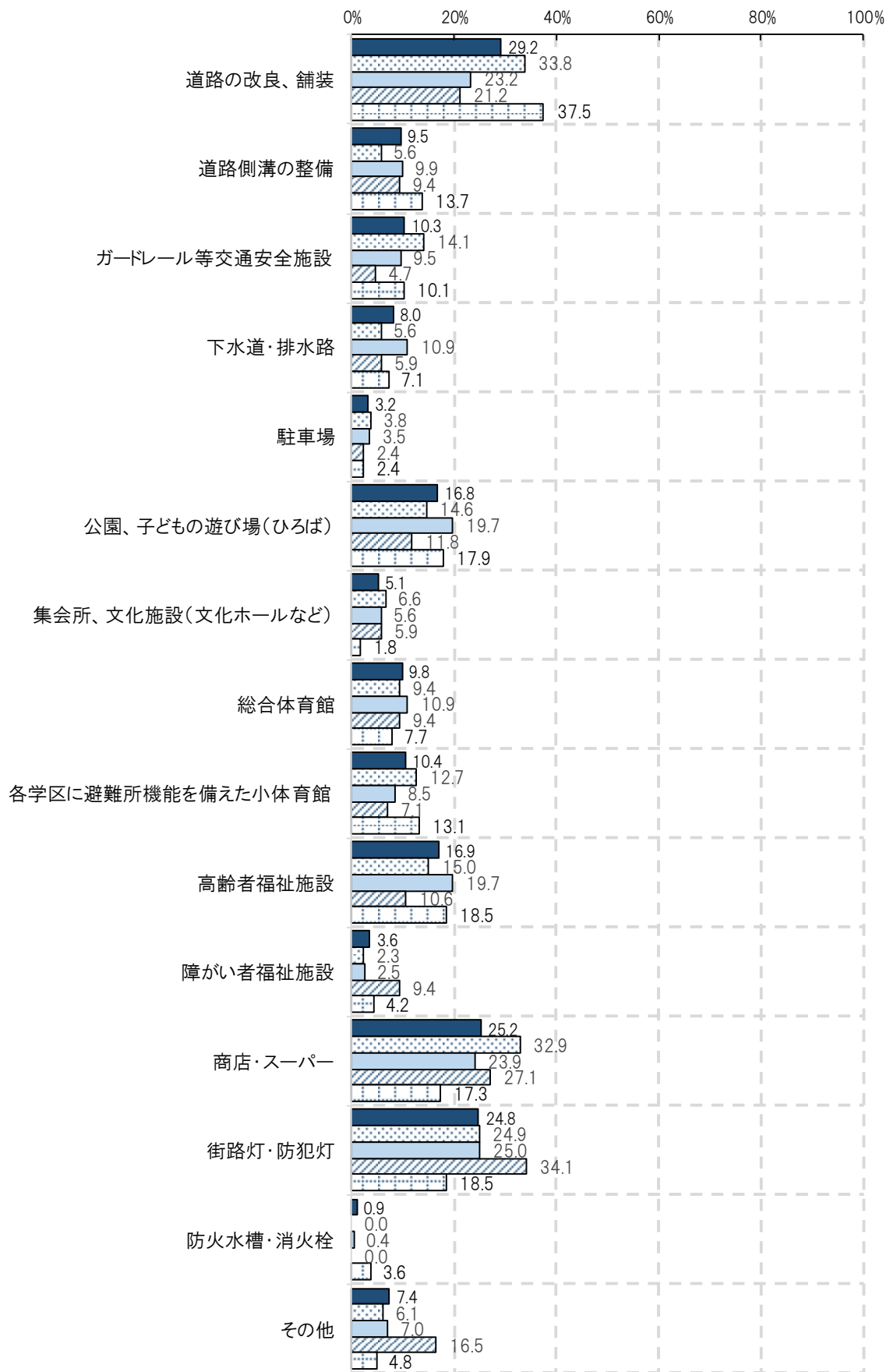
### [前回調査との比較]

「道路の改良、舗装」(5.0ポイント)と「商店・スーパー」(11.2ポイント)が増加しています。「下水道・排水路」(10.0ポイント)、「公園、子どもの遊び場(ひろば)」(11.1ポイント)、「高齢者福祉施設」(14.5ポイント)、「街路灯・防犯灯」(12.8ポイント)などが大きく減少しています。



## [回答者の属性別]

居住地区でみると、「道路の改良、舗装」(全体:29.2%)では「南部小学校区」(37.5%)が高く、「英比小学校区」(23.2%)と「草木小学校区」(21.2%)が低くなっています。「商店・スーパー」(全体:25.2%)では「東部小学校区」(32.9%)が高く、「南部小学校区」(17.3%)が低くなっています。「街路灯・防犯灯」(全体:24.8%)では「草木小学校区」(34.1%)が高く、「南部小学校区」(18.5%)が低くなっています。「高齢者福祉施設」(全体:16.9%)では「草木小学校区」(10.6%)が低くなっています。「公園、子どもの遊び場(ひろば)」(全体:16.8%)では大きな違いはありませんでした。



■ 全体(n=758)      □ 東部小学校区(n=213)      □ 英比小学校区(n=284)  
 ▨ 草木小学校区(n=85)      ▨ 南部小学校区(n=168)

### (3) 町の消防・防災対策について

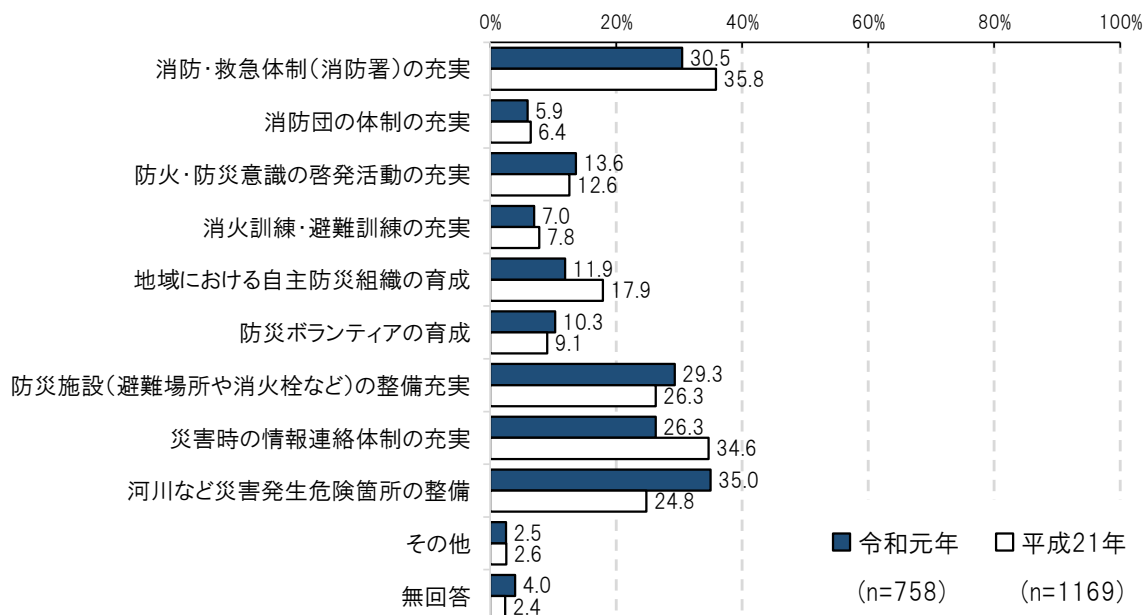
問 12 あなたは、町の消防・防災対策について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。(2つまで〇印)

「河川など災害発生危険箇所の整備」が 35.0%、次いで「消防・救急体制（消防署）の充実」が 30.5%

今後必要な消防・防災対策の取り組みについては、「河川など災害発生危険箇所の整備」が 35.0%と最も高く、次いで「消防・救急体制（消防署）の充実」（30.5%）、「防災施設（避難場所や消火栓など）の整備充実」（29.3%）、「災害時の情報連絡体制の充実」（26.3%）、「防火・防災意識の啓発活動の充実」（13.6%）などの順となっています。

#### [前回調査との比較]

「河川など災害発生危険箇所の整備」（10.2 ポイント）が増加しています。「消防・救急体制（消防署）の充実」（5.3 ポイント）、「地域における自主防災組織の育成（6.0 ポイント）、「災害時の情報連絡体制の充実」（8.3 ポイント）などが減少しています。

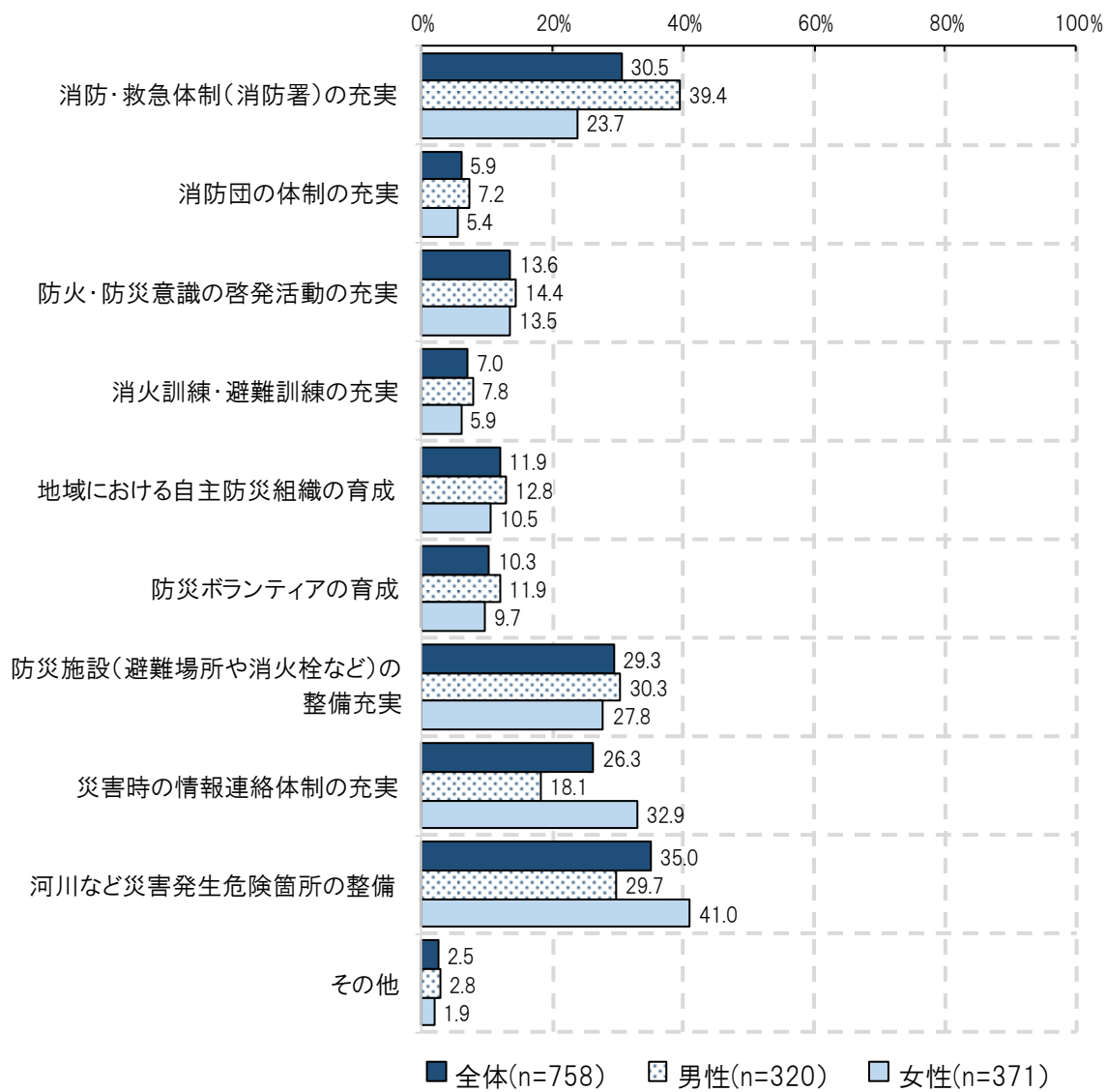


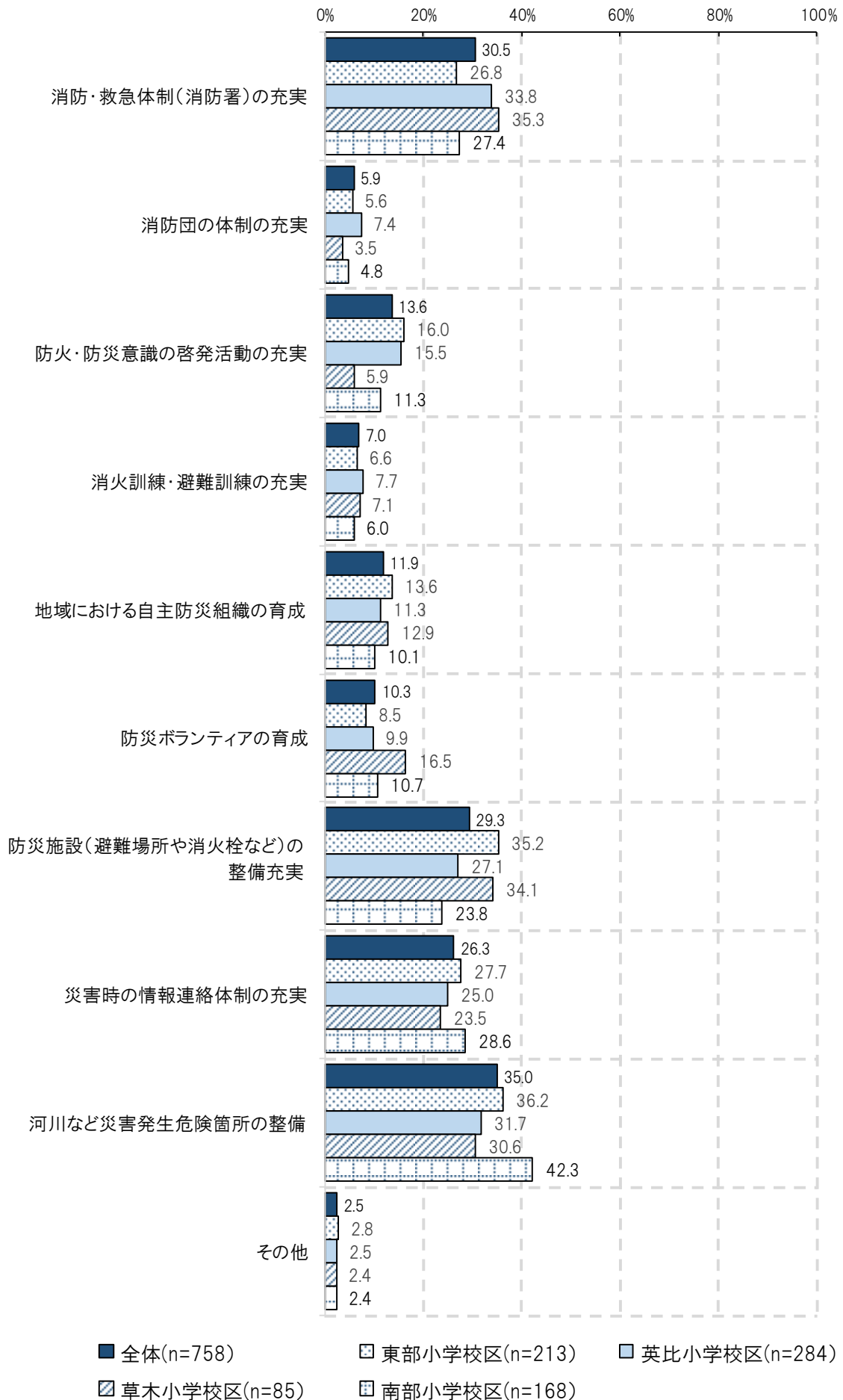
## [回答者の属性別]

性別でみると、「河川など災害発生危険箇所の整備」（全体：35.0%）では「女性」（41.0%）の方が「男性」（29.7%）より高くなっています。「消防・救急体制（消防署）の充実」（全体：30.5%）では「男性」（39.4%）の方が「女性」（23.7%）より高くなっています。「防災施設（避難場所や消火栓など）の整備充実」（全体：29.3%）では大きな違いはありませんでした。「災害時の情報連絡体制の充実」（全体：26.3%）では「女性」（32.9%）の方が「男性」（18.1%）より高くなっています。「防火・防災意識の啓発活動の充実」（全体：13.6%）では大きな違いはありませんでした。その他は大きな違いはありませんでした。

居住地区でみると、「河川など災害発生危険箇所の整備」（全体：35.0%）では「南部小学校区」（42.3%）が高くなっています。「消防・救急体制（消防署）の充実」（全体：30.5%）では大きな違いはありません。「防災施設（避難場所や消火栓など）の整備充実」（全体：29.3%）では「東部小学校区」（35.2%）が高くなっています。「災害時の情報連絡体制の充実」（全体：26.3%）では大きな違いはありませんでした。「防火・防災意識の啓発活動の充実」（全体：13.6%）では「草木小学校区」（5.9%）が低くなっています。また、「防災ボランティアの育成」（全体：10.3%）では「草木小学校区」（16.5%）が高くなっています。その他に大きな違いはありませんでした。







## 6 住民活動等について

### (1) 地域活動・ボランティア活動

問 13 地域活動・ボランティア活動についておたずねします。

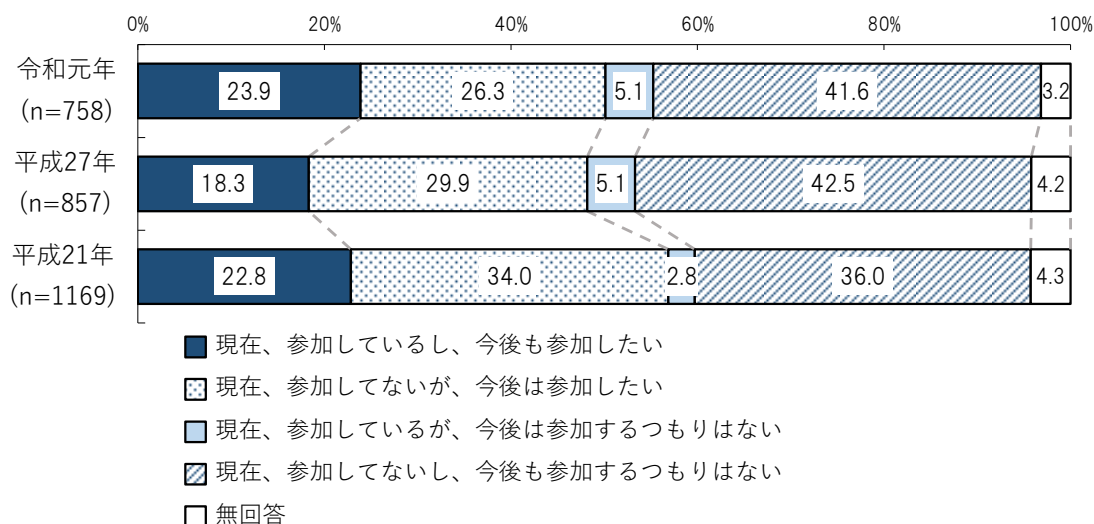
- ① あなたの地域活動・ボランティア活動への、現在の参加状況と、今後の参加意向についておたずねします。(1つに○印)

「現在、参加していないし、今後も参加するつもりはない」が41.6%、次いで「現在、参加していないが、今後は参加したい」が26.3%

地域活動・ボランティア活動への、現在の参加状況と、今後の参加意向については、「現在、参加していないし、今後も参加するつもりはない」が41.6%と最も高く、次いで「現在、参加していないが、今後は参加したい」(26.3%)、「現在、参加しているし、今後も参加したい」(23.9%)、「現在、参加しているが、今後は参加するつもりはない」(5.1%)の順となっています。「現在、参加しているし、今後も参加したい」(23.9%)と「現在、参加していないが、今後は参加したい」(26.3%)を合わせた“参加したい”では50.2%となっていますが、「現在、参加しているが、今後は参加するつもりはない」(5.1%)と「現在、参加していないし、今後も参加するつもりはない」(41.6%)を合わせた“参加しない”は46.7%となっています。

#### [前回調査との比較]

「現在、参加していないが、今後は参加したい」が減少傾向となっています。その他は大きな違いはありませんでした。



## [回答者の属性別]

性別でみると、「現在、参加しているし、今後も参加したい」（全体：23.9%）では「男性」（27.2%）の方が「女性」（20.8%）より高くなっています。「現在、参加していないが、今後は参加したい」（全体：26.3%）では「女性」（29.9%）の方が「男性」（21.9%）より高くなっています。

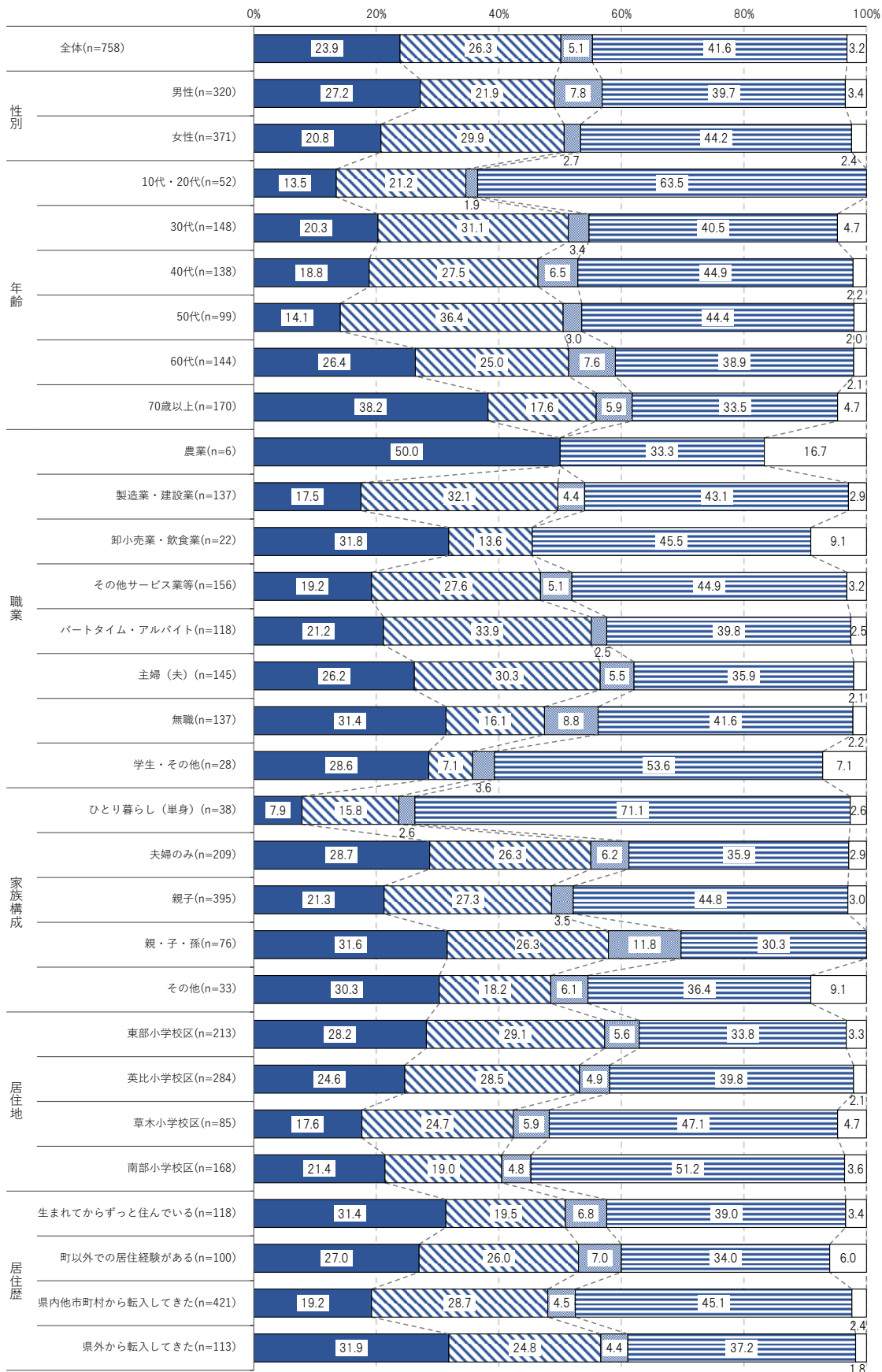
年齢でみると、「現在、参加していないし、今後も参加するつもりはない」（全体：41.6%）では「10代・20代」（63.5%）が特に高くなっています。「現在、参加していないが、今後は参加したい」（全体：26.3%）では「50代」（36.4%）が高くなっています。「現在、参加しているし、今後も参加したい」（全体：23.9%）では「70歳以上」（38.2%）が高く、「10代・20代」（13.5%）や「40代」（18.8%）、「50代」（14.1%）が低くなっています。

職業でみると、「現在、参加していないが、今後は参加したい」（全体：26.3%）では「製造業・建設業」（32.1%）と「パートタイム・アルバイト」（33.9%）が高くなっています。「現在、参加しているし、今後も参加したい」（全体：23.9%）では「無職」（31.4%）が高くなっています。

家族構成でみると、「現在、参加していないし、今後も参加するつもりはない」（全体：41.6%）では「ひとり暮らし（単身）」（71.1%）が特に高くなっています。「現在、参加しているし、今後も参加したい」（全体：23.9%）では「親・子・孫」（31.6%）が高くなっています。「現在、参加しているが、今後は参加するつもりはない」（全体：5.1%）では「親・子・孫」（11.8%）が高くなっています。

居住地区でみると、「現在、参加していないし、今後も参加するつもりはない」（全体：41.6%）では「草木小学校区」（47.1%）と「南部小学校区」（51.2%）が高くなっています。

居住歴でみると、「現在、参加しているし、今後も参加したい」（全体：23.9%）では「生まれてからずっと住んでいる」（31.4%）と「県外から転入してきた」（31.9%）が高くなっています。



現在、参加しているし、今後も参加したい
  現在、参加しているが、今後は参加するつもりはない
  現在、参加していないが、今後は参加したい
  現在、参加していないし、今後も参加するつもりはない
  無回答

問 13 地域活動・ボランティア活動についておたずねします。

- ② あなたは、今後（今後とも）どのような地域活動・ボランティア活動に参加したいと思いますか。（3つまで○印）

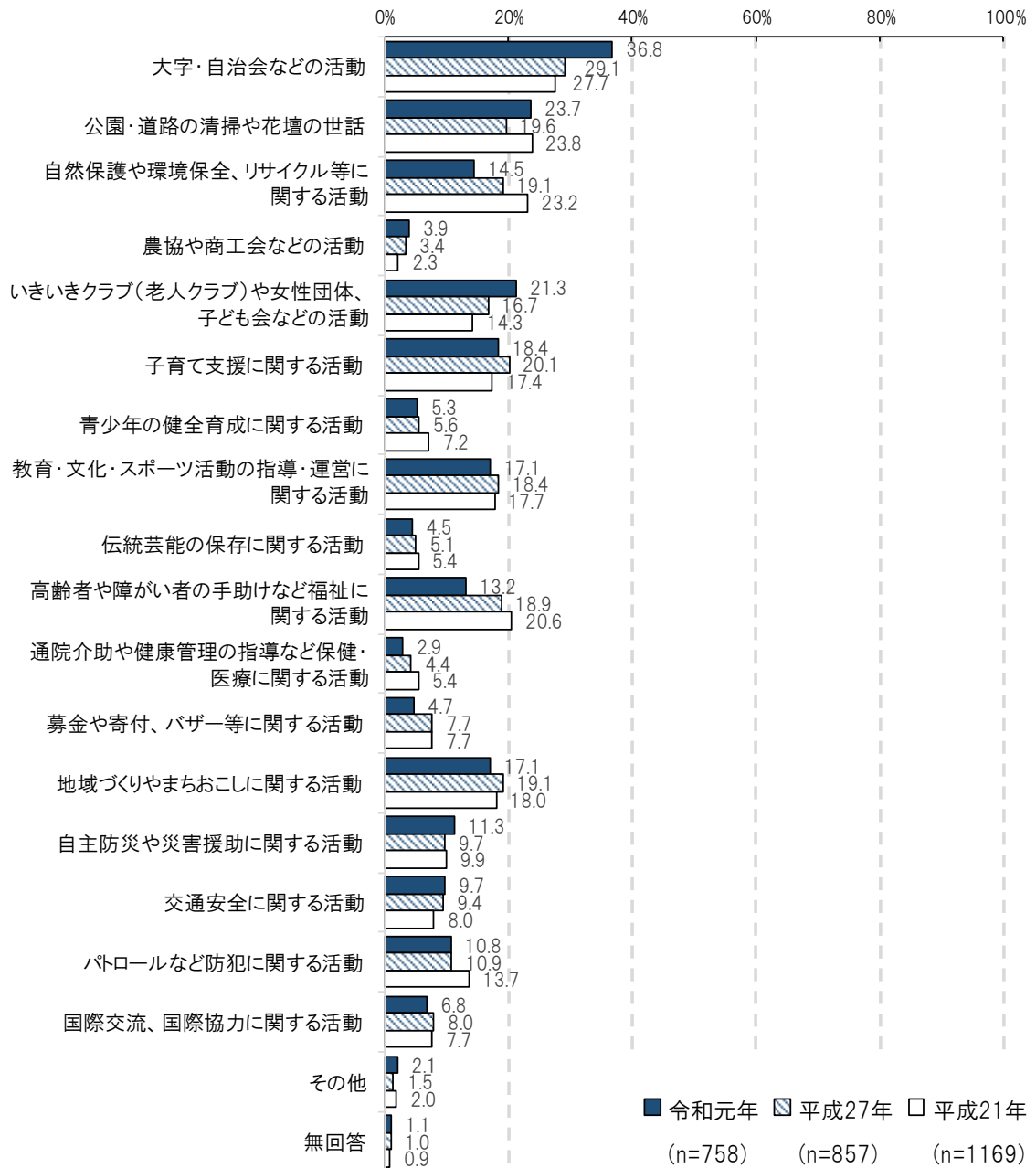


「大字・自治会などの活動」が 36.8%、次いで「公園・道路の清掃や花壇の世話」が 23.7%、「いきいきクラブ（老人クラブ）や女性団体、子ども会などの活動」が 21.3%

今後（今後とも）参加したい地域活動・ボランティア活動については、「大字・自治会などの活動」が 36.8%と最も高く、次いで「公園・道路の清掃や花壇の世話」（23.7%）、「いきいきクラブ（老人クラブ）や女性団体、子ども会などの活動」（21.3%）、「子育て支援に関する活動」（18.4%）などの順となっています。

#### [前回調査との比較]

「大字・自治会などの活動」や「いきいきクラブ（老人クラブ）や女性団体、子ども会などの活動」が増加傾向となっています。「自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動」や「高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動」が減少傾向となっています。その他は大きな違いはありませんでした。

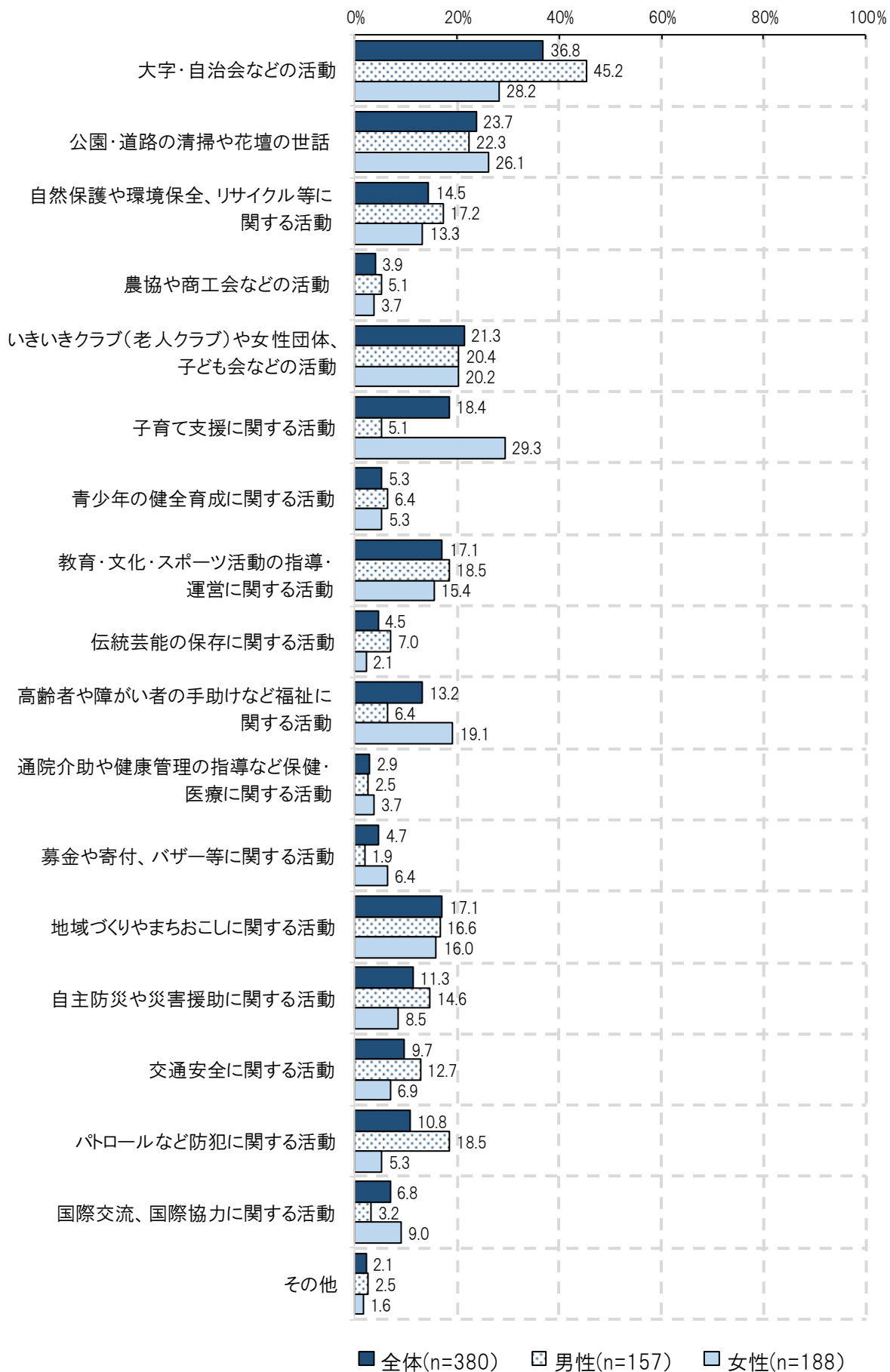


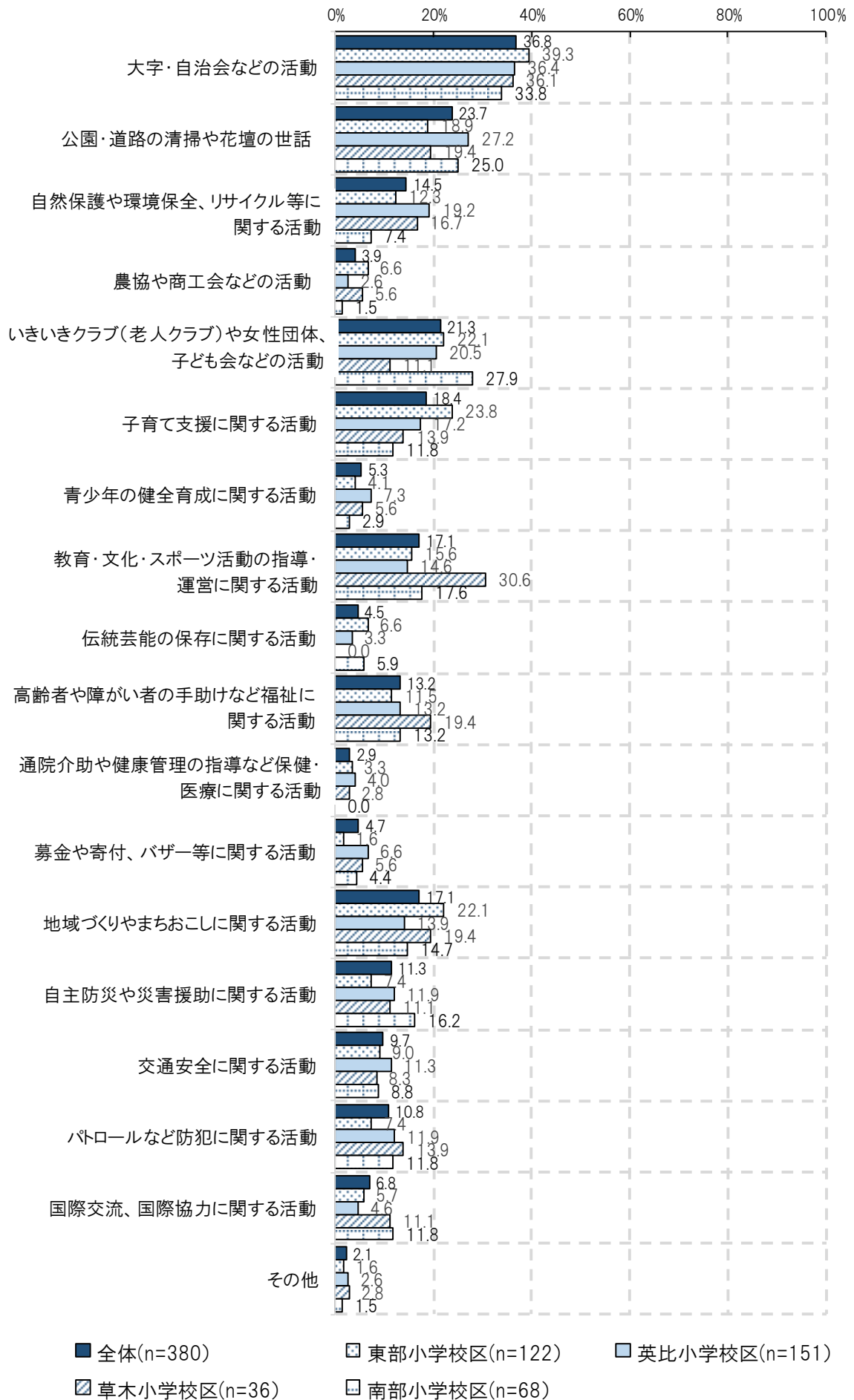
## [回答者の属性別]

性別で見ると、「大字・自治会などの活動」（全体：36.8%）では「男性」（45.2%）の方が「女性」（28.2%）より高くなっています。「公園・道路の清掃や花壇の世話」（全体：23.7%）や「いきいきクラブ（老人クラブ）や女性団体、子ども会などの活動」（全体：21.3%）では大きな違いはありませんでした。「子育て支援に関する活動」（全体：18.4%）では「女性」（29.3%）の方が「男性」（5.1%）より高くなっています。また、「高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動」（全体：13.2%）では「女性」（19.1%）の方が「男性」（6.4%）より高くなっています。「パトロールなど防犯に関する活動」（全体：10.8%）では「男性」（18.5%）の方が「女性」（5.3%）より高くなっています。

居住地区で見ると、「大字・自治会などの活動」（全体：36.8%）や「公園・道路の清掃や花壇の世話」（全体：23.7%）では大きな違いはありませんでした。や「いきいきクラブ（老人クラブ）や女性団体、子ども会などの活動」（全体：21.3%）では「南部小学校区」（27.9%）が高く、「草木小学校区」（11.1%）が低くなっています。「子育て支援に関する活動」（全体：18.4%）では「東部小学校区」（23.8%）が高く、「南部小学校区」（11.8%）が低くなっています。また、「教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動」（全体：17.1%）では「草木小学校区」（30.6%）が高くなっています。「高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動」（全体：13.2%）では「草木小学校区」（19.4%）が高くなっています。「地域づくりやまちおこしに関する活動」（全体：17.1%）では「東部小学校区」（22.1%）が高くなっています。







## (2) 住民参画・協働のまちづくり

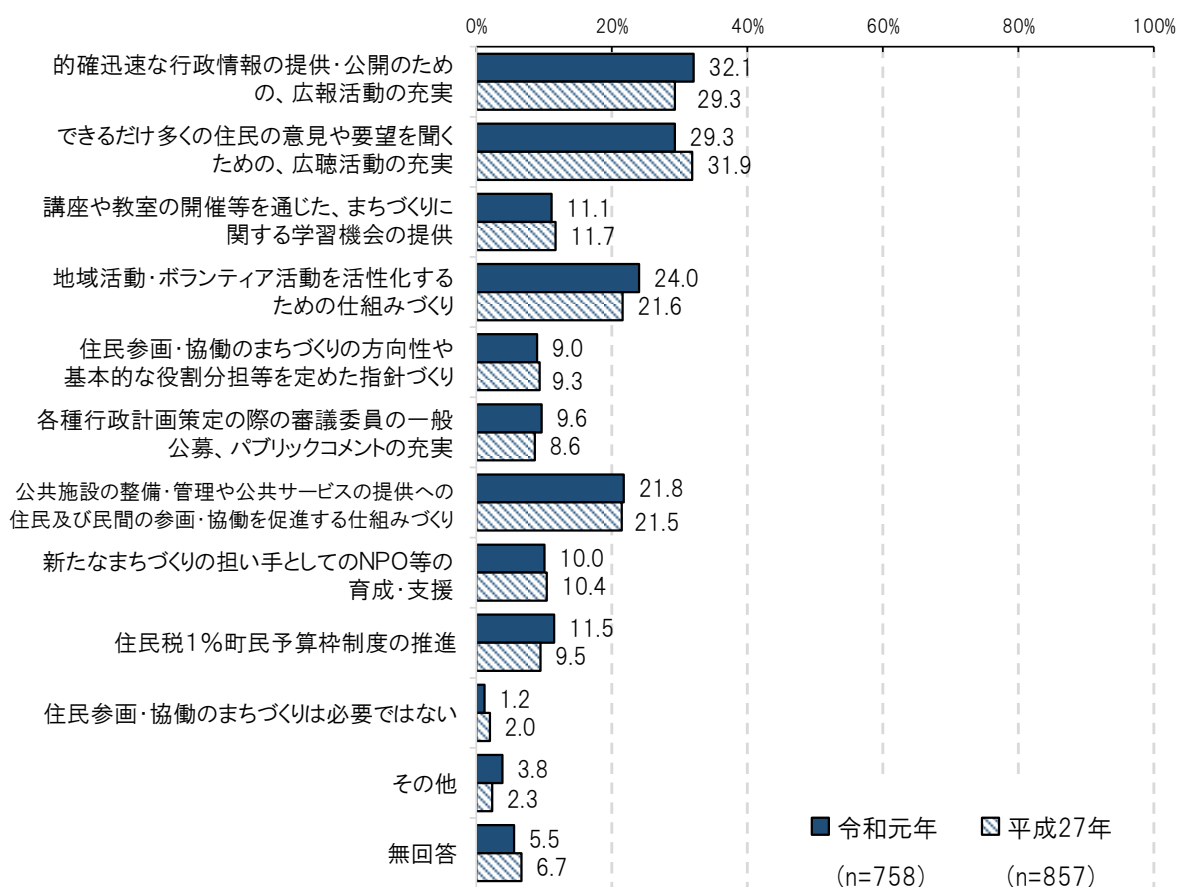
問 14 これからのまちづくりは、より多くの住民の皆さんが町政に参画して、課題解決や地域づくりを行う「住民参画・協働のまちづくり」が重要なテーマとなります。あなたは、この「住民参画・協働のまちづくり」を進めるためには、行政に何が必要だと思いますか。(2つまで〇印)

「的確迅速な行政情報の提供・公開のための、広報活動の充実」が32.1%、次いで「できるだけ多くの住民の意見や要望を聞くための、広聴活動の充実」が29.3%

「住民参画・協働のまちづくり」を進めるために、行政に必要なことについては、「的確迅速な行政情報の提供・公開のための、広報活動の充実」が32.1%と最も高く、次いで「できるだけ多くの住民の意見や要望を聞くための、広聴活動の充実」(29.3%)、「地域活動・ボランティア活動を活性化するための仕組みづくり」(24.0%)、「公共施設の整備・管理や公共サービスの提供への住民及び民間の参画・協働を促進する仕組みづくり」(21.8%)などの順となっています。

### [前回調査との比較]

大きな違いはありませんでした。



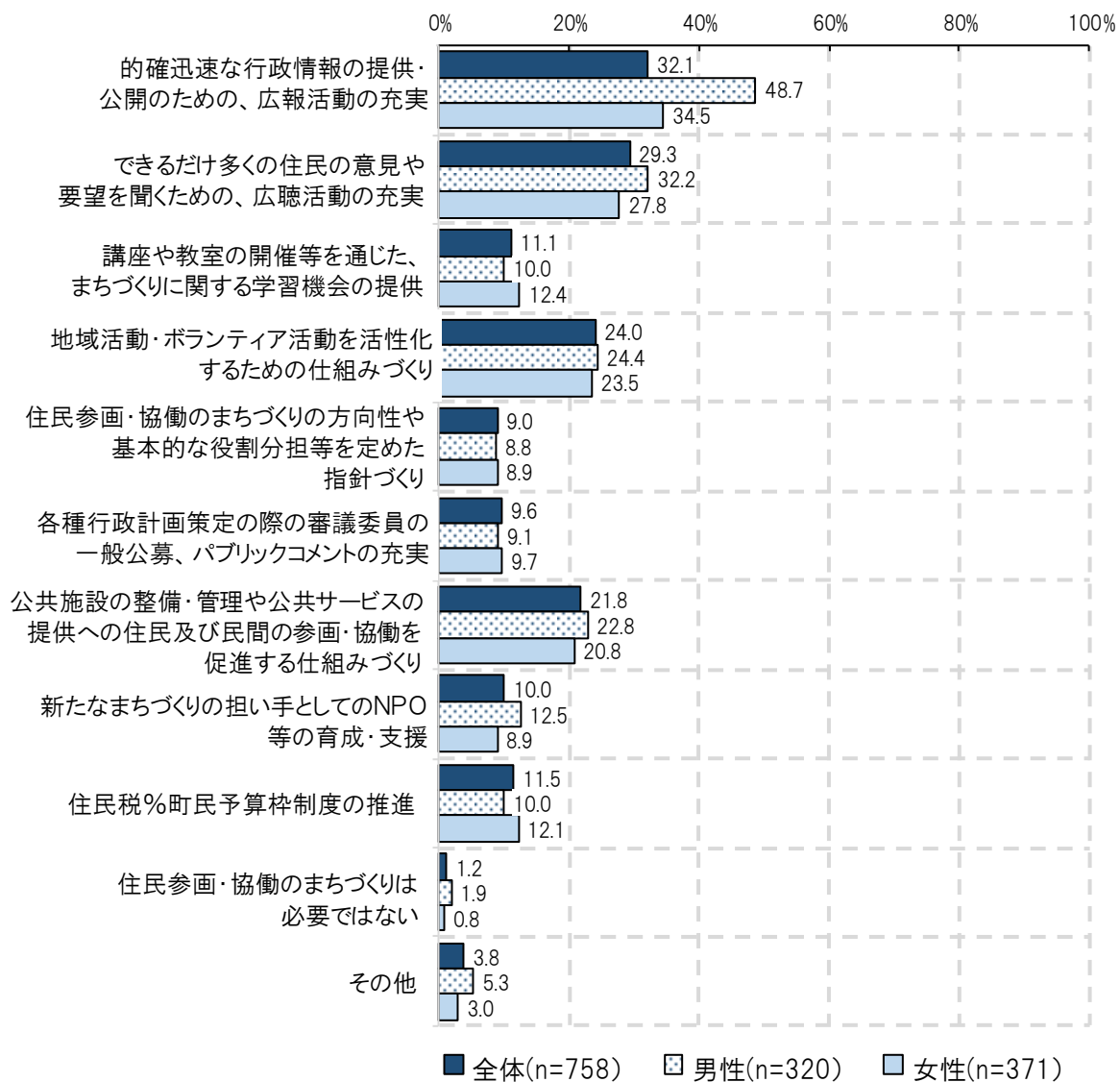
## [回答者の属性別]

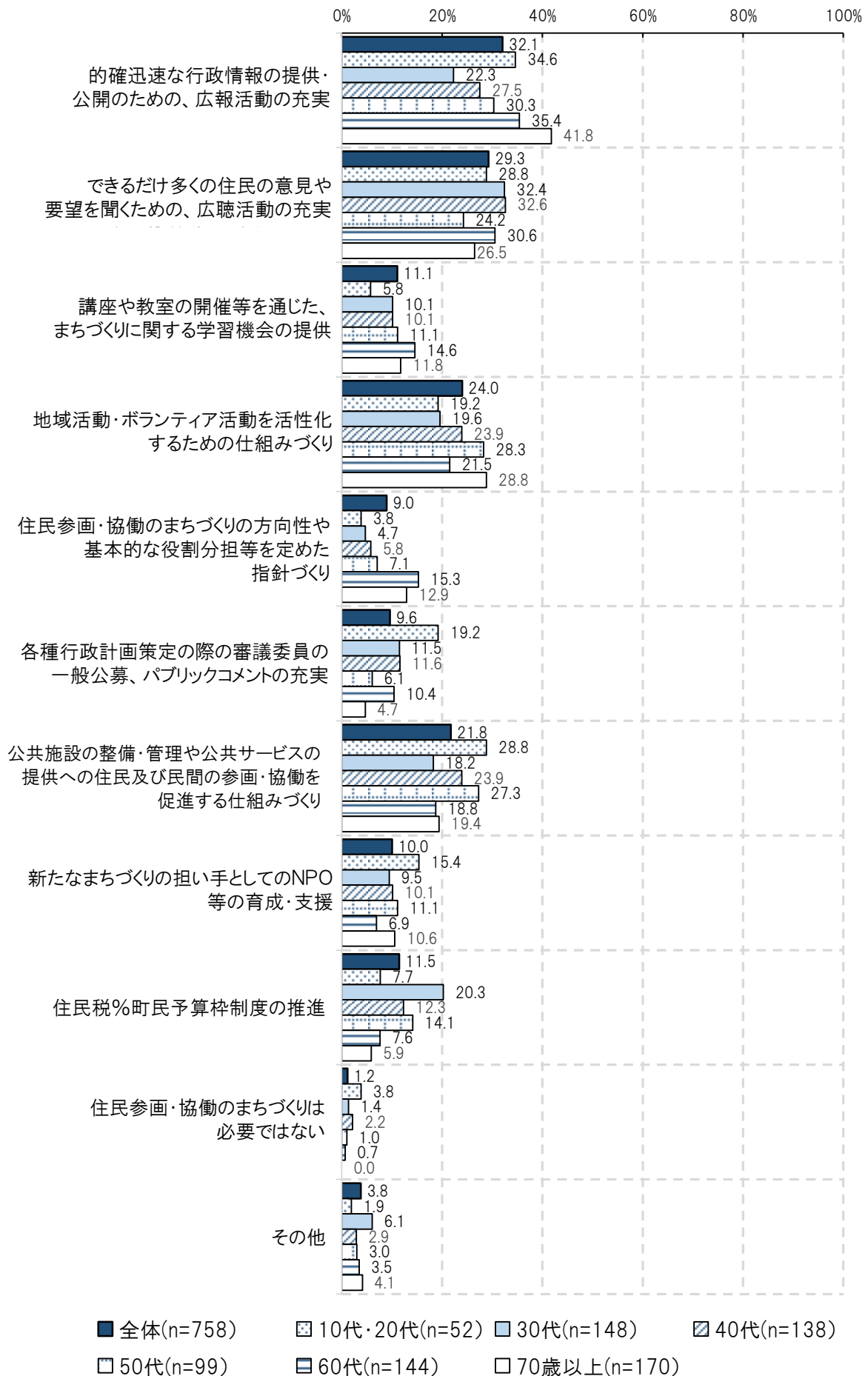
性別でみると、「的確迅速な行政情報の提供・公開のための、広報活動の充実」(全体：32.1%)では「男性」(48.7%)の方が「女性」(34.5%)より高くなっています。

「できるだけ多くの住民の意見や要望を聞くための、広聴活動の充実」(全体：29.3%)、「地域活動・ボランティア活動を活性化するための仕組みづくり」(全体：24.0%)、「公共施設の整備・管理や公共サービスの提供への住民及び民間の参画・協働を促進する仕組みづくり」(全体：21.8%)では大きな違いはありませんでした。

年齢でみると、「的確迅速な行政情報の提供・公開のための、広報活動の充実」(全体：32.1%)では「70歳以上」(41.8%)が高く「30代」(22.3%)が低くなっています。「できるだけ多くの住民の意見や要望を聞くための、広聴活動の充実」(全体：29.3%)では「50代」(24.2%)が低くなっています。「地域活動・ボランティア活動を活性化するための仕組みづくり」(全体：24.0%)では大きな違いはありませんでした。「公共施設の整備・管理や公共サービスの提供への住民及び民間の参画・協働を促進する仕組みづくり」(全体：21.8%)では「10代・20代」(28.8%)と「50代」(27.3%)が高くなっています。また、「住民参画・協働のまちづくりの方向性や基本的な役割分担等を定めた指針づくり」(全体：9.0%)では「60代」(15.3%)が高くなっています。

「各種行政計画策定の際の審議委員の一般公募、パブリックコメントの充実」(全体：9.6%)では「10代・20代」(19.2%)が高くなっています。「住民税1%町民予算枠制度の推進」(全体：11.5%)では「30代」(20.3%)が高くなっています。





## 7 第1期総合戦略の取り組みについて

問 15 これまで進めてきたそれぞれの総合戦略事業について現状と今後の方向をうかがいます。

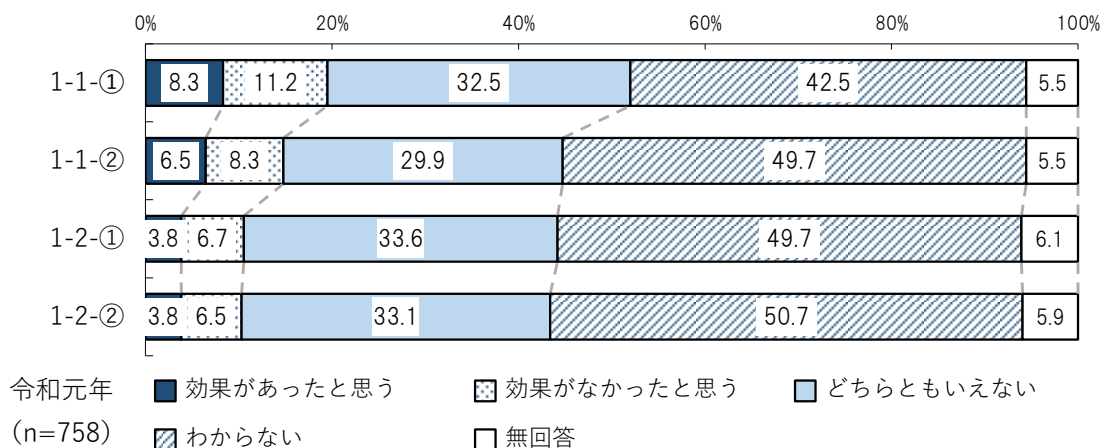
- ①現状（人口減少対策や町の住みやすさ向上に効果があった）、②今後の取り組み（今後の取り組みの方向性について）について、それぞれの項目ごとに1つずつ〇印。

### （1）基本目標1 安定した雇用を創出する

阿久比町の強みを活かした創業創出の確立と職業として選ばれる農業の実現	
1-1-①	競争力のある産地づくりやブランド化等
1-1-②	農業経営規模の拡大、人材の確保・育成、技術習得等への支援
だれもが働きやすい職場環境づくり	
1-2-①	ワンストップ窓口相談や創業塾など創業支援
1-2-②	知多若者サポートステーションなど若年者、女性の雇用促進

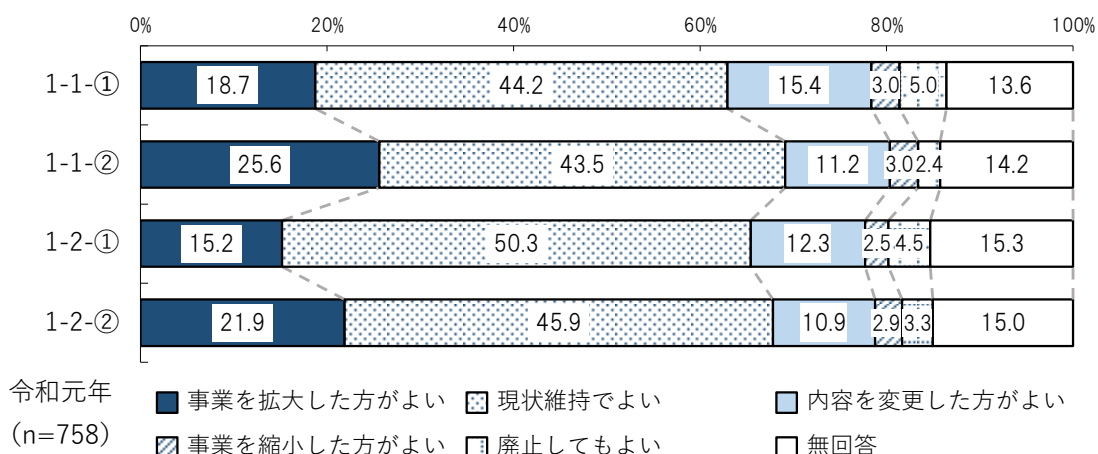
#### ①現状

基本目標1の4つの施策のうち最も効果があったものは「競争力のある産地づくりやブランド化等」が8.3%、次いで「農業経営規模の拡大、人材の確保・育成、技術習得等への支援」が6.5%  
 効果がなかったものは「競争力のある産地づくりやブランド化等」が11.2%、次いで「農業経営規模の拡大、人材の確保・育成、技術習得等への支援」が8.3%



## ②今後の取り組み

事業の拡大は「農業経営規模の拡大、人材の確保・育成、技術習得等への支援」が25.6%、次いで「知多若者サポートステーションなど若年者、女性の雇用促進」が21.9%  
 現状維持は「ワンストップ窓口相談や創業塾など創業支援」が50.3%  
 内容の変更は「競争力のある産地づくりやブランド化等」が15.4%



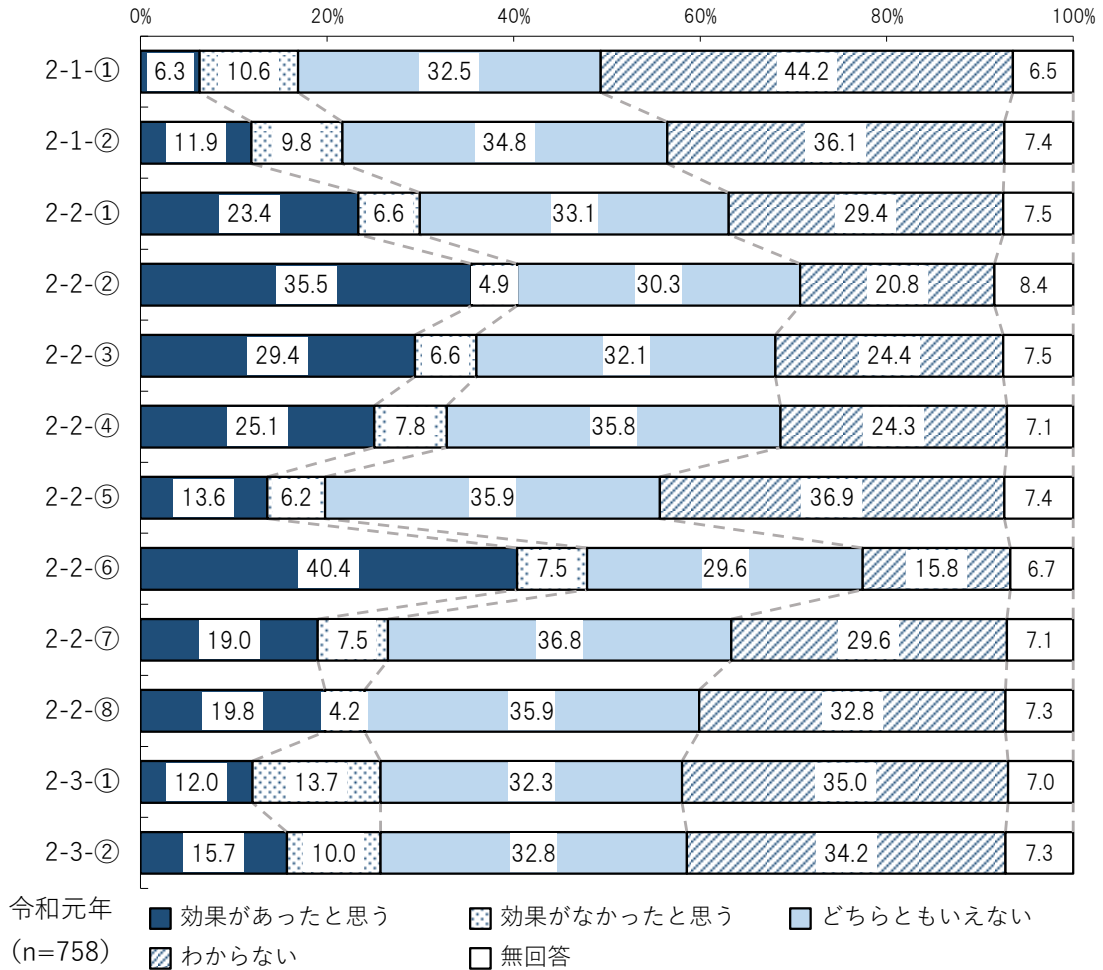
## (2) 基本目標2 阿久比町への新しいひとの流れをつくる

移住・定住につながるシティプロモーション 知多半島で選ばれるまち No.1 へ	
2-1-①	阿久比プレイガーデンプロジェクトなど観光資源の魅力発見と活用によるシティプロモーション
2-1-②	利用しやすいHPによる、若者の移住・定住促進
阿久比町が持つ資源を活用した地域の魅力やブランド力の向上	
2-2-①	元気なまちづくりと交流の拠点としての阿久比スポーツ村
2-2-②	町特産品の販売、フリーマーケットの開催
2-2-③	農作物直売所（阿久比下りPAなど）の拡充など地産地消の推進
2-2-④	アグピアホールを拠点とした地域文化の魅力の発信
2-2-⑤	家族農園の活用、農業体験者の受け入れ
2-2-⑥	ホテル飛びかう、豊かな自然の町「阿久比」のPR
2-2-⑦	花かつみ園と下芳池周辺を拠点とするウォーキングコースの整備
2-2-⑧	1年を通じた体験型農業の実施
中部国際空港や名古屋駅を利用する旅行者等の阿久比町への来訪促進	
2-3-①	Wi-Fi環境の整備による来町者の利便性向上
2-3-②	中部国際空港などでの町のPR、プロモーション活動、特産物の販売など



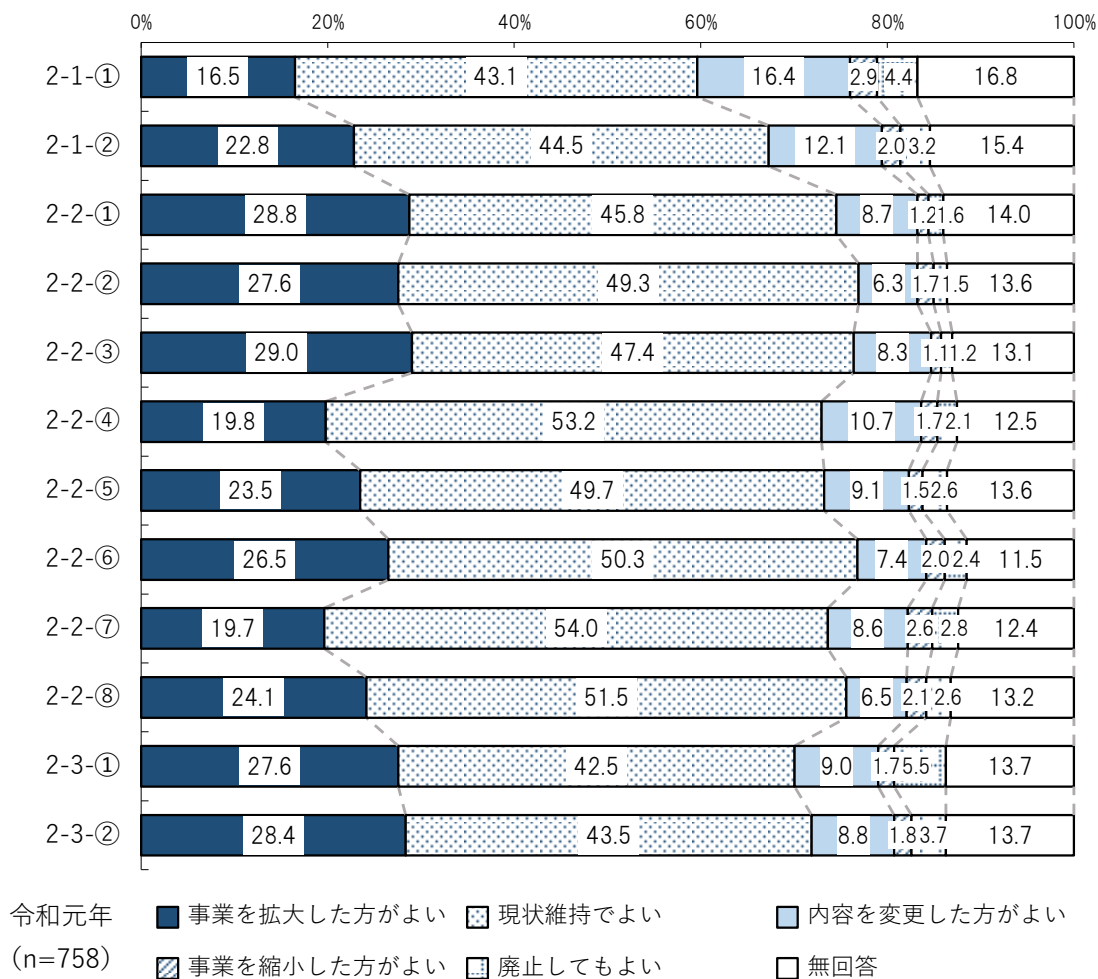
①現状

基本目標2の12つの施策のうち最も効果があったものは「ホテル飛びかう、豊かな自然の町「阿久比」のPR」が40.4%、次いで「町特産品の販売、フリーマーケットの開催」が35.5%  
 効果がなかったものは「Wi-Fi環境の整備による来町者の利便性向上」が13.7%、次いで「阿久比プレイガーデンプロジェクトなど観光資源の魅力発見と活用によるシティプロモーション」が10.6%



②今後の取り組み

事業の拡大は「農作物直売所（阿久比下りPAなど）の拡充など地産地消の推進」が29.0%、次いで「元気なまちづくりと交流の拠点としての阿久比スポーツ村」が28.8%  
 現状維持は「花かつみ園と下芳池周辺を拠点とするウォーキングコースの整備」が54.0%  
 内容の変更は「阿久比プレイガーデンプロジェクトなど観光資源の魅力発見と活用によるシティプロモーション」が16.4%

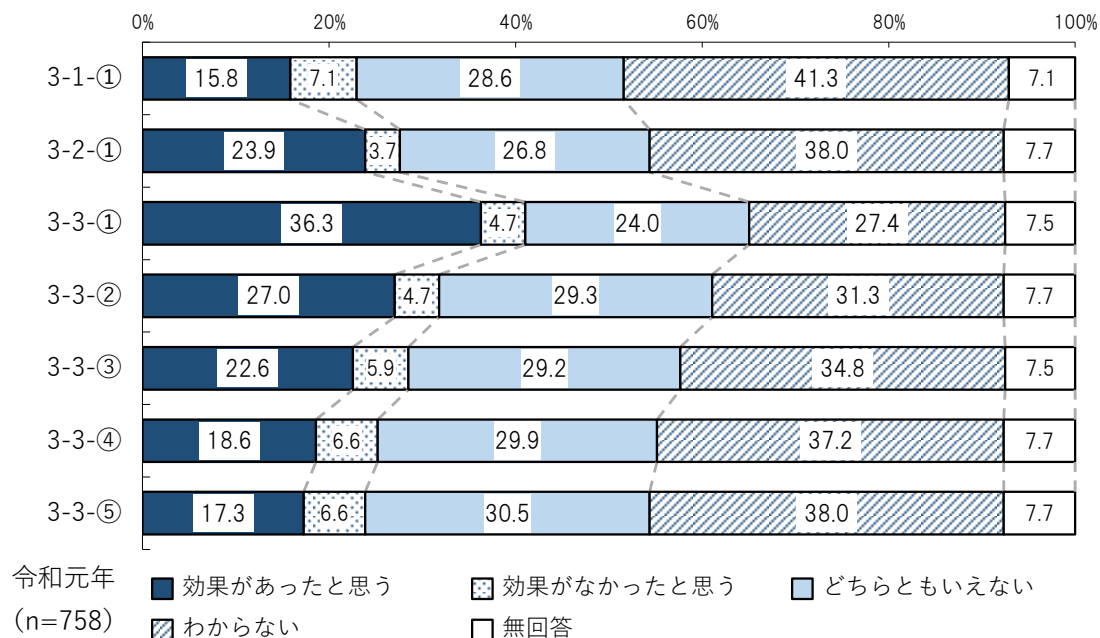


(3) 基本目標3 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる

結婚の希望をかなえる支援	
3-1-①	あぐいカップリングパーティーなどへの婚活支援事業の実施
妊娠・出産から育児に至るまで切れ目のない一貫した支援	
3-2-①	産前産後ヘルパー派遣事業など出産前から一貫した支援や助言の実施
子どもや子育てを地域全体で見守り、支援する環境づくり	
3-3-①	子ども医療費の支給や保育料減額など子育て世代への経済的支援
3-3-②	子育てに関する情報提供・相談体制、親や子どもの交流の場づくりなど子育て環境の整備
3-3-③	既設幼稚園・保育園の定員検討や民間事業者の参入奨励などによる子育てニーズへの対応
3-3-④	病児・病後児保育事業、一時預かり事業、子育て短期支援事業の検討
3-3-⑤	幼保小中一貫教育の推進や情報教育や英語力など実践的な学習、いじめ対策の推進

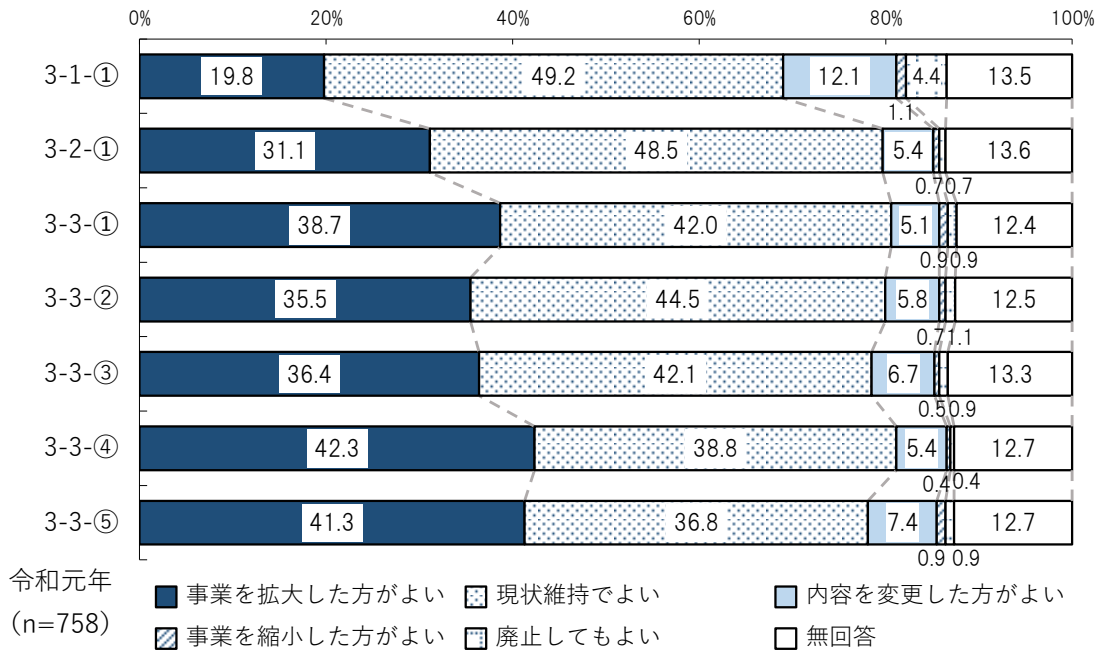
①現状

基本目標3の7つの施策のうち最も効果があったものは「子ども医療費の支給や保育料減額など子育て世代への経済的支援」が36.3%、次いで「産前産後ヘルパー派遣事業など出産前から一貫した支援や助言の実施」が23.9%  
 効果がなかったものは「あぐいカップリングパーティーなどへの婚活支援事業の実施」が7.1%



②今後の取り組み

事業の拡大は「病児・病後児保育事業、一時預かり事業、子育て短期支援事業の検討」が42.3%、次いで「幼保小中一貫教育の推進や情報教育や英語力など実践的な学習、いじめ対策の推進」が41.3%  
 現状維持は「あぐいカップリングパーティーなどへの婚活支援事業の実施」が49.2%  
 内容の変更は「あぐいカップリングパーティーなどへの婚活支援事業の実施」が12.1%

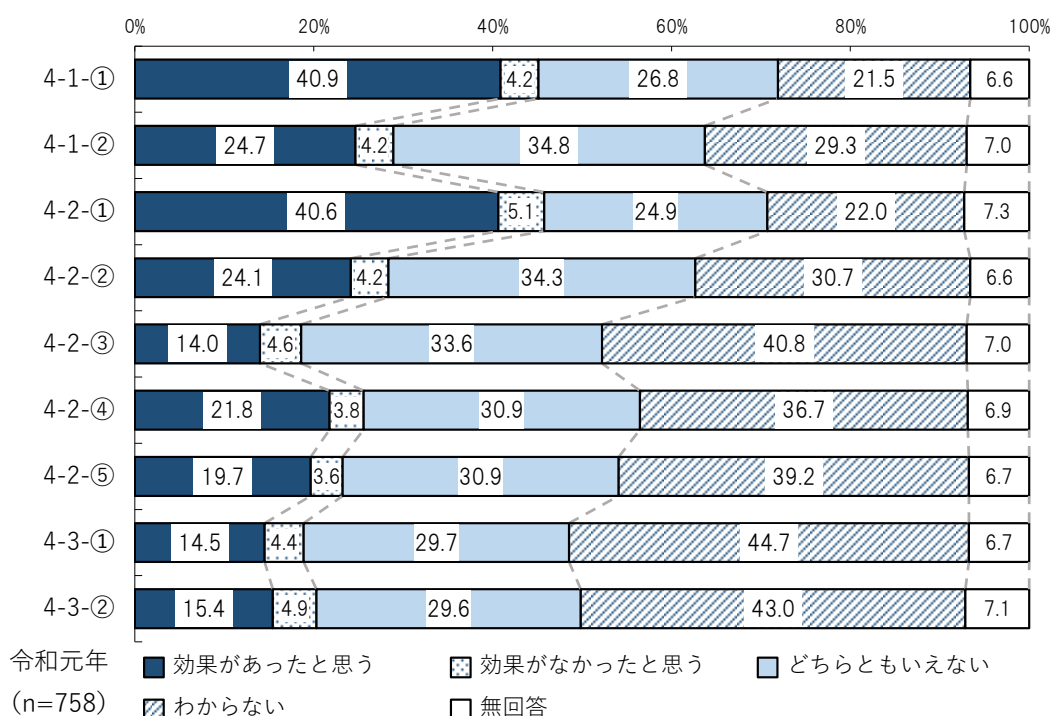


(4) 基本目標4 時代に合った地域づくり、安全・安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

地域コミュニティの活性化と安全で安心して暮らせる協働のまちの実現	
4-1-①	巡回パトロールや防犯カメラの設置などの防犯活動の推進、安心して通学できる環境整備
4-1-②	防災訓練や自主防災組織の強化など地域防災力の向上及び地域防災体制の充実
妊娠・出産から育児に至るまで切れ目のない一貫した支援	
4-2-①	循環バスのダイヤ改正や高齢者タクシー料金助成など買い物弱者対策の検討
4-2-②	健康ウォーキングの推進や健診受診率の向上など住民の健康増進への取り組み
4-2-③	地域貢献活動の担い手を育成する「つながるまちあぐい推進事業」の実施やネットワークの構築
4-2-④	宅老所や高齢者サロンへの訪問指導、認知症セミナー等介護予防や認知症対策
4-2-⑤	介護や医療などのサービスを切れ目なく提供する「地域包括ケアシステム」の構築
名古屋市並び周辺市町村広域連携によるまちづくり	
4-3-①	大規模災害に備えた災害時応援協定の締結、被災時の相互援助体制の構築
4-3-②	災害時の徒歩帰宅支援ルートマップの更新・配備

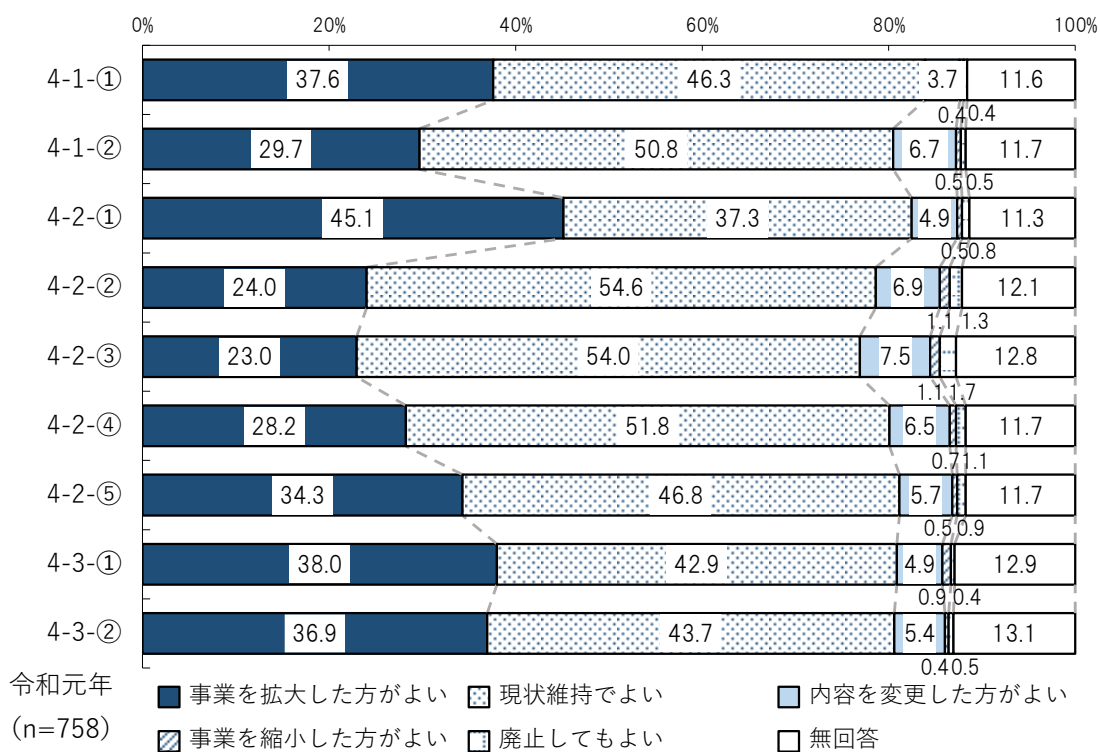
①現状

基本目標4の9つの施策のうち最も効果があったものは「巡回パトロールや防犯カメラの設置などの防犯活動の推進、安心して通学できる環境整備」が40.9%、次いで「循環バスのダイヤ改正や高齢者タクシー料金助成など買い物弱者対策の検討」が40.6%  
効果がなかったものは各々大きな違いはありませんでした。



②今後の取り組み

事業の拡大は「循環バスのダイヤ改正や高齢者タクシー料金助成など買い物弱者対策の検討」が45.1%、次いで「大規模災害に備えた災害時応援協定の締結、被災時の相互援助体制の構築」が38.0%  
 現状維持は「健康ウォーキングの推進や健診受診率の向上など住民の健康増進への取り組み」が54.6%  
 内容の変更は「地域貢献活動の担い手を育成する「つながるまちあぐい推進事業」の実施やネットワークの構築」が7.5%



### III 自由意見

#### 自由意見について

- ◎ 最後に、将来に向けて町の行政に望むことやまちづくりについて、ご意見などがございましたらご自由にお書きください。

自由意見欄に意見等を記入した人は296人で、有効回答者（758人）に対する記入率は39.0%でした。これらの自由記述された要望や意見を集約すると記入された意見は全585件でした。

集約した意見を、「都市基盤」、「保健・医療・福祉」、「環境」、「教育・文化」、「産業」、「行財政」という6つの分野で区分し、件数・意見の内容をまとめると以下のとおりとなっています。

分野	区分	内容	件数
都市基盤	消防・防災	地の利を活かした大災害に対する活動	1
		防災、減災に対する意識を高める	2
		災害に強いまち	1
		暑さ、寒さや雨天時の簡易避難場所にテント等で簡単にできるもの、水、簡易トイレ(特に女性用)などは、避難場所に備えておくべきと思う	1
		自然災害(台風、地震)対策にもっと力を入れてほしい	1
		避難場所が遠い、またアグピーバスも来ない	1
		他市町に警報が出ているのに、阿久比町は出していない	1
		地震予知情報を徹底(耳や目で確認できない人の為)	1
		大規模災害時応援協定は、九州、北海道など、離れた地域の市町村と協定を結んでほしい	1
		計	10
都市基盤	交通安全・防犯	交通被害が多くなることは避けられない、被害者も加害者も不幸にならないようにする	1
		道路にある信号機を青色点滅(3回)から黄色になるように	1
		カーブミラーなどを積極的に取り付けてほしい	1
		狭い道路、擦れ違い出来ない道路はファミリーカーで通るのが怖い	1
		車の渋滞が酷いので改善	1
		横断歩道の設置	1
		事故の多い交差点の検証と対策	1
		道路の白線が消えている所が多く危険	1
		路上駐車取締りに力を入れる(団地内)	1
		宮津団地への入口の工事中の箇所は見直し(事故が多発する危険)	1
		陽なたの丘への通行車の速度規制を厳しく	1
		住宅街の道路での交通事故の危険箇所を見直	1

		し	
		阿久比駅のアグピー号のバス停の位置を変更 (朝・夕混雑時)	1
		阿久比駅前の長時間駐車を取り締り(送迎時・朝と夕方・雨の日特に混雑が酷い)	1
		阿久比駅の交番に警察官が在駐している時間が少ない	1
		阿久比駅のロータリーを横切る人が多すぎる	1
		半田信用金庫の交差点、南北線の右折矢印信号の時間が短すぎる	1
		安心して通学できる通学路(交通安全)	1
		交通量の多い通学路には、信号機やガードレールを付ける	2
		通学路の安全確保(県道46号歩道橋設置など)	1
		46号線の運転マナーが悪い。特に夜の時間帯で、東から西に向かう時、70~80kmの運転をする人がとても多い	1
		ドラレコ費用の補助	1
		あおり運転の通報の促進	1
		防犯の充実	1
		子ども110番の家の検討	1
		街灯が少ないのが不安	8
		板山地域の街灯設置	1
		監視・防犯カメラの増設	2
		詐欺事件に対する取り組み	2
		計	39
都市基盤	道路	道路整備	4
		車歩の分離が主要な道路以外でもあるので安心です	1
		環状線を早く施行	1
		歩道が無く、また雑草など、蓋の無い側溝の対策	2
		穴が空いている道路の補修	1
		バリアフリー化	1
		町内主要道路の渋滞解消	1
		市内バスを狭い道でも通行できる道路幅に	1
		半田信用金庫の裏の道の整備	1
		常滑方面、東浦方面、半田東方面などを繋げる横断道路の検討	1
		半田市側の道路は綺麗に拡張、整備されているが、阿久比側は整備ができておらず分断されている	1
		交通が不便。中部国際空港からも太田川まで行かなければならない	1
		自転車ロードを造ってほしい(特に中学校まで行く道)	1
		オアシス大橋、東方の通行止め道路を早期に開通	12
		県道西尾~知多線東へは卯坂からの陸橋を人が通れるように	1
		陽なたの丘から半田方面への道路の整備	2
		陽なたの丘へと続く道の開通はいつ?	1
		植大の所(現農業屋~半田亀崎乙川方面への高架道路の計画は?)	1
		植大は坂道が多く、道も狭い。生活道路でな	1



		いから舗装も出来ない等と言われが高齢者にとって、とても生活しづらい	
		野崎の交差点の立体化は実現すべき	1
		南部学区と東部学区を結ぶ、歩道と交互通行できる安全な橋が必要	1
		東部線道路の樹木をガードレールにする	1
		中部国際空港(半田中央インター)への農免道、また植大の知多市や常滑から半田街道へ抜ける農免道路の整備	1
		野崎の交差点から西に向かい、知多半島道路との交差部分のトンネルは、狭すぎてすれ違いが極めて危険	1
		高根台内の道路の縁石が古く、崩れているので修復	1
		高根台地区で止まっているバイパス、南北道路の工事の再開	1
		道路の整備が急務、東西の交通が非常に不便	1
		道路の区画整備(高根台で止まっている)	1
		道路上の中央線、一旦停止線、信号の停止線などの整備	2
		マリモファーム前の農道の整備・舗装	1
		横松信号から、西への道を早期に開通	1
		アピタの東側出口(入口)の道路整備	1
		アピタと東部地区に歩行者と自転車専用の橋があると安全	2
		大字阿久比の土地は軽トラックも通れないので、道路の幅を広げる	1
		宮津団地から阿久比駅に向かう西と東、両側に階段を造って欲しい	1
		阿久比PAは一般道からも入れるように整備(西尾・知多線の道路沿い、名古屋・半田線の新道沿いなど)	1
		計	54
都市基盤	市街地	住宅を増やさなくてもいい	1
		駅近くでの行政による施設の拡大	1
		阿久比駅周辺にマンション等を建設	1
		阿久比駅に東側から入れるロータリー(混雑緩和のため)	1
		陽なたの丘は20年後、30年後にはゴーストタウンに?	1
		北原保育園跡地を有効利用	1
		空屋のリノベーション等の検討	2
		役場近くの土地の商業化	1
		何にも利用されていない土地の活用(イオンの誘致)	1
		賃貸マンション、アパート、分譲マンションが増えれば、若い世代が引っ越してくると思う(戸建ての購入はハードルが高く、手軽には転入できない)	1
		市街化区域の必要性について見直しを早期に検討	1
		卯坂姥ヶ谷周辺は、市街化地区に指定されて50年近くになるが、整備の話は立ち消えのままです、早急に整備を進めて頂きたく、周囲の地主さん達も皆様同様に困っています、早急に整備を進めてください	1
		区画整備を早期に実施	1
		植地区及び東側(池)高台部分の開発が全くされておらず、何十年と放置されたまま。住宅	1

		地として再開発すべきではないか	
		調整区域の見直し(名鉄沿線、草木から役場ライン、阿久比インター周り、阿久比には宅地がない?)	1
		宮津団地、山田、陽なたの丘へ向かう道は、30~40年前から予定があるが→区画整理計画の無さが浮き彫り、早期解決を望む	1
		空き地(草がボーボー)、ため池(子どもが危険な場所がある)の整備	1
		計	18
都市基盤	公園・緑地	公園の増設	2
		公園の設備の充実	2
		白沢に子どもが遊ぶ公園がない	2
		公園をきれいにしてほしい	1
		公園に時計を設置	1
		坂部駅の東側(阿久比川)の堤防沿いに桜並木通り	1
		計	9
都市基盤	上下水道・河川	上下水道料金は他自治体と比べて非常に高い	1
		水道代値下げ	2
		水道料金収納などの業務を民間業者に委託しないで欲しい	1
		阿久比川を美しくして下さい	1
		計	5
都市基盤	公共交通	交通網の充実	1
		バスの充実	1
		循環バス充実(高齢者に寄りそった)	1
		循環バスは午後からの時間帯をもう少し早くしてほしいです	1
		循環バスの本数と、始発、終車の時間の延長	2
		循環バスの時刻の見直し、朝は7時台から夕方方は8時台まで拡充してほしい	1
		循環バスの拡充(バスの大型化)	1
		バス停が遠すぎる、バス停の増設	2
		草木は駅がないから不便	1
		草木方面の下校時の運行時間の検討	1
		植大は循環バスも、バス停が遠いので利用できない(植公園の入口まで通してほしい)	1
		アグピー号を東浦の"うららん"くらいの大きさにできないか	1
		アグピー号は乗り換えもあるので、30分に1本あるといい	1
		アグピー号の本数を増やす	1
		アグピー号が、少し遅い時間(例えば21時、22時)まであるとうれしい	1
		アグピー号の無料はとても嬉しい	1
		阿久比駅に東側の改札と、道を造って下さい	1
		運行方面を4方向に検討できないか(循環バス)	1
		計	20
都市基盤	その他	高齢の買い物などの弱者対策(循環バス本数の増)	6
		高齢者の移動手段の検討(循環バス、高齢者タクシー料金助成事業等)	1
		高齢者タクシー券の発行は、行政協力員の証明で券を増やしてほしい、また1%枠で出来ないか。	1
		運転免許返納者対策(循環バス本数の増)	2

		運転免許の返納後の検討	2
		高齢者等のためのアグピーバス	3
		計	15
保健・医療・福祉	保健・健康づくり・医療	医科学研究所の再開	1
		開業医を充実する（内科、整形、眼科等）	1
		総合病院をつかってほしい	1
		総合病院が無いので名古屋まで通っています	1
		安心して不妊治療ができる制度	1
		どんな病気にも支援（PKUの補助が無かった）	1
		予防接種の補助を進めてほしい	1
		大学生まで入院費を早く無料にしてほしい	1
		医療費を18歳まで無料	5
		高校生の通院も無料になると助かります	1
		高齢者の医療・保険無料化	1
		健康、スポーツの企画（若者・高齢者対象）	1
		健康づくりを楽しめる環境づくり（ウォーキング、ジョギング、サイクリングなど）	3
		健康づくりの連続講座など、他市町のように。	1
		計	20
		保健・医療・福祉	児童福祉・子育て支援・少子化対策
乳幼児の入園条件の是正（社会保険加入などの制限）	4		
子どもに対する支援の充実（子どもの人口の増加に対応）	2		
陽なたの丘の保育園（子供の増加に対応できていない）	1		
学童は働いていない家庭でも預かれるようにしてほしい	1		
保育園は3歳以後も働いてなくても入園できるように	1		
求職中でもは入れるようにしてほしい	1		
親の希望で保育時間を決定して欲しい	2		
土曜の延長保育、日曜の保育もして欲しい	1		
宮津保育園の土曜保育をせめて17:00まで延長してほしい	1		
ファミリーサポートの内容と機能しているのかが知りたい	2		
子育て支援センターの利用する日や時間帯を拡大してほしい	3		
0才、1才児保育の支援の充実	1		
子どもの医療費無償化の期間の延長	1		
3才以下の保育料の減額	2		
出産費用の支援（免除）	3		
保育園、学童保育の充実	5		
保育園を増やしてほしい	1		
病児保育の設置	5		
認可外保育園もつってほしい	1		
気軽に預けられる一時保育がない	2		
児童館を綺麗にしてほしい	1		
保育士の給与の改善	1		
保育士の質の向上	1		
計	54		
保健・医療・福祉	高齢者福祉		
		高齢者福祉が充実してきている	1
		高齢者福祉の充実	2
		自宅で安心して生活できる町	2
		支援の充実（現役世代に負担とならない）	1

		入れる施設はあるのか？	1
		高齢者の健康対策	1
		高齢者の活躍の場を増やす	1
		高齢者と子どもたちが無理なく共存できる町	1
		1人暮らしの高齢者が安心して生活できるまち	1
		高齢者見守りサービス（武豊町は週3回のヤクルト配付など独居老人に手厚い）の充実	1
		計	16
保健・医療・福祉	障がい者福祉	自宅で安心して生活できる町	1
		障がい者の方が住みやすいまちづくり	1
		計	2
保健・医療・福祉	その他	医療、介護、保育で働く人達の報酬アップ	1
		医療、介護、保育の充実	2
		引きこもり（8050問題）対策	2
		認知症の方を見かけた時に、対応できる知識が欲しいと思いました	1
		計	6
環境	ごみ・リサイクル	「粗大ゴミの夕方からの回収時間」を復活	1
		ゴミの出し方のマナーの徹底	1
		プラスチック製容器包装収集袋は中や小も作って頂きたい	1
		休日にイベントで集めた不用品を、役所に持って行ったが断われた、情報を連携してほしい→広報に案内が載っている	1
		クリーンセンターでエコ教室やリサイクル販売など	1
		ゴミ袋を値上げする方針は不当（現状維持）	2
		計	7
環境	環境保全	自然保全と利便性のバランスがとれたい町	2
		狭い土地にある木の伐採（スギ薬局と仙台屋さんの間）	1
		野焼きは、洗濯物に匂いがつくし、呼吸が苦しくなる	1
		道路に犬の糞で困っています	1
		芝生スペースに木を植え、木陰をつくって人が集まる工夫をしてほしい、	1
		計	6
環境	景観	豊かな自然を大切に	13
		田園の広がる素晴らしい町と思います	1
		ソーラーパネルが多くて、見た目が良くない	2
		ソーラーパネルの耐用年数以降の処理対策の検討	1
		計	17
環境	その他	道路側、歩道の草刈などのメンテナンス	8
		半田街道の西側の農道～スポーツ村の間の草刈り	1
		雑草にからまり（自転車道）事故した	1
		雑草に負けない除草力（カーブミラーや標識が見えない）	1
		堤防などの雑草で車の往来が確認できず、交通事故が心配	1
		計	12
教育・文化	教育	教育の充実	3
		小中一貫教育、小中学校冷房完備が誇れる	1
		いじめを減らすための対策	2
		東部学区で学習発表会が去年無かった	1

		東部学区で体験学習の場が減るのは親としてさみしい	1
		計	8
教育・文化	生涯学習・文化・芸術	アグピアホールでのイベントを多く企画してほしい	1
		町立図書館（ブックスタートから年齢に合わせた読書ができるように整備されることを望む）	1
		図書館の運営の充実（非正規職員が現場を回している感じ）	1
		文化講座、子ども向けが少ない	1
		中央公民館を営利でも借りられるようなルールに	1
		計	5
教育・文化	その他	阿中の教室数の不足についての今後の方針	5
		東部小、阿中における教室の確保や駐輪場の整備の検討	1
		児童数増減に対する対策の説明が求められる	1
		幼、小、中の子どもの増加で教室がどうなるのか今後は心配	1
		英比保育園が活用できていない	1
		小学校の卒業式の袴の見直し	1
		授業料をタダにする	1
		P T Aに活動権を（何も企画できない）	1
		小学生の学校行事が多過ぎ、親の負担がかかりすぎる	1
		給食の牛乳廃止、冷凍が多過ぎる、無農薬の提供、	1
		学校の食育を拡大、「シェフによる味覚の授業」「和食給食応援団」「超人シェフによるスーパー給食など」	1
		学校のフッ素廃止を、オアシスセンターでするものだけで充分	1
		運動会での児童席のテントは9月でも暑いから必要	1
		計	17
産業	農業	農地(農家)を支援	1
		農業の担い手の支援	1
		農業法人などを作る手助け（10人位の会社組織）	2
		耕作放棄地や遊休農地を無くす	1
		耕作放棄地などの活用	1
		大規模なJAの直売店	1
		JA等で阿久比産の野菜などを売る店を増やす	1
		JAの産直市場も備えた温泉スーパー銭湯	1
		阿久比町のブランド品を増やす	1
		農作物は無農薬を推進	1
		香害(公害)対策を！学校で児童が我慢	1
		計	12
産業	商業	商業施設を充実	3
		阿久比駅周辺にも商業施設	1
		小売店や飲食店は駅周辺に偏りすぎる	1
		地産地消の農産物を役場JAだけではなく、購入できる商業施設	2
		県道55号線と464号線添いの商店街の活性化	1
		潰れた店舗等の再開発	1

		空店舗を町の援助で立て直して復活する	2
		陽なたの丘のヤマナカの跡地に他の店を誘致	5
		近所のスーパーが出店後数年で廃店、廃店後の跡地の活用を行政は参入できないか	1
		買物難民の為の移動スーパーとかできないか	1
		本屋の誘致	1
		飲食店が少ない	1
		デリバリー的な店	1
		幅広いお店やレストラン、カフェ等を増やす	1
		Sweets Forest のような施設（女性好みの）	1
		ドラッグストアの設置(板山)	1
		コンビニを増やす	1
		大型ショッピングモールを増やす	1
		アウトレットモールの誘致	1
		計	27
産業	工業	工業団地の空地が目立つ	1
		計	1
産業	観光	観光と自然を融合した名所が出来たら	1
		イングリッシュガーデン公園	1
		阿久比町を流れる河川敷又は堤防に桜を植樹し、桜並木をつくれれば「春は桜と彼岸花」「秋は彼岸花」を見に来る	2
		観光 PR は名鉄とのタイアップイベントも考えられれば良いと思う	1
		計	5
産業	雇用対策 ・企業誘致	企業誘致や観光などで働く場所を確保	1
		場所とインターネットの活用と働き方改革等で地域を活性化	1
		高齢者の雇用確保	3
		デンソーの就労を阿久比の人に働きかける	1
		企業誘致	2
		企業誘致は土地の確保を考慮	1
		計	9
行財政	国際交流・ 地域間交流	意見・要望はない	0
		計	0
行財政	コミュニティ	町内ではお互いに挨拶、声掛けをして暮らせる町	1
		地域の人と人とのつながりが良い町	1
		地域と行政職員が一体となって行動し、信頼、絆の拡大	1
		大人、子ども、高齢者一人一人が自立して生きる力をつけられる情報の相互受発信が出来るコミュニティ	1
		コミュニケーションがとれるまち（働き盛りの比較的若い人が）	1
		コミュニティに参加できない人のサポート	1
		世代を超えた交流がしやすい、地域での催しものを増やす	1
		近所(迷惑行為)をする人のトラブルの介入を積極的に実施（行政）してほしい	1
		各字での行事を見直してほしい（若い人はついていけません）	2
		排他的な考えの方が多く行事などに参加しにくい	1
		排他的で、他所から来た人を受け入れにくい雰囲気がある、受け入れる雰囲気になるといい	1

		いと思う	
		自治会活動の参加は共働き、子育て、介護者は負担が大	1
		自治会の活動内容(役員選出、負担など)を行政で主導してほしい	1
		区費に掛けている金額の明細の発行	1
		住民税と別で区費を払わなければならない程に厳しい現状なのでしょうか	1
		計	16
行財政	その他	月に何度か早朝に役場前での、あいさつ運動は、人数が多過ぎて通行が渋いのと、じろじろ見られて嫌な気分になります。大勢でなくてもいいのでは?	1
		計	1
行財政	住民参画 ・協働	諮問機関の設置(議会以外)	1
		審議会の公募の委員さんに期待	1
		区民館での町民と職員のみちづくり懇談会開催	1
		計	3
行財政	広報・広聴	町の放送は、正確(はっきり)に聞き取れるよう	3
		広報車が廻っているが、下の道だけで私の方の方は上って来ません、山びこみたいになって何を言っているか聞こえません	1
		防災無線機は聞こえづらいため、希望世帯に子機を配付(販売)すべき	1
		電光掲示板は誰が見ているのか? 不要ではないか	1
		需要の無い電光掲示板などムダ	1
		保健センターの電光掲示板廃止	1
		広報に期待(行政・地域情報等)	1
		相談箱を設置し、広報で回答を	1
		町民の声を気軽に伝達する窓口、手段(ネットワーク等)	1
		HPの充実(分かりづらい)	2
		年齢別や、立場、役割によって受けることができるサービスや、参加できるイベントやボランティア、講演などの情報	1
		リーフレット等をつくり、広報活動をすることは大切な事だが、やり過ぎ、作り過ぎて予算の無駄使いをしないよう	1
		他の刊行物が挟み込まれていることが多いが、一冊にまとめることはできないか	1
		計	16
行財政	行財政	町民憲章の具現化が最も大切	1
		憲法9条を生かした「非核都市宣言の町」の看板をかがけて欲しい	1
		人口を増やして賑やかな阿久比(人口10万人都市を目指す)	1
		清く正しい行政	1
		公明正大の行政	1
		健全な町財政	2
		住民税1%事業をやめる	1
		住民税1%町民予算枠制度は公共性のあるものに限定	1
		税金を下げてほしい	3
		子どもだましのような紅白餅の各家庭配布は無駄	1

		町長の給与値下げ	1
		休日対応できる役場発行の書類や手続きの検討	1
		町への要望をだした際は、柔軟な対応を望みます	1
		行政の仕事の内容を知りません	2
		大字阿久比の土地(畑)の課税が、宅地並となっているので見直してほしい	1
		町費を無駄使いしないほしい	1
		補助金の使い方→打ち上げの飲食代で良いのか？	1
		補助金対象の長寿会、老人会は会計報告及び行事報告はされているか？	1
		各学区及団地の会員が参加しているクラブの会員数分の補助とし、会計及び行事報告書を義務づける	1
		各総会の費用は別途補助とし、そのためには各クラブ(ゲートボール、グランドゴルフ、カラオケ等)代表者が町にクラブ名、会員名を申請すべき	1
		ITの活用	1
		コンビニ支払い(税金など公共料金)	1
		コンビニでも支払えるように国保税、軽自動車税等の納付書にバーコードをつけてほしい	1
		「年金生活者を支援する給付金」の受け取りの請求書の送付は、わからない、書けない人も多数います、行政で、手続き方法を考えて、全員が給付されるようにしてほしい	1
		選挙の時の「投票済」の用紙は、もう少し紙質のランクを下げてほしいのではないかと思う	1
		計	29
行財政	議員・職員	町長、議員、職員のことを町民はいつも見えています	1
		役場の方々はとても親切で安心感、好感がもてる	2
		役場の雰囲気をもっと良くしてほしい	1
		町職員に明るさを感じない	1
		各施策はPDCAサイクルを回すことが重要	1
		まわりの自治体の流行などに惑わされず、本質を見据えた行政を行う	1
		農業、介護、ひきこもりの予防等、分野ごとにプロジェクトを組んで各町村に赴いて勉強してほしい	1
		「現場重視・最優先」を各部で実現して頂きたい	1
		専門性を有した職員の「ヤル気」が重要	1
		職員は、町民ひとりひとりの為に、親身になって対応してほしい	1
		職員の方が当り前に分かっていることでも、分からないことが案外多いためわかりやすい説明	1
		問い合わせへの回答が無かったり、曖昧だと感じたりする、職員の方々の対応差が大きい	1
		自分が子育て中に参加した会議等で、町民の回答が無責任でした	1
		子育て支援、学童やスポーツ活動などの外部委託が増えてきているのが気になります。町主導でやる	1
		議員数を減らしてほしい	1



		町議会議員の高齢化、多選の弊害はないか	1
		兼業職として町議員は、とらえているのではないかと思う	1
		計	18
行財政	公共施設	役場の玄関口がはっきりしない、またアグビーホールの上手の階段がグラグラ	1
		体育館の床が滑るため、ワックスをかけてほしい	1
		あぐびっぴは駐車場と建物が同一敷地にならないか（まだ歩くこともままならない子どもを連れて、駐車場から道路を渡り、靴を脱いで階段を昇る、そしてベビーゲートを開け、オムツやミルク、着替えなど大きくて重い荷物を抱えてママ1人でこれをするのがどれだけ大変か）	1
		駐車場を広くとってほしい	1
		保健センターの駐車場が狭い	1
		駅の自転車置場が狭い	1
		町民プールをつくる	1
		総合体育館の建設は、事前に利用者の把握調査をする	1
		総合体育館の建築	5
		運動公園(半田の運動公園のような)	1
		ふれあいの森の体育館が狭すぎる	1
		ふれあいの森は休園日、時間制限があり不自由	1
		ゲートボール場はもういらない	1
		町立図書館の改修や設備の充実	1
		図書館の駐車場が狭い	1
		図書館の拡大と移転（道が狭く、駐車場が少ない、本の数が少ない等の現状解決のためにも）	1
		図書館は子供向けエリアの充実、拡大	1
		図書館の分館を小学校区に1つずつ	1
		児童館は各小学校区に必要	4
		学校の環境づくり(設備、改修など)	1
		英比小学校のプールのトイレの天井が落下の危険	1
		南部小学校の体育館の女子用トイレが3個中2個までが壊れていて、使用禁止という状態	1
		公共施設の利用料は70歳以上無料に	1
		計	40
行財政	その他	阿久比町役場に併設してある喫茶店は税金で運営でしょうか（対応が悪い）	1
		計	1
まちづくり		町民憲章の具現化がまちづくりの原点（即断即決・即実行を目指す）	1
		町民に優しいまちづくり	3
		人が長く住みたいと思えるまちづくり	1
		安心安全なまちづくりを、もっともっと進めてほしい	1
		子どもを育て、やりがいのある環境づくり	1
		愛知県民にも認知され目玉になるような何かをつくる	1
		古いもの・事にも目を向ける	1
		人口は減少することですし、今あるものを上手に使い、あまり必要無いものは作らない。壊して作るより、今ある自然など、本当に大	2

	切なものを残して行ってほしい	
	阿久比町「だから」できることを検討し続け、特性を活かしたまちづくり	1
	次世代に向け、町が強く団結して変革	1
	人と自然、生き物が共に共存できる、未来型の美しい阿久比町	1
	阿久比町民で行う行事（近隣の市町村からも来たいと思える）	1
	「互いに協力しよう」という気持ちになるまちづくりには何が必要かを探し求めていきたい	1
	町民と職員が一体となって町の未来を考える	1
	まちづくりのリーダーになる人を育成	1
	丁度良い田舎なのが阿久比の売り	1
	昔から続く祭りの存続	1
	結婚しても住みたいと思う町	1
	魅力ある「樹木葬苑」の創設	1
	スポーツ村の拡大 イベント企画	1
	車のイベント等(クラシックカー)をやってみたい	1
	自然の残っている所はウォーキングなど出来るように整備（阿久比川堤防）	2
	マラソン大会の参加費無料は嬉しい	1
	町内のマラソンを改善（「いびがわマラソン」のように町おこしでやる）	1
	町の運動会を無くしてほしい	1
	ホテルを大事にまた支援	1
	ホテルを保全するための対策の検討	2
	ホテルの住み良い所に、除草剤禁止	1
	ホテル事業(白沢)を全国PR	1
	東部小学校等で行われているホテルの観察会の継続	1
	ホテル、菊、桜、ハナカツミ、阿久比米を活かし町外に発信	1
	ホテルサミットから脱退	1
	阿久比町民スタンプはおもしろい	1
	アグイサミット(花火大会がほしい)	3
	夏祭りの充実	1
	農業や自然を生かした(農業体験や、ホテル探シツアーのようなもの)ところをPR	1
	知多ノ海ナシ町のPR	1
	PRは、「陽なたの丘」を売り出す時の名鉄コマースが参考になる	1
	犬や猫など動物にも優しい町	1
	計	46
アンケート	アンケート回答者に町内で使える商品券をつける	1
	アンケートの回収率を教えてください	1
	アンケートの集計結果、分析、見解を公表、また改善実施計画の公表	1
	アンケートの後半は「わからない」内容が多かった	2
	どの様に答えたら良いのか分からない質問が多くありました	2
	具体的事業内容の評価は、我々一般町民が興味を持っている事業を除いて評価がむづかしい(困難)と感じた。その道のプロ(精通者)に依頼した方がベターではないでしょうか？	1

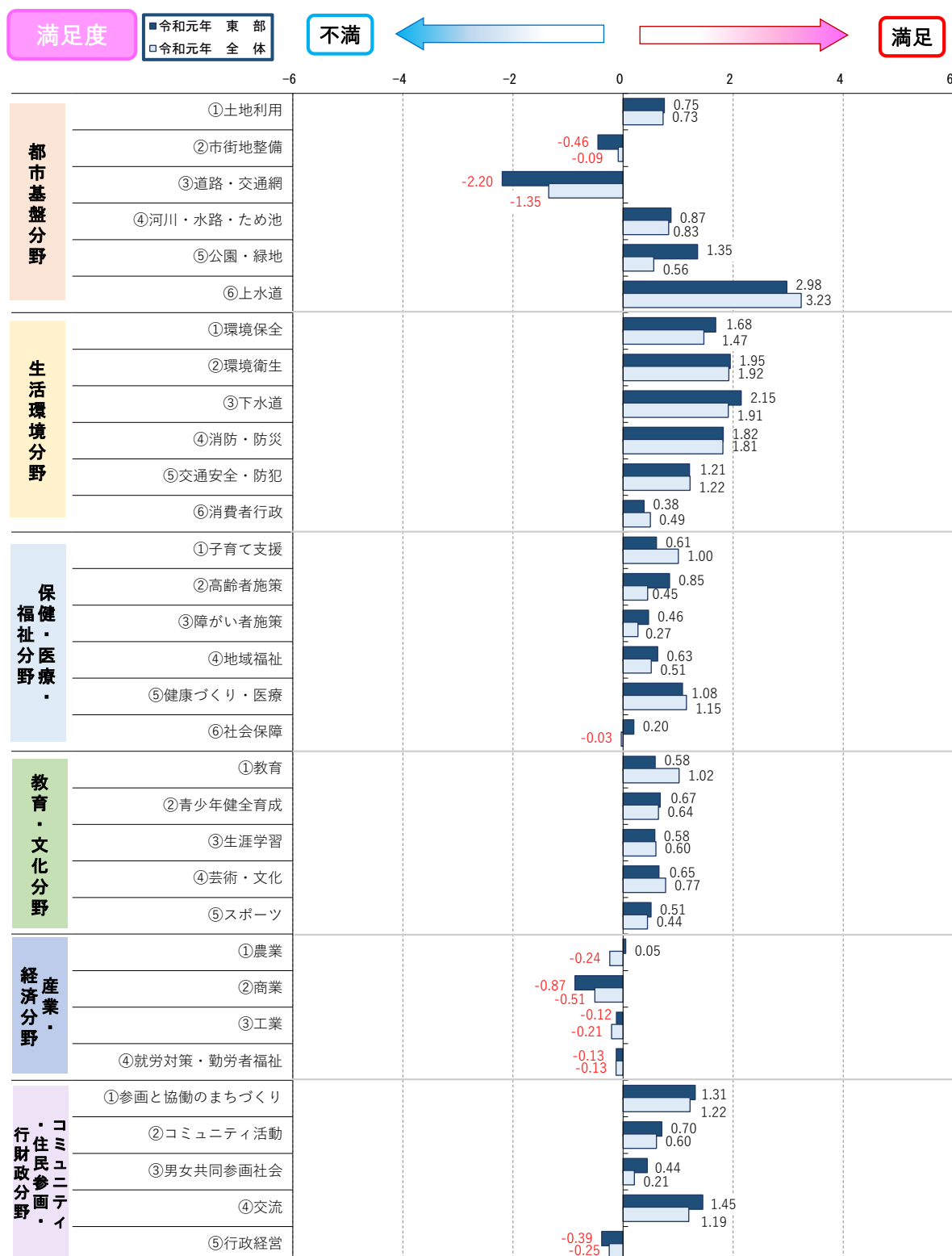
		取り組み事業の内容を知らなかった	1
		質問が多過ぎて時間がかかった	1
		ウェブ解答ならまだ答えてもいいかなと思いました	1
		今時手書きのアンケートはどうなのだろうか	1
		自分が住んでいる町の行政や取り組みを知らない自分に驚き	2
		色々な取り組みをしていることを知りました	1
		総合戦略の取り組みについて、どの事業に効果があったのか、なかったのかが分からないため、どのように比較したらいいのかわからない。効果があったかの実感もない	1
		阿久比町人口ビジョン及び、まち、ひと、しごと創生総合戦略に、邁進されていることに気づかされた	1
		返信用の封筒をもう少し大きいものを用意して頂きたい	1
		阿久比中学校も学年毎にアンケートがあると嬉しい	1
		計	19
ボランティア		見守り隊の充実（増員）	2
		計	2

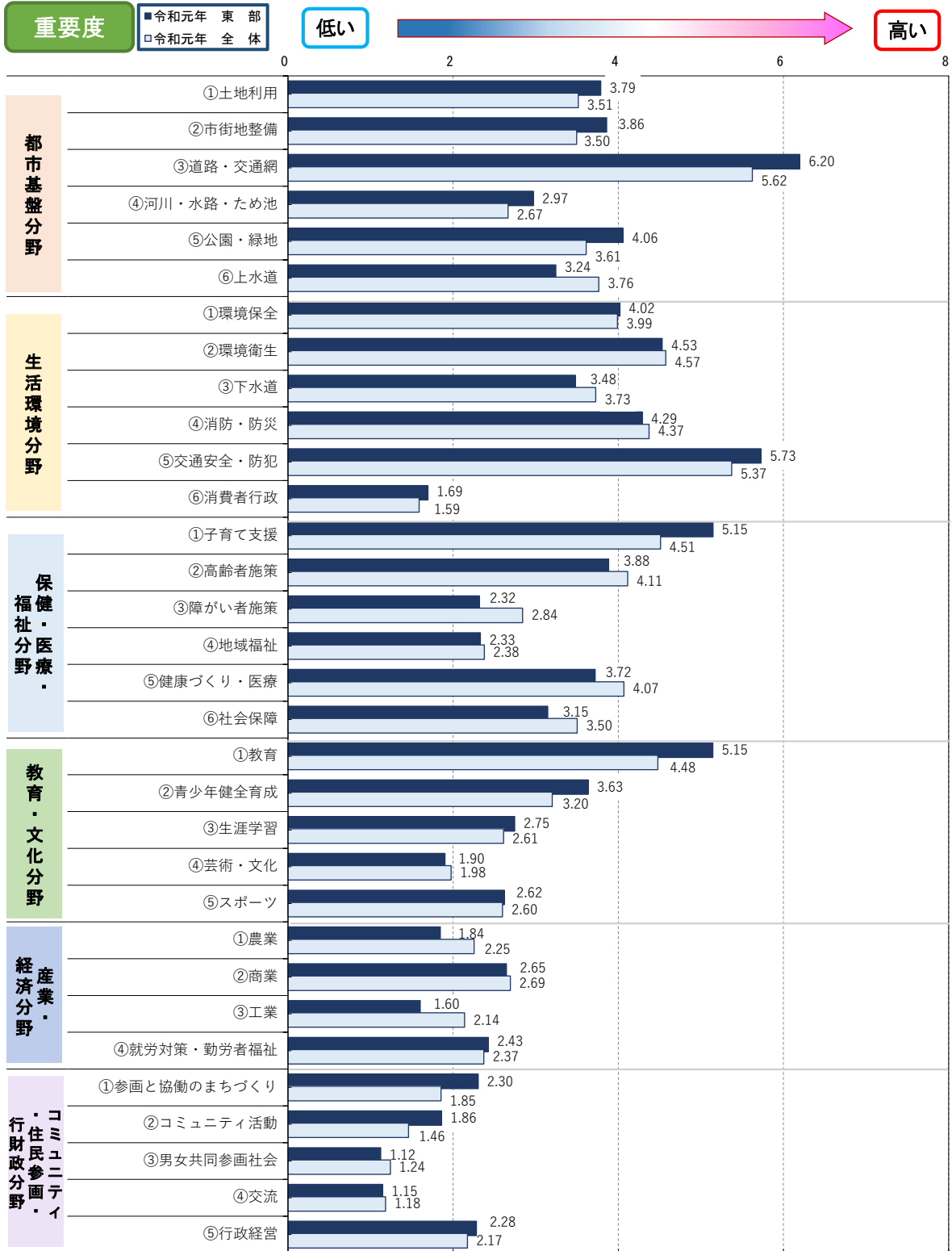


# IV 資料

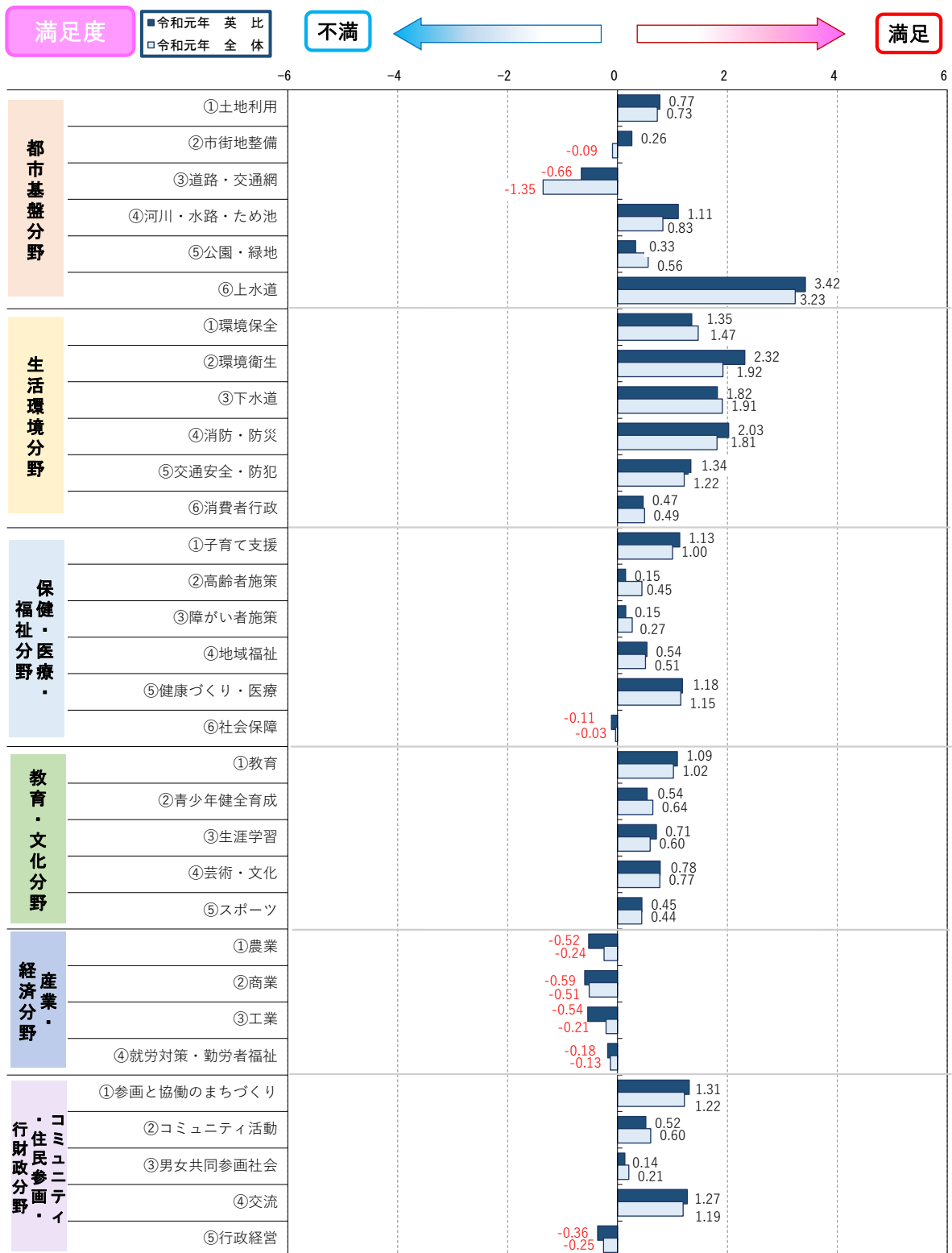
## 小学校区別満足度・重要度

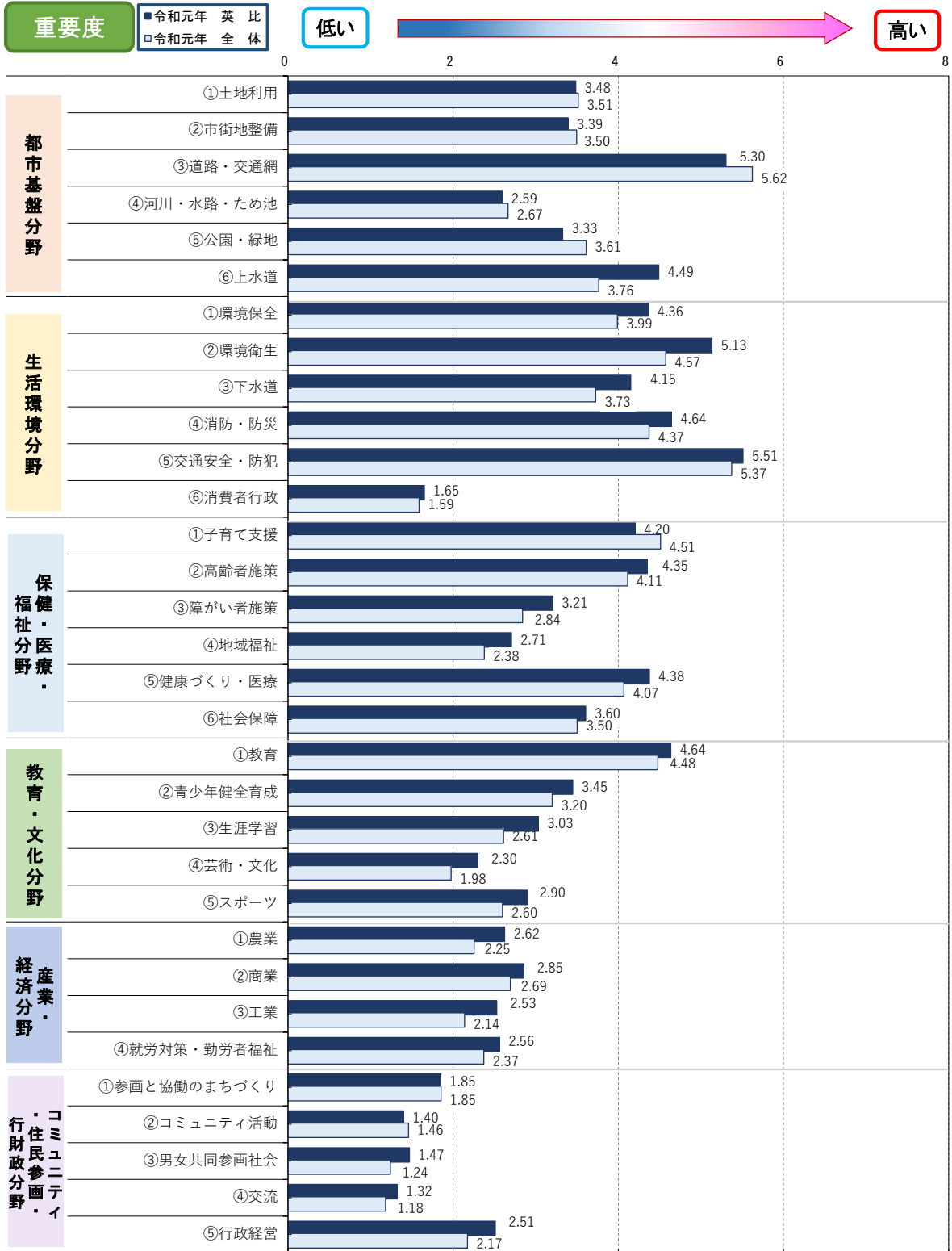
### (1) 東部小学校区





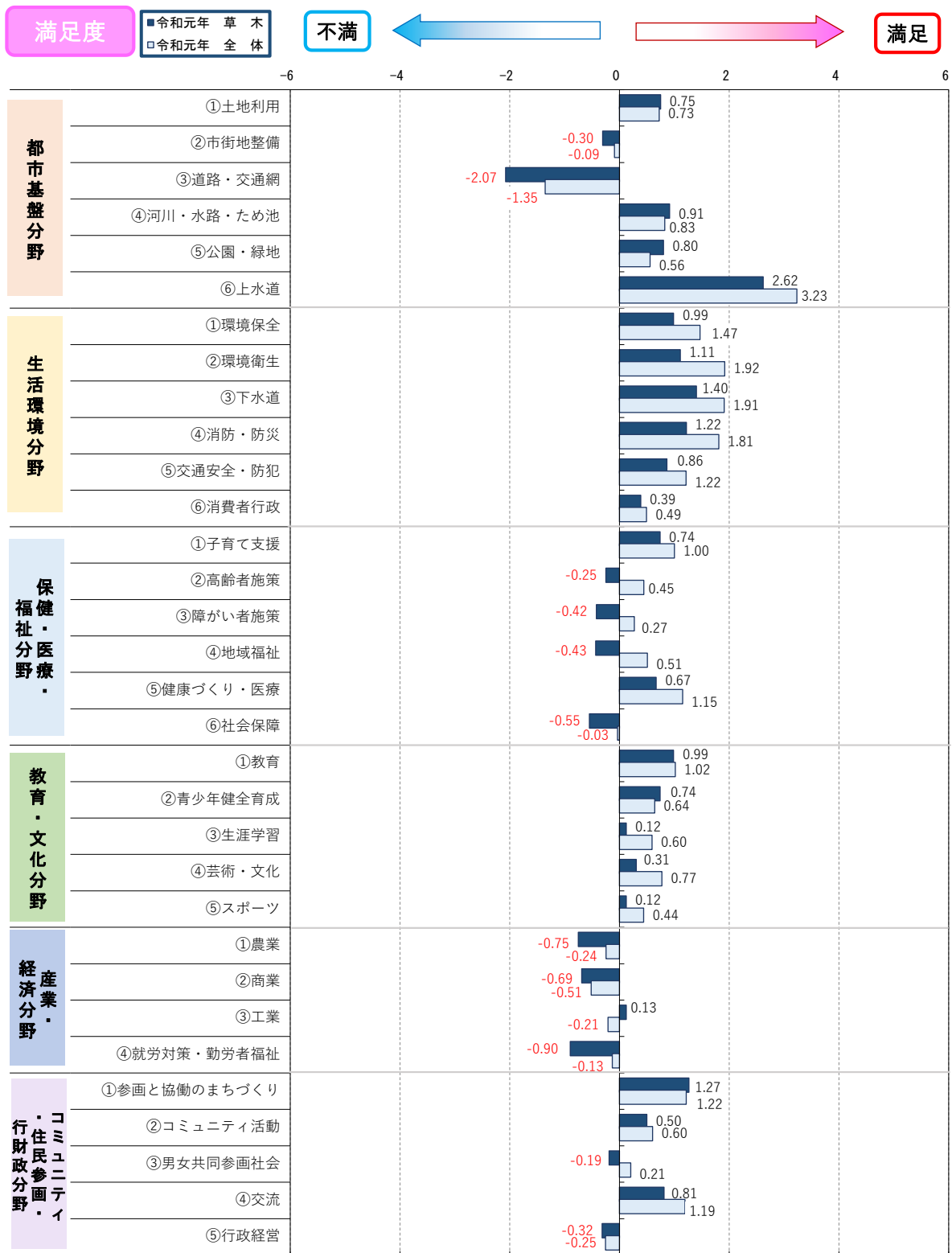
## (2) 英比小学校区

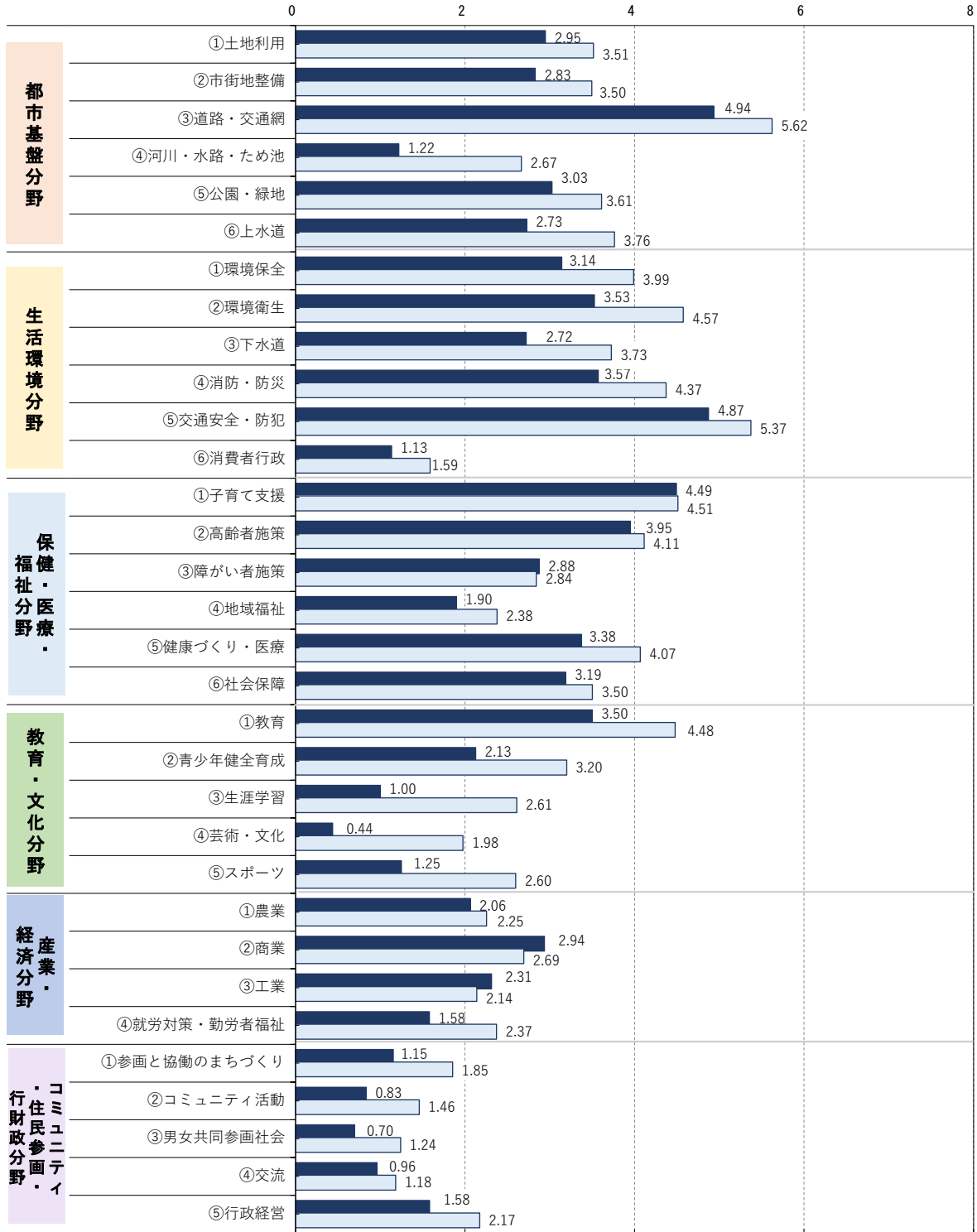




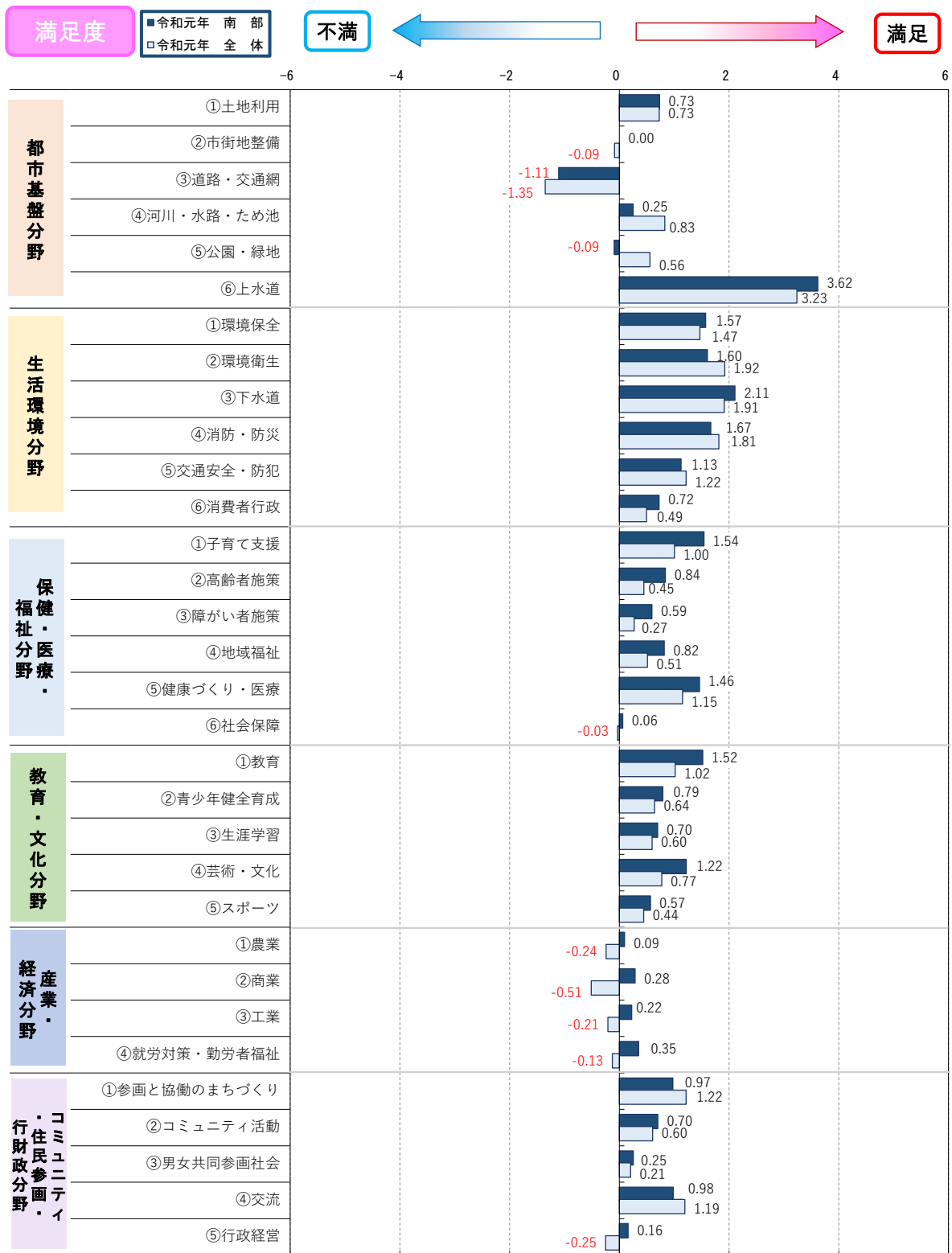


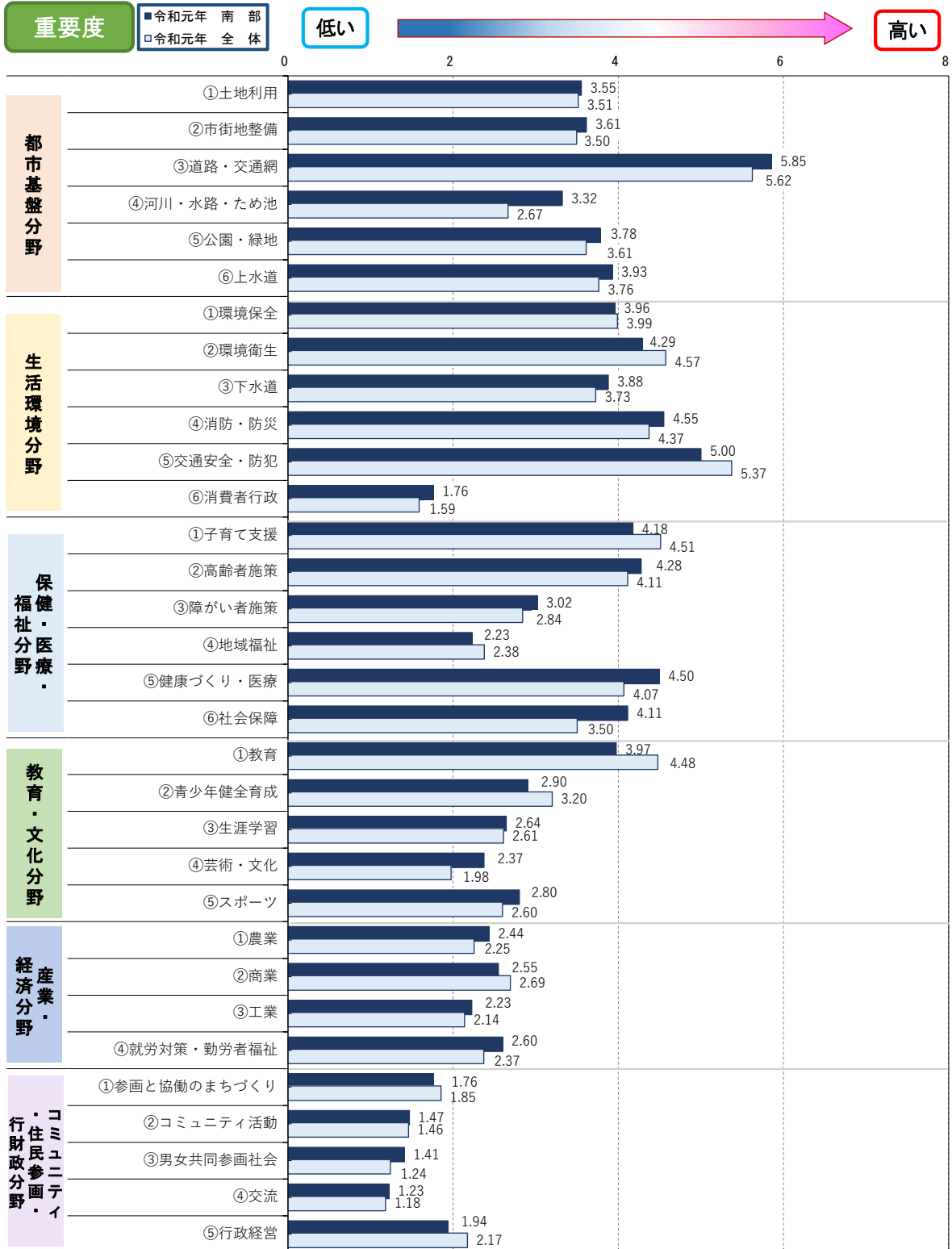
### (3) 草木小学校区





(4) 南部小学校区





## 第6次 阿久比町総合計画 住民アンケート調査結果

発行年月：令和2年2月

発行：阿久比町

編集：総務部 政策協働課 企画政策係

住所：〒470-2292

愛知県知多郡阿久比町大字卯坂字殿越 50 番地

電話：0569-48-1111（代表）

